

見テモ私ハ満足ニ了解スル此規定ヲ御置キニナルト云フ適當ナ理由ハ見出ス譯ニ參リマセヌカラハ此程
度ニ於テ私質疑ヲ打切りマス

佐竹三吾君

私ハ二三御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、第一ハ議案ノ審査期限ヲ決メルト云フコトハ一體其事自體ガ
如何ナモノカト云フコトヲ私ハ伺フノデアリマス、何レノ場合ニ於テモ議案ニ其審査期限ガ定ツテ居ル
場合ハ悉ラクナイト思フノデアリマス、唯偶豫算案ニ付キマシテハ二十一日ト云フ期限ガ衆議院ニ極
マツテ居ル、ソレハドウ云フ譯カト云ヘバ、唯衆議院ニ豫算ガ先ニ回ル、詰リ先議權、先議權ト云フコトヲ
外ニシテハ期限ノ意味ハナイト私ハ思フノデス、政府ハ先議權ト云フコトノ外ニ之ヲ期限ヲ極メルト云
フコトノ意味ガアルト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ第一ニ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第二ニハ若シ
先議權ト云フコトノ意味デ其期限ガ極ツテ居ルモノナラバ、其趣旨ハ貴族院ニハ當ラナイ、貴族院ニ對シ
テハ會期ガ即チ自ラ審査期限デアツテ、其會期中ニ審査ヲ終レバソレデ差支ナイコト、思フ、之ニ反シテ
若シ先議權以外ニ於テ二十一日ト云フコトヲ極メルト云フ理由ガアルナラバ、貴族院ニ對シテハドウ云
フ理由デ其期限ヲ定メルカ、ソレガ第二ノ質問デアリマス、ソレカラ第三ノ質問ハ二十一日ト云フ期限ハ
衆議院ニ於テハ相當ト見テ居ルカドウカ、又現在規則ハサウナツテ居ルノデアリマスケレドモ、二十一日
デアレバ審査ハ十分デアル、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居ルカドウカ、若シ衆議院ニ於テ二十一日ガ短カ過ギル

ト云フコトナラバ、之ヲ延長スルト云フ必要ガ起ル譯デアリマス、一體二十一日ト云フコトノ期限ノ定マ
ツテ居ルノハ帝國議會ノ會期ノ三箇月ト云フコトニ對シテ、ドウ云フ關係デアルノカ帝國議會ノ會期ハ
三箇月デアルガ、二十一日ト云フコトニドウ云フ意味ガアツテ、サウシテ同ジヤウニ貴族院ニモ當嵌マル
モノデアルトスレバ、兩方ヲ合セルト四十二日ト云フコトニナル、此四十二日ト云フコトハ、九十日ト云
フコトニ對シテハ餘リニ其開キガ澤山アルヤウニ思フ、ソレデアルカラ會期ノ九十日ト云フコト、ソレカ
ラ二十日ト云フコト、ノ間ニ何か特別ノ關係ガアルカドウカ、蓋シ此年末カラ年始ニ貴衆兩院ハ休ム、
從ツテ日デ九十日ガアツテモ一月ホド短クナルカラ、斯ウ云フコトデアレバ、休ムト云フコトハ是ハ全ク
憲法ニモ議院法ニモナイコトデアリマスカラ、見方ニ依ツテハ職務怠慢ト云フコトニナルダラウト思フ、
デ二十一日ト云フ期限ハ昔ニ於テハ、是ハ相當デアツタカモ知レマセヌガ、今日ニ於テハ豫算ノ内容ニモ
複雑シテ居ルシ、ソレカラ種々ナル法律案モ増加シテ居ルノデアリマスカラ、昔ハ相當ナ期限デアツテ
モ、今日ハ相當デチオト云フコトニナルカモ知レヌノデアリマス、ソレデ若シ九十日ニ對シテ二十一日ト
云フコトガ休暇ヲ入レテノ勘定デアル、： 休暇ト云フモノヲ除イテノ勘定デアルト云フナラバ、是ハ一
向ハ理由ニナラナイ、コトデアレ、ソノ説明デハ私ハ理由ガナイヤウニ思フノデアリマス、ソレカラモウ一
ツハ第二次桂内閣ノ時デスガ、十二月ノ初メニ召集ヲシテ、サウシテ政府ハ直グ豫算ヲ提出シタ、サウス
レバ、詰リ二十一日ノ期限デ以テ審査ヲシナケレバナラス、サウスルト年内ニソレガ片附ク、所ガソレデ

ハ困ルト云フノデ一應撤回シテ、又一月ニナツテ再提出ヲシタト云フコトデアリマスガ、是モ議會モ政府モ共ニ憲法上私ノ責任ナルコトヲヤナイカト思ヒマス、先程、審査期限ヲ定メルト云フコトハ成ルベク、早ク豫算ヲ定メタイ、四月勿々新豫算ヲ實行スルニ當ツテ、早ク豫算ヲ定メタイト云フ御話ガアツタ、ソレナラバ何故十二月初メニ政府ガ豫算ヲ提出シタイノカ、政府ノ提案ガ一月ノ二十日以後ニナツテ、サウシテ二月早クニ之ヲ定メタイト云フコトハ、是ハ全ク政府ノ我ガ儘ナ話デアツテ、政府ハ十二月ノ劈頭ニ於テ豫算ヲ提案サレタナラバ、衆議院ガ年内ニモウ審査期限ガ來テシマウノデアリマスカラ、年内ニ衆議院ハ濟シデシマツ、オウスレバ、貴族院ハ一月ノ初メカラ豫算ヲ審議スルコトガ出來ル、斯ウ云フ途テ政府ハ何故御執ヲニナラヌデアルカ、是ハ全ク政府ダケデ出來ルコトデ、而モヤルト云フ事ガ憲法上當然ノ話ヂヤナイカト私ハ思フ、殊ニ此會計法ノ規定ニ依レバ、豫算ハ帝國議會ノ開會ノ初メニ於テ提案サレルト云フコトニナツテ居リマス、開會ノ初メデアリマスカラ、十二月ニ召集ガアレバ直チニ之ヲ提案サレルト云フコトハ、是ハ當然ナ話ト思ヒマス、唯今實際ノ慣例ガ少シ緩カニ此文字ノ通りニサレテ居ラヌ、是ハ全ク政府ノ怠慢ダト私ハ思フ、サウ云フ意味カラシテ、貴族院ノ審査期限ヲ定メルト云フコトハ是ハマア立法上ノ理由トシテハ少シモ其理由ニナラナイト私ハ思フノデアリマス、以上色々ノ點ニ付テノ質問ガアルノデアリマスガ、ソレニ對スル答辯ヲ求メマス同時ニ、表ヲ一ツ政府ニ要求ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレハ帝國議會初期以來第五十議會ニ至ルマデノ間ニ於テ豫算案ヲ提出サレタ月日、ソ

レカラシテ其豫算案ノ衆議院ヲ議シシタ月日、衆議院ヲ通過シタ月日、ソレカラ貴族院ニ廻付サレテ、ソレカラ貴族院ガソレヲ終了シタ月日、其後ノ期限ノ問題ハ此表ニ關聯イタシテ居ルノデアリマスガ、私ハ此外ニ何月幾日ニ提案サレテ居ルカ、之ヲ調べマス、憲法デ與ヘラレタ三箇月ノ期限ト云フモノハ、全ク政府ノ詰リ處置ニ依ツテ、成ル程ソレハ貴族院モ衆議院モ年末年始ニ休ムト云フコトハアリマスケレドモ、是ハ私情デアリマス、サウ云フコトハ公ノ理由ニハナラナイ、政府ノ處置ニ依ツテ豫算ヲ審査ト云フモノハ一月モ遅レル、斯ウ云フコトハ理窟カラ申セバ甚ダ宜シクナイコト、私ハ思フ、其提案ノ月日、及び審議終了ノ月日ヲ明日マデニ一ツ表ニシテ御示願ヒタイ、繰返シテ申シマスレバ、先程御話ニナツタ衆議院デ定ツテ居ルカラ、貴族院デモ定メテ宜シイト云フコトハ、詰リ衆議院ノ定メタ趣旨ガ先議權ト云フコトノ外ニ何カ理由ガアレバ、其理由ヲ一ツ承リタイ、ソレカラシテ運用上定メテモ、運用上差支ヘナイ、實行出來ルヂヤナイカト云フ御話ガアルト同時ニ、今マデ定メテナクテモ、大體差支ヘナイ、運用シテ居ツタト云フヤウナ御話モアツタ、サウスレバ別ニ定メル必要ハナイヂヤナイカ、定メナクテ運用上差支ヘナイナラバ、餘計ナ法律ヲ作ル必要ハ全クナイ、御話ノ如ク運用上定メテ差支ヘナイト云フ御話ハ、同時ニ今マデ定メテナクテモ運用上差支ヘナカツタ、今日マデ...サウスレバ運用ノ理由デ以テ定メルト云フコトハ更ニ理由ガナイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、第三ノ點ハ早ク定メテサウシテ四月一日以後ノ準備ヲシタイト云フ話モアリマスガ、ソレナラバ十二月初ニ豫算案ヲ提出ナサレタナ

ラバソレデサウスレバ餘程早く審議ガ終ル譯デアルト私ハ思フ、ソレニ對シテ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス
政府委員(山川端夫君) 山由ニナリトモ、

今佐竹君カラシテ色々ノ問題ニ付テノ御質問デアリマス、先議權ト審査期限トノ關係、是ハ昨日モ池田男
爵ノ御質問ニ對シテ御答シタト記憶イタシテ居リマス、我々ノ見ル所デハ、豫算ノ先議權ノアル爲ニ豫算
ノ審査期限ヲ作ツタト云フト、審議期限ト云フモノガ如何ニモ先議權アル爲ニ之ヲ制限スルト云フヤウ
ナ意味ニ聞エルノデアリマス、サウ云フ意味デハ無論ナイト思ヒマス、法律案ニ付テモ是ハ兩院何レノ方
ニ提出シテモ宜シイ、併シソレニハソユニ審議期限ト云フモノハ作ツテナイ、先キニ出シタ方ガ必ズシモ
幾日ニ審議セナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ定メル……定メナクテモ宜インデ、ソレデ濟ンデ行ク、
ソレデ先議權ト審査期限ト云フモノハ直接ノ關係アルモノデナク、先議權アレバ必ズ審査期限ヲ作ラナ
ケレバナラヌト云フヤウニ我々ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、是ハ全ク便宜上ノコトデ定メタモノデ
アラウト思ヒマス、先議權ヲ制限スルト云フ爲ニ、ト云フ意味デハ無論ナイコトデアラウト云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、一番當初ニ作ツタ時ノ趣意ハ、今判然イタシマセヌ、是ハ第一議會當時カラ審査期限、衆議院
ノ豫算委員會ノ審査期限ト云フモノハ定ツテ居ルノデアリマス、ソレデ性質カラ見マシテモ、先議權ニハ
必ズ審査期限ガ伴ハナケレバナラヌト云フ風ニハ見テ居リマセヌ、必要ナラバ之ニ審査期限ヲ附ケル、
又法律ノヤウナ運用上差支ヘナイモノハ審査期限ヲ設ケズニ今濟ンデ居ルノデアリマス、ソレデ衆議院

ニ既ニ憲法初ツテ以來豫算審査期間ヲ設ケマシテ、今日マデニ及ンデ居ルノデアリマス、ソレデ先程申シ
マス通りニ、ソレハナゼ貴族院ニサウ云フモノヲ作ル必要ガアルカト言ヒマス、政府ノ提案シタ理由ハ
先程カラ申上ゲマシタ通りニ、豫算ノ審査ニ付キマシテハ、衆議院、貴族院ノ間ニハ、先議權以外ニ何等ノ
權限ノ區別ハナイノデアアル、全然平等デアル、サウシマスレバ、此衆議院ニ既ニ審議期間、審査期間ヲ設ケ
テアリマスレバ、貴族院ニ於テモ之ヲ設ケルト云フノガ兩方同等ト云フ考ヘカラ見マシテ、其方ガ至當デ
ハナイイカ、ソレカラサウ云フ貴族院ノ豫算委員會ニ對シマシテ審議期間ヲ設ケレバ、ソレデ運用ガ出來ナ
イカト云フト、先程是モ繰返シテ申シタ通りニ、十分運用ガ出來ルデヤナイカト云フ風ニ我々ハ見テ居
ルノデアリマス、今佐竹君ノ仰セニナリマスヤウニ、貴族院ノ豫算委員會ニ於テハ二十一日デ大體審議サレ
テ居リマス、只例外トシテ延期サレルコトモアリマス、大體二十三日デ實行サルナラバ規則ノ中ニ入レル
方ガ宜イデハナイカ、我々カラ言フト實行出來ルナレバ、規則ニ書キ入レテモ一向差支ナイ、ソレハ貴族院
ノ衆議院ノ間ニ均衡ヲ得ルト云フ點カラ言ヒマシテモ、其方ガ適當デハナイイカ、サウ云フ考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ二十一日ガ豫算委員會ノ審査期間ニ適當デアルカドウカ、是ハ御承知ノ通りニ初メノ
間ハ十五日、衆議院モ豫算委員會ノ審査期間ハ十五日、ソレデ明治三十九年ニ於テ二十一日ト改マツタノ
デアリマス、當時ノ事情ハ詳シク調査シテ居リマセヌガ、豫算ノ審査其他ノ事柄カラシテ十五日ハ短イ、
二十一日ニスルト云フコトデ二十一日ニ極ツタヤウニ今承知シテ居リマス、ソレデ此二十一日ハ必ズモ三

箇月、九十日トドウ云フ割合テ極メタ上云フ、サウ云フ意味ハチイト考ヘテ居リマス、二番初メ十五日ト極ツテ居ルカ、十五日ハ審査ノ上ニ足りナイカラ、二十二日トシタト云フ單純ノ意味デアルトト私以テ解ルカテ居リマス、尙ホ此點ハ若シ誤リテ居リマスレバ、調査ノ上ニ訂正イタシテモ宜シウゴザイマスガ、別ニ會期ノ九十日、三箇月ト權衡ヲ取ツタ、ドカ云フ權衡ヲ取ルト云フヤウナ意味デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ今日衆議院ニ於キマシテハ、二ノ意見ト致シマシテハ、二十九年ノ時ノ豫算ノ額、ソレカラ今日ノ豫算ノ額ト比較シテ、仕事ノ殖ニテ來タ關係カラ比較シテ、二十一日デハ不適當デハナイカト云フ、議論モアルヤウデアリマス、現ニ議院法ノ委員會ニ於キマシテ、サウ云フ意見ヲ述ベタ人モアツタヤウデアリマス、併ナガラ衆議院全體トシテ、二十一日デ不足デアル、足サナイカラ是非延ベセト云フヤウナ的確ナル意見ヲ我々ハ聞イテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ意見ガ極ツタモノトハ見テ居リマセヌ、實際今日ノ運用カラ見マスレバ、二十一日間デ豫算上之ニ關聯スル法律案ヲ大體審議シ、其間延期シタコトモナイ、豫算案ニ付テ延期シタト云フ事實ハ第一回デアリマスカ、特別ノ關係デアツタ位ノコトデ、其以外ニハ延期シタ事實モナクテ皆期間内ニ決議シテ本會ニ提案シテ居ル、ソレデ之ヲ幾日ニスルハ適當デアルカト云フコトハ、隨分問題デアラウト思ヒマス、併シ今日マデノ實況實際ニ照シマシテハ、十一日マデ無事ニ此豫算案ノ審査ヲ了シテ來ルト云フ其關係カラ見マシテ、今直チニ之ヲ増加シカケレバナラヌト云フ結論ハマダ政府デモサウ云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、今日マデ是デ十分能ク運用サレ

テ來テ居リマスノデ、之ヲ特ニ殖サナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、マダ考慮シタコトハアリマセヌ、併シ將來ニ於キマシテモドウ云フ風ニナリマスカ、其點ハ別問題デアリマス、ソレカラ豫算ノ提出期間ガ從來一月ノ初メニナツテ居ルカラ、是ハ政府ノ怠慢デアル、豫算ノ審議ニ工合ガ惡イト云フ御話モアリマスルケレドモ、此方ハ豫算審査期間ヲ極メル問題トハ餘リ關係ガナイヤウニ考ヘテ居リマス、十二月ノ初メニ提案イタシマシテモ、一月ノ下旬、二十日前後ニ提出ヲ致シマシテモ、豫算審議期間ヲ極メル問題トハ、餘リニ密接ナ關係、直接ノ關係ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、唯早く議會ガ開カレマスレバ會期ガ三箇月デアリマスカラ、從ツテ豫算ノ終了ガ、審査ノ終了ノ決定ガ早くナルト云フコトニナリマス、併シ此期間ヲ早クスルカ遅クスルカト云フ問題ハ、是ハ今マデノ多年ノ慣例カラ來テ居ルモノデアリマシテ、之ヲ俄ニ變更スルコトガ果シテ適當デアルカドウカ、或ハ又政府ノ方カラ言ヒマスト、從來ノ慣例ヲ逐ツテ來テ居リマスノヲ急ニ一箇月餘リ繰上グルト云フコトガ、直グ出來ルカドウカ、是ハ餘程慎重ナル考慮ヲ要スルコトト思フノデアリマス、理窟ハ今佐竹君ノ御話ノアツタヤウニ早くヤルノハ差支ナイ、早クヤツタ方が宜イト云フヤウナコトモ論ジ得ルダラウト思ヒマス、併シ政府ノ豫算ノ決定日ニ付テハ、佐竹君ハ十分御承知ノ通りニ今日マデ色々ナ關係ガアリマシテ、段々延ビテ參ツテ居ルノデアリマス、豫算ヲ極メマスルニ付テハ、或ハ前年ノ、或ハ前々年ノ歳入現計ヲ見ルトカ或ハイロノ、豫算ノ方針ヲ極メルトカ云フヤウナイロノ、ナ關係カラ致シマシテ、大分長イ間カ、リマシテ、今デハ十月十月頃ニソレガ決定ニナル

ノデアリヤス、ナウシテ其議會ノ方ニ於テモ、先ツ責任ガ何處ニアルカトカト云フコトハ別ト致シマシテ、長イ間ノ慣例トシテ十二月ノ末ニ議會ヲ開キ、十二月ノ二十日過ぎニ豫算案ヲ提出スル、ソコガ此會計法ノ解釋等ニ於テモ差支ナイト云フコトニ慣例上今日ナツテ來テ居ルノデアリマス、其善シ惡シハ別ト致シマシテモ、實際上俄ニ之ヲ繰上ケルコトガ果シテ容易ク出來得ルカ、或ハ其方が便宜デアルカト云フヤウナコトハ、此慣例ヲ明致シテ來タ今日ニ於テハ餘程考慮ヲ要スルコトデハナイカト考ヘマス、要スルニ此問題ハ豫算ノ豫算委員會ニ於テハ豫算審査ノ期限ニハ直接關係ハナイヤウニ私ハ考ヘルデアリマス、ソレカラ尙ホ最後ニ豫算提出ノ日、衆議院ニ豫算ヲ提出シタ日、衆議院ノ豫算ノ通過ノ日、貴族院ニ於ケル提出及通過ノ日ト云フヤウナモノヲ調ベヨト云フコトデゴザイマスガ、直グ明日ハデニ出來マスカドウカ、此方ハ衆議院ノ日ニ付テハ衆議院ノ先例ヲ御覽ニナリマスレバ大抵載ツテ居リマス、貴族院ノ方ニモサウ云フ先例カ何カヲ集メタモノガアツテ、其方デ調ベタ方が却ツテ早イ、ドウセ今日政府デ調ベルニ付テモサウ云フモノニ依ルモノト思フ、大藏省ニハ決ツタ調ベタモノガアルカ知りマセヌガ、何レトナラニ致シマシテモ御希望デアリマスレバ十分ニ調査イタシマシテ成ルベク早ク御覽ニ入レルコトニ致シマス、唯明日ト云フコトニ付テ直グ同ニ合ヒマスカドウカ、是ハ一應調ベタ上デナケレバハツキ御答出來マセヌ、

佐竹三吾君

今御話ノ中デ衆議院ノ審査期間ヲ定メタト云フ理由ハ、先議權ニ關係ガナイト云フ御話デアリマスガ、豫算ガ衆議院ニ先キニ廻ルカラ審査期限ヲ定メタト云フコトデハナイ、先議權ニ關係ナイト云フコトヲハツキ御話ニナツタノデアリマスガ、サウデアリマスカ、

政府委員(山川端夫君)

私ノ今御話申上ゲマシタノハ、先議權ガアルカラ必ズシモ豫算審査期間モ定メナケレバナラヌト云フ結論ハ出ナイカラウト思フ、例ヘバ此法律案ナドニ付キマシテ見ヤシテモ、ドチラニ先キニ出シテモ宜イノデアリマスガ、其方ハ實際ノ運用ニ委シテ審査期間ト云フモノハ決メテナイ、一院ニ先キニ出ス、ソレデ審査期間ヲ必ラズ決メナケレバナラヌト云フヤウニモ思ヒマス、ソレデ豫算委員會ニ於ケル審査期間ヲ定メタノハ至ク便宜上ノ處置トシテ決メラレタデヤナイカト思フ、一番初メハサウ云フ意味デ決メタデヤナイカ、サウ云フ風ニ考ヘル、ソレデ既ニ斯ウ云フモノガ、審査期間ガ衆議院ノ豫算委員會ニ於テ設ケラレテアル以上、先程申シマス通り兩方均衡ノ上カラ申シマシテモ、貴族院ノ豫算委員會ニ於テモ同様ノ程度ニ於テ設ケル方が宜カラウ、斯ウ云フ理由ヲ以テ提案シタ次第デアリマス、

佐竹三吾君

私ノ聞イタノハ先議權ニ關係ガアルノデスカナイノデスカ、先議權ニ矢張り關係ガアルノデスカ、先議權ガ詰リアルノデアリマスカラシテ必ラズ決メナケレバナラヌト云フコトハナイト云フ御話デアリマス、

ガ、先議權ダケガ唯一ノ理由デハナイ、先議權モ關係ガアルト云フノデスカ、ハツキ
御話ヲ順ヒタオテアリマス、是レハ先議權ニ決シテ御話ヲ先議權ニ決シテ御話ヲ先議權
政府委員(山川端夫君)

其豫算委員會ニ審査期間ヲ設ケシタノハ是ハ議會初期カラノコトデアリマス、ソレデ其方ノ理由ハ
如何カト云フコトハ、是ハ各自ノ解釋ニ委シテ宜クハナイカト思フ、無論私ノ認メル所ハ、先程申シ
タ通りニ便宜上決メタモノデアツテ、先議權ガアルカラ之ヲ制限スル爲ニ設クルト云フヤウナ意味デハ
無論大イダラウト思フ、

佐竹三吾君

先議權ガアルカラ制限スルト云フコトハドウ云フノデスカ、日ニチヲ決メタリ制限スルト云フコトハ先
議權トハ關係ナク制限シテ居ルノデセウカ、審査期限ヲ決メルト云フコトハ即チ審査期限ヲ制限シテ居
ル是ハモウ疑ノナイ話デアル、日ヲ決メタ以上ハ其制限ノ理由ハ、立法ノ理由ハ、其當時ノ理由ヲ、是ハ私
ハ開フタノデハナイ、政府ガ今日解釋シテソレドウ説明スルカ、先議權ガアルカラ是ハ意見ガ決ツテ居
ルノダ、斯ウ云フノカ、或ハ先議權ノ外ニ他ニ斯ウ云フ理由ガアツテ決マルノデアルト云フノカ、或ハ先
議權ト全ク關係ナクシテ今御話ノ如ク是ハ便宜規定デアル、便宜ノ上カラ決メタト云フノカ、其處ノ意見
ヌハツキ何ツテ置イテ、サウシテ私ハ其理由ガ貴族院ノ期限ヲ決メルニドウ云フ關係ガアルカ、ソレ

ヲ伺ツタノデス、ソレデスカラハツキ政府ノ今見ル所ヲ、

政府委員(山川端夫君)

御尋ネノ趣意ハ能ク分リマシタ、併シ政府ガ貴族院ノ委員會ニ於ケル審査期間ヲ定メルト云フコトハ、衆
議院ノ委員會ニ審査期間ヲ定メテアル理由ハ斯ウデアルカラト云フコトヲ理由トシテ提案シタメデアリ
マセヌ、衆議院ノ委員會ニ於テ審査期間ヲ定メタ理由ハ、何レニ致シマシテモ今日衆議院ノ委員會ニ於テ
豫算審査期間ヲ定メテアリマスカラ、殊ニ豫算ノ審査ニ付キマシテハ衆議院ト貴族院トハ全然同様デア
ル、ソレデ一方ハ既ニ定メテアリマスカラシテ、貴族院ノ豫算委員會ニ於テモ之ヲ決メル方ガ然ルベキデ
アラウ、ソレデ其他ノ理由トシテハ運用上ノ事由ニナル、先議權ヲ決メタ理由ガドウデアラト云フコ
トハ根據トシテ申上ゲルノデハアリマセヌ、是ハ何レ各自ノ解釋ニ委シテ宜シイノデアリマス、私ノ見テ
居ル所ハ先程申上ゲマシタ通り、便宜上ト云フコトデ一番初メニ決メタモノト斯ウ考ヘル

佐竹三吾君

私ハ各自ノ勝手ノ意見ヲ聞イテ居ルノデハナイ、又今度提案サレタ理由ハ今御説明ニナツタノデ其理由
ハ分リマシタガ、併ナガラ私衆議院デ決ツテ居ル立法ノ理由ヲ聞イテ居ル、衆議院デ何故ハ決ツテ居ル
カ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ解釋意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ、其意見ガ言エナイト仰シヤルナラ
バ無理ニ聞ク譯ニイカヌガ、當然政府ノ意見ト云フモノガアルト思フ、衆議院ハ斯ウ云フ理由デ決メル、

併シ貴族院ヲ決メルニハ斯ク云フ理由ニ依ルノダ、今貴族院ヲ決メル理由ハ御話ニテツタ、何モ理由ナシ、政府ハ理由アリト云ツテ御話ニナラズ、其問題デハナイ、衆議院デ決ツテ居ルノハドウ云フ理由デアルカ、政府解釋ハソレガ定ツテ居ラヌノデスカ、ソレガ定ウテ居レバ、衆議院ニ對シテ何カモ其理由政府委員(山川端夫君)

其方ノコトハ餘リ本案ニ關係ガナイト思フガ、先程カラ申上ゲテ置キマシタ通り便宜上決メタモノデ、佐竹三吾君

先議權ニ關係ハナイモノデスカ、ソレデ向ホ其點ハ分リマシタサウ云フ意味デアルト云フコトハ、ソレカラ此表デアリマス、審査日數ノ表デアリマスガ、茲ニ定メラレタ審査日數ト云フノニ日ニテカアリマス、ケレドモ此日ニテハ豫算委員會ガ此案ヲ受取ツテ本會ニ報告スルマデノ日數ダト思フ、豫算委員會ガ之ヲ受取ル前ニ審査期間ヲ定ムルノ件ト云フ議事日程ノ下ニ、二日モ三日モ豫算ニ關スル質問應答ガ繰返サレテ居ルノデアルカラ、此日數ハ今度ノ法律案ノ日數ト比較シテ參考ニシテ私ハナラナイト思フ、今度ノ法律案ハ衆議院カラ貴族院ニ豫算ガ廻ツテ來タ其日カラ起算スル、其日即チ日程ニ上ツタ日ジヤナイ、其前デアル、日程ニ上ラヌモット前ナンデス、衆議院ノ方デハ日程ニ上リマシタ二日ト云フモノヲ二十四時間ト勘定サレテ居ル、貴族院ノ方デハ九二日デ四十八時間ト勘定サレテ居ルヤウデス、衆議院カラ貴族院ニ送付サレタ其日カラ日程ニ上ル迄ノ日ト、ソレカラ日程ニ上ツテソレガ豫算委員會ヲ開ク迄ノ日ニテト、

サウ云フモノヲ加ヘテサウシテ始メテ衆議院ノ二十一日ト比較ガ出來ル、其趣旨ヲ御示シテ願ハヌトゾスネ、是デヤタツタ一部分ダケシカノ日數デナイ、私ハサウ云フ解釋ヲスルノデアリマスガ、其點ニ付テ政府ハドウ云フ御考ヲ有ツテ居ラレマスカ、子爵前田利定君

チヨツト佐竹君ノ今ノ御質問ノコトデスカ、チヨツト御參考ニ申シタイト思ヒマス、此今御話ニナツテ居ル表デスネ、是ハ政府カラ參ツタノデヤナイ、是ハ貴族院ノ事務局カラ、昨年私ガ特別委員ノ矢張り委員デアツテ貰ツテ參考ニ致シマシタ材料デ有リマシタカラ、皆サン方ニ御配布申上ゲタラ何等カノ御參考ニモナリハセヌカト思ヒマシテ委員長ノ御頼ミデ、事務局カラ貰ツタモノデアリマスカラチヨツト申上ゲマス

佐竹三吾君 分リマシタ、其日數ヲ拵ヘテ、政府デ御調ベテ願ツテ之ニ附加ヘテ、其日數ヲ一ツ表ニシテ載キタイト思ヒマス、政府委員(山川端夫君) 其表ヲ私ハ實ハ今戴イテ居リマセヌノデ分リマセヌ、是ハ、荒川義太郎君

私ハ今ノ佐竹君ノ質問ニ付テチヨツト伺ツテ置キタイノデスガ、是ハ私ハ昨日缺席シマシタカラドウ云
 フコトガ昨日アウタカ分リマセヌガ、今日今質問セムトスル所ノ第一第二ト、私ガ質問セムトスル所ノコ
 第三トヲ佐竹君カラ御聽キニナツテ、佐竹君ニ政府カラ答辯ニナツタノガドウモ私ニハ解ラナイノデ、モウ一
 應私ハ確メテ置キタイト思ヒマス、ソレハ先刻カラノ政府委員ノ説明デ見ルト云フト是ハ先議權ニハ關
 係ナイ、是ハ確ニサウ仰シマツタニ相違ナイ、何ゼ、ナイカト云フノニ詰リ此豫算案ニ限ツテ、若シ先議權
 關係トカ或ハ威權ニ關係シテ居ルト云フコトニナレバ、豫算案ニ限ツテ付ケル必要ハナイ、他ノ法律案
 デモハドツチカニ先議權ガ矢張りアル、先議權ヲ付ケナケレバナラヌ……之ニ付テ居ラヌノハ詰リ先議權
 デナイト、斯ウ云フ御話デアツタ、故ニ結局ハ是ハ便宜上付ケタノデアルト云フ、斯ウ云フ御説明デアリ
 マシタガ、其便宜上ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、其便宜上ト云フコトヲモウ少し碎ケテ御話ヲシ
 テ黃ヒタイ、唯便宜上デア困リマス、必要ノナイノニ付ケルモノハナイ便宜ト云フコトハドウ云フコトデア
 リマスカ、之ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、又今度出タ法律案ノ方ノ必要ガアツタカラ之ヲ提出シタ、
 便宜上提出シタノカ、便宜上之ヲ設ケル必要ガアルト云フノデスカ、ドウ云フ意味デアルノデスカ、其邊
 が少しモ分リマセヌ、之ヲ一ツ説明願ヒマス

政府委員(山川端夫君)

此政府ノ提案シタ理由ハ先程申シマシタ通りニ衆議院ノ豫算委員會ノ審査期間ヲ設ケタ理由ノ如何ニ拘

ラズ、衆議院ニ於テハ既ニ豫算委員會ノ審査期間ト云フモノガ設ケテアリマスカラ、之ニ對スル均衡上、
 先程カラ屢申シマシマウニ豫算審査ニ付テハ兩院ノ間ニ何等權限ノ上ニ於テ區別ハナイノデアリマシ
 タ、ソレデ貴族院ノ豫算委員會ノ審査期間ヲ矢張り定ムル方ガ適當デアラウ、別ニ實行上、運用上等ト云
 フ理由モアリマスケレドモ、先ヅサウ云フ理由デ此本案ヲ提出シタ次第ゴザイマス、ソレデ此衆議院ノ
 委員會ニ審査期間ヲ設ケタニ番初メノ理由如何ト云フコトハ此本案ノ方ニハ實ハ私ノ考デハ直接ニ餘リ
 關係ガナイデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ一番初メノ設ケタ理由如何ト云フコ
 トニナリマスルト、先程カラ申上ゲマスル通りニ色々ナ解釋、各人ニ依ツテ解釋モ違ヒマセウシ、當時ノ
 書類ハ實ハマダ能ク拜見イタシテ居サマセヌデ、當時ノコトハハツキリ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、必
 要トアレバ其當時ノコトモ調ベテ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、今日ノ所ハ、モウ先程申シタコトデアリ
 マスガ、ソレデ當時ノコトハ別ト致シマシテ、先ヅキカラ先議權ガアルカラ、其先議權ノアル部分ダケニハ
 必ず審査期間ヲ設ケナケレバナラヌト云フ意味ニモ拜聽イタシマシタガ、是ハサウ云フ問題デハナイ、私
 ノ見ル所ニ依リマシテハ先議權ガアルカラ、必ず豫算審査期間ト云フモノヲ決メナケレバナラヌ、サウ云
 フ結論ニハ達シナイト私ハ斯ウ見テ居ル、ソレデ先議權ガアル場合ニ審査期間ヲ設ケテモ可シ設ケナク
 テモ可シ、必ず先議權ガアルカラ、先議權ガアルナラバ審査期間ヲ付ケナケレバナラヌト云フ結論ハ生ジ
 ナイデハナイカ、ソレデハ設ケタ理由ハドウカト云フト、是ハ昨日モ申シマシタ、只今モ申上ゲマシタ通

リ、矢張便宜上ノ理由ヲ設ケタノデアル、斯ウ云フ主義ヲ實ハ申上ゲタリシ、先議權ガアリバ必ず審査期間ヲ設ケナケレバナラヌト云フ結論ハ生ジナイデハナイカ、ソレデ審査期間ヲ設ケタ趣意ニ付キマシテハ、一番當初ノ趣意ハ私ハ的確ニ申上ゲルコトが出来マセヌガ、性質カラ見テサウ云フ風ニスル方ガ適當デヤナイカト云フ風ニ申上ゲタリシデアリマス、
荒川義太郎君

モウ一ツ御尋ヲ致シマス、ドウモソレダケノ御説明デハ分リマセヌ、幾ラ訊イテモ同ジコトデスケレドモ、ドウモ或ハ必要ト云フヨリカ、兩方ニナクテハ體裁モ惡イカラ、二十一日ヲ兩方ニ並ベテ置カサケレバナラヌト云フヤウチ風ニモ聞エル、カゼト云フト必要トハ仰シヤラナイ、適當ニ決メテ置タ方ガ適當ト、適當ト必要ト云フコトハ同ジコトカモ知レマセヌガ、サウ云フコトハ唯衆議院ニシテモ二十一日ガクツ附イテ居ル、貴族院モ二十一日トシテ置イタ方ガ宜カラウト云フ、タダ話デアツテ、是ハドウシテモクツ附ケサカレバナラヌ理由ニハ聞エナイ、又先議權ガアルカラ之ヲ期限ヲ付テ置ク必要ト云フモノガ生ズル云フ結論ニハナラナイト仰シヤリマスガ、併ナガラ是ハ却テ豫算ト云フモノハ重大ナ關係ノナルモノデ、政府ノ此國ノ仕事ノ運用上、之ヲ執行スルノニ重大ナ關係ガアルデアリマスカラ、他人法律案トハ餘程遠ク、ダカラ私ノ見ル所デハ衆議院ニ先議權ヲ與ヘタ以上、之ニ對シテモ期限ヲ付ケテ置カサケレバ、アトノ、後院タル本院ガ議スルノニ餘日ガ無クナルト大變困ル、サウ云フ理由ト私ハ思ツテ居ル、併ナガラソレ

ラノ事ヲ決メテ付テハ此二十一日ノ期限ヲ衆議院ノ方ニ付ケタコトノ理由ガ一番必要デアル、サウデアアルカ夫イカト云フコトハ餘程必要デアル、又私ハ初メ法律ヲ措ラヘタ時ニドウカ、ソレナコトハ聞イタシヤヤナイ、先刻佐竹君カラ聞イテ居ルコトヲ、政府ハドウ御覽ニナルト云フコトヲ聞ケバ宜シイ、法律ヲ措ラヘタ當時ニ過ツテ聞ク必要ハナイ、ソレガ大關係ヲ有ツテ居ルト私ハ見テ居ル、ソレヲ伺フノデアアル政府委員(山川端夫君)

其方ハ只今申上ゲタコトヲ繰返スコトニナルカモ知レマセヌガ、先議權ガアレバ必ず審査期間ヲ付ケナケレバナラヌ、サウ云フ風ニハ吾々ハ見テナイノデアリマス、先議權ガアルカラ審査期間ヲ付ケタ方ガ可ナト云フヤウナ議論ハ、是ハ随分起リ得ルコトデアラウ、併シ先議權ガアルカラ必ず審査期間ヲ付ケナケレバナラヌト云フヤウニハ解釋ヲ致シテ居リマセヌ、ソレデ此提案ノ趣旨ハ先程申上ゲマシタ通りニマア餘リ屢々繰返ヘヌヤウデ甚ダ恐レ入りマスカラ、繰返ヘシハ致シマセヌガ、先程申シマシタヤウニ、即チ貴衆兩院ノ間ニ豫算審査ニ付テハ權限上同等デアル、ソレデ是ニ對シテ均衡ヲ得ル爲ニハ貴族院ニ於テモ審査期間ヲ設ケル方ガ適當デアラウ、サウ云フ趣旨カラ此案ヲ提出シタノデアリマス、
荒川義太郎君

モウ幾度言ツテモ同ジコトデスケレドモ、ドウモ私ハ分ラナイノデアアル、今私ノ言ツテ居ルハ敢テ先議權ガアレバ必ず期限ヲ付ケナケレバナラヌ必要ガアルトカ何ントカ、サウ云フ議論デハナイ、詰リ豫算案

ニ付テ先議權ガ衆議院ニアルメダカラ、ソレニ付テ期限ヲ付ケナケレバナラヌト私ハ見テ居ルメデアラ
 テ、外ノ議案ナドニ付テ言フメデハナイ、豫算案ニ付テハ先議權ガアルカラ、ソレデ期限ヲ付ケテ置カヌ
 事ト、後デ廻ハスメダカラ貴族院ガ困ル、是ハドウモ國事ヲ執行スル上ニ付テノ大事件デアリマスカラ、是
 ダケハ付ケテ置カナケレバナラヌ、ソレデ議院法ニ定マツテ居ルモノト私ハ思フメデアリマス、其點ヲ聽
 クメデ、敢ヘテ先議權ガアレバ必ズ期限ヲ付ケテ置カナケレバナラヌト云フヤウナ漢タルコトヲ伺ツテ
 居ルメデハナイ、併ナガラソレニ付テ同様ナル答辯デアレバ、答辯ハ宜シウゴザイマス、
 河村謙三郎君

議院法ノ如キ重要ナル法案ニ對シテ政府ガ改正案ヲ御提出ニナツタメデアリマスカラ、必ズヤ相當ナ理
 由ガアルコトト考ヘテ居リマスメデゴザイマス、ドウモ私ニハ理由ガ極メテ薄弱デ、特ニ理由ガナイヤウ
 ニ考ヘマシテ、此疑ヲ質ス爲ニ質問ヲ致シタイト思ツテ居リマスルガ、昨日來段々質問ガアリマシテ、殆ド
 連綿トモテ居リマス、ソレデ總テ簡單ニ一點ダケヲ伺ヒタイト思ヒマス、是モ先刻誰方デアリマシタカ、
 御質問ガアツタメデアリマスガ、其點ニ對シテ政府委員ガ直接ニ御答ヘニナツテ居マス、其點ヲ一應私ハ
 繰返シテ申シマス、ドウゾ簡單直裁ニ御答ヲ願ヒマス、ソレハ斯ウ云フ點デアリマス、此貴族院ト衆議院
 ト豫算案ノ外ニ種々ナル議案ヲ審査イタスメデアリマス、然ルニ他ノ議案ヲ審査ニ對シテハ別段期間ヲ
 定メルト云フ法律ハナイメデアリマス、期間ヲ定メテ法律ハナイメデアリマス、唯豫算案ノ審査ニ對シテ

メミ期間ヲ定メルト云フ理由ガ何處ニアルカト云フコトデス、即チ他ノ總テノ議案ニ對シテハ別段審査期
 間ヲ定メナイ、ソレハ兩院ニ於テ審査シテ、適當ノ時期ニ審査ヲ終レバ宜イト云フコトニナツテ居リマス、
 唯此豫算案ニ對シテノミ二十一日間ノ期間ヲ定メテ、其期間内ニ審査ヲ終ラナケレバナラヌト云フコトヲ
 法律デ極メルト云フ理由ガ何處ニアルカト云フコトノ御質問ニ對シテ、ハツキリ未ダ御説明ガナイ、チヨ
 ヲト政府委員ノ御話ノ中ニ法律案ハ施行準備ノ期間ガアル、豫算案ハ四月一日ヨリ直チニ執行シナケレ
 バナラヌ、ソレデ豫算審査後其年度替リノ間ニ此豫算執行ノ準備ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ必要ガア
 ルト云フコトハ、チヨット仰シヤツタメデアリマス、併シ直チニ取消シテ、ソレハ何カ政府ノ都合デア
 カテ法律上ノ理由トハナラヌト云フ風ニモ仰シヤツテ、何カソレハ法律上ノ理由ニナラヌト致シマシテ
 モ、何カサウ云フ法律上ノ理由ニナルベキモノガナイメデアリマスカ、ソレガアリヤスレバ、ハツキリト
 御話ニナラヌト、何度質問シマシテモ、ドウモ皆御満足ニナラヌダラウト思ヒマス、或ハ其他ノ理由ニ
 付テハ玆ニ公ニ話スルコトガ困ル、何カ事情ガアリマスレバ……、困ルコトガアリマスレバ速記ヲ止メ
 テ御話シテ下スツテモ宜カラウト思ヒマス、唯便宜々々御説明ヲシテ居ツテハ、何時迄經ツテモ同ジコ
 トデアル、ソレカラ不思議ニ思ヒマシタカラ、些細ナコトデアリマスケレドモ、序ニチヨット申シテ置キテ
 スガ、衆議院ニ於テ第二項ノ修正ヲ加ヘタ、ソレニ對シテハ政府モ御同意ニナツテ居ルダラウト思ヒマス
 ガ、凡ソ法律上ノ期間ト云フモノハ、其期間内ニ爲スコトヲ要スル行爲、其行爲ヲ停止スル……法律上停

止スルト云フ事由ノアツタ場合ニハ、其間ハ期間ノ進行ヲ停止スルト云フコトハ、是ハ普通ノコトゾラ
 マス、普通ノ通則デアルト思フ、シテ見ルト云フト、ア、云フ二項ノヤウナ明文ヲ加ヘル必要ハナイカ
 知ラント考ヘマスガ、ソレヲ加ヘルト云フコトニ政府ガ御同意ニナツタノハドウ云フ御所見デアツタカ、
 ソレヲ一ツ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス、私ハ是ガケノ質問デアリマス、
 政府委員(山川端夫君)

今河村博士カラノ御質問デアリマスガ、第二ノ御問カラ先キニ御答ヘ致シマス、第二ノ點ニ付キマシテ
 ハ、河村博士ノ御話ノ通りニ政府モ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ來議院デアノ追加ノ案ヲ出シマシタ
 時ニ、私ハ斯ウ云フ風ニ答ヘテ置キマシタ、政府デハ此第二項ハナクテモ當然此ノヤウニ解釋スベキモ
 ノデアル、詰リ停會ノ日數ハ審査期間ニ算入セズト云フ規定ハ、當然此通リ解釋スベキモノデアル、斯ウ
 云フ修正ハ要ラナイモノト見テ居ル、併シ是ガ成立イタシマスレバ、此案ガ成立イタシマスレバ、政府
 ハ強イテ反對ハ致シマセヌ、サウ云フ趣意ニ答ヘテアルノデアリマス、今モサウ云フ考ヲ有ツテ居リマス、
 ソレカラ第一ノ御問デアリマスガ、二十一日ト云フ期間ヲ極メタノハドウ云フ趣旨デアルカト云フ御尋
 問デアリマス、豫算ニ限ツテ審査期間ヲ極メタト云フコトハ、無論豫算案ノ審議ト云ヌモノハ極メテ重要ナ點
 デ、是ハ皆様ノ御話ノ通り、是ハモウ何人モ疑ヒナイ所デアリマス、極メテ重要ナモノデアリマスカラ、其
 審議ヲ、兩院ノ審議ヲ十分適當ニ進行セシメテ行ク爲ニ斯ウ云フ期間ヲ設ケタモノト考ヘテ居リマス、

ソレデ此審査期間ヲ設ケテアリマス、又先キノ言葉ヲ繰返スコトニナリマスガ、サウ云フ趣意カラ言ヒマ
 シテモ貴族院ノ方ニ於キマシテモ均衡ノ上カラ言ヒマシテ、又運用ノ上カラ云ヒマシテモ、矢張り二十一
 日ト云フ期間ヲ設ケルノガ適當デハナイカ、サウ云フ理由カラシテ提案ヲ致シマシタノデ、ドウモ色々御
 意見ヲ伺ヒマス、其點ニ付キマシテハ或ハ政府ノ考ヘテ居リマスル所ト全然御意見ガ違フノデオザイ
 マス、今迄ノ質問ニ依ツテ承リマスレバドウモ審査期間ヲ設ケナイ方が、適當デアルト云フ御意見カラノ
 御質問等モ實ハ承ハツテ居ルノデアリマス、政府ノ提案イタシマシタ趣意ハ今迄申上ゲマシタ通りノ趣
 意デオザイマス、其外ニハ公開ノ席デ申上ゲ兼ネルヤウナ理由ハ持ツテ居リマセヌ

佐竹三吾君

先キ程カラ伺ツテ居ルノデアリマスケレドモ、一向私共ハ満足出來ナイノデアリマス、山川君ノ御説明ニ
 對シテハ甚ダ失禮デアケレドモ満足出來ナイ、殊ニ來議院ノ審査期限ヲ定メタ理由ノ御説明ニ至ツテハ、
 ドウモ私ハ更ニ其御説明ハ根據ガナイノデ、先キ程荒川サシノ御話ノ如クニ豫算案デアルカラ決ツテ居
 ルノデアル、而カモ豫算案ガ來議院ニ先キニ廻ハルカラ是ハ決メラレタノデアツテ、其外ニ私ハ理由ハナ
 イト思フ、サウ云フ考カラ見レバ、貴族院ニ之ヲ決メルト云フコトハ一向理由ガナイノデスカラ、其點ニ付
 テ御説明ヲ煩ハシタイノデスケレドモ、御答辯ハ甚ダ要領ヲ得ナイ、同ジコトヲ繰返シテ居ツテモ致シ方
 ガアリマセヌカラ、明日總理大臣ノ出席ヲ求メテ、總理大臣カラ一應御話ヲ承ツタ方が私ハ宜クナイカ

ト思ヒマス、法制上ノコトデアリマスガ、法制局長官ガ御出デニナツテ御話ニナレバ、ソレデ差支ナイヤウデアリマスケレドモ、法制局長官ノ御説明ハ大抵是ヲ盡キタト思フノデアリマス、是以上ハ總理大臣ノ出席ヲ求メテ審議ヲ繼續スルヤウニ致シタラドウカト思ヒマス、一向野山ノヤウニ其議ニ付政府委員(山川端夫君)

總理大臣ノ出席ノコトヲゴザイマスガ、先キ程總理大臣ノ出席ノ要求ガアリマシタガ、今日午後ハ衆議院デ追加豫算ニ關スル豫算委員會ヲ開イテ其方ニ出テ居リマスカラ、ソレガ濟ミヤシク此方ノ方ニ出ルト云フコトヲゴザイマス、其方ニ出ルハ、野山ノヤウニ其議ニ付男爵福原俊丸君

私モ佐竹君ト同感デアリマス、私ハ比較的今迄御發言ノ方ヨリモ法律的ノ知識ガ薄イノデ、常識デ判断ヲシテ伺ツテ居リマシテモ、ドウモ提案ノ理由ガ私ニ矢張り分ラヌ、殊ニ是ハ加藤内閣ノ政策ノ一ツデアルト云フコトモ提案ノ理由ノヤウニ御話ニナツタ、政策ノ一ツトスルナラバ、相當ナ法律ノ根據ガナケレバナラヌ、重大ナ根據ガナクチャナラヌト思ヒマス、所ガ便宜ダト云フコトニナルト、幾ラヤツテモ當局ガ便宜デアツタコトヲ政策ノ一トシテ持チ出サレタ日ニハ溜ツタモンデヤナイ、ドウシテモ私ハ矢張り總理大臣ガ出席セラレテ、提案ノ理由ヲ十分質シテ頂カナケレバ、私共ハ審議スルノニ困ル、ソレダケヲトシ荒川義太郎君

總理大臣ノ出席ヲ求メルト云フコトニ同意デアリマスガ、ソレニ付テチヨツト私ハ今ノ政府委員ニ伺ツテ置キマスガ、今河村君ニ答辯ニナツタ所デハ餘程我々ノ言フコトニ力弱イヤウニナツタト思フ、ソレハ斯ウ仰シヤツタデス、今此本案ニ付テ期限ヲ衆議院ニ付ケタノハ、詰ル所此豫算ハ矢張り先刻カラ申シタ通り、最モ國務遂行上必要ナ重大モノデアルカラシテ、詰リ言フト此進行ヲ圖ル爲ニ期限ガ附クノデアル、斯ウ云フ風ニ今御説明ニナツタ、詰リ進行ヲ圖ルト云フコトハ之ヲ一ツ言ヒ換ヘテ言フナラバ、詰リ先刻我々ノ言フタ通り、先議權ノアル衆議院デ長ク引張ツテ置カレルト云フト、詰リ進行上妨ダガアツテ、本院ニ廻ツテ來ルノニ障ルカシテソレデ期限ヲ付ケタ、斯ウ云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、其邊ハ如何デゴザイマスカ

政府委員(山川端夫君) 或ハ言葉ノ争ヒニナルカモ知レマセヌガ、チヨツト其前ニ福原男爵ノ御話ガアリマシタ、此案ヲ提出シタノハ便宜上提出シタト云フヤウナ趣意デハナイノデアリマス、ソレハドウカ先キ程カラ屢、繰返シテ申上ゲマス通りニ他ノ理由デ、是ハ便宜ト云フ文字ヲ私ガ使ヒマシタノハ衆議院ノ豫算委員會ノ審査期限ヲ設ケル根本ノ理由ハ何カト云フ御質問ニ對シマシテ、サウ云フコトヲ申シ上ゲマシタノデアリマス、其趣意ハ先キ程カラ申上ゲマス通りニ、先議權ガアルカラ必ずシモ審査期間ヲ設ケネバナラヌト云フコトハ我々見テ居リマセヌ、詰リ…併ナガラ先キ程河村博士ノ御尋ニ對シテ申上ゲマシタヤウニ、豫算ノ審査ハ極

メテ重要ナモノデアリマス、ソレデ、此期間ヲ設ケルト云フコトニナツタメデアリマス、ソレガ法律上先議權ガアルカラ當然ノ結果トシテ規定ヲ設ケタ、矢張り是ハ便宜上サウ云フ規定ヲ設ケタ、サウ云フ意味デアリ、申上ゲマシタノデアリマス、其處ハ或ハ言葉ノ争ヒト云フコトニナリマスレバ甚ダ相濟マスコトデアリマスルガ、先キ程ノ問答ハ先議權ガアルカラ必ズ審査期間ヲ付ケナクチャイカヌデアリマス、付クベキモノデアルト云フヤウナ、當然ノ結果ガ起ルト云フヤウナ御質問ト我々ハ諒解イタシマシタカラ、サウ云フ必然的ノ結果ニナル關係ガアルコトハナイガ、先議權ノモノハ先議權ガアツテモ必ズシモ期間ヲ設ケナクとも、重大ナモノデアルカラ之ヲ設ケルト云フコトハ無論差支ハナイ、ソレデ、既ニ衆議院ニ於テ一旦審査期間ガ設ケラレタ以上ハ、立案ノ趣意ニ基キマシテ貴族院ニ於テモ矢張り之ヲ設ケル方ガ適當デアリカ、ソレデ先キ程來展、申上ゲマシタ通りニ、衆議院ノ豫算委員會ノ審査期間ヲ設ケタト云フ理由ト云フコトハ、法律上ノ理由ト云フコトハ此本案ノモノト或ハ直接ノ關係ガアルトハ見テ居リマセヌ、其處ガ御意見ガ違フト云フコトニナルカモ知レヌト思ヒマスガサウ云フ趣意ニ申上ゲマシタノデ、誤解ガアリマシタラ甚ダ相濟ミマセヌカラ其點ハ、
 男爵福原俊丸君
 只今山川政府委員カラノ御説明デ、私ハ先程申上ゲマシタ常識判斷ヲ致シテ居リマスノデ、便宜ト言ハレタノハ、其場合々々ニ捉ハレテ申シタノデアリマスガ、結局總理大臣ガ出ラレテ、ソレカラシテ何ノ方ガ

便宜ダラウト思フノデス

副委員長(男爵木越安綱君)

只今佐竹君ノ御述ベニナツタ御趣意ニ基イテ、總理大臣ノ御出デラ願ツテ、明日開クコトニシテ、今日ハ是デ散會イタシマス

三月二十四日

委員長(公爵一條實孝君)

是ヨリ第三回目ノ委員會ヲ開キマス

佐竹三吾君

私ハ前回ニ於テ、提案ノ理由ニ付テ政府委員ニ御尋ネ致シタコトガ二三アツタノデアリマス、ソレニ對シテ政府委員カラ御答辯ヲ得タノデアリマスケレドモ、尙了解イタシ兼ネル點ガアリマシテ、總理大臣ノ御出席ヲ求メルト云フコトニ、他ノ總テノ委員モ御同意デアツタノデアリマスカラ、御出席ヲ待ツテ此委員會ヲ開クコトニナリマシタ、今日幸ヒ御出席デアリマスカラ、或ルベク私ハ簡單ニ其要點ヲ申上ゲマシテ、總理大臣カラ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、質問ノ第一ノ點ハ、議院法ニ於テ衆議院ニ於ケル豫算審査期限ヲ定メテ居ルノデアリマスガ、其現行制度ノ精神竝ニ立法ノ理由ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フノデアリ

マス、其コトニ付テ少シバカリ其質疑ノ理由ヲ申述ベタイト思フ、議案ノ總テニ付テ原則トシテ其議案ヲ提出スル時期、ソレカラドチラノ議院ニ先ニ提出スルカ、提出スベキ議院ノコト、其議案ヲ審査スルノ日限、此三ツノ點ニ付テ制限ガアリマスノハ、唯豫算案ダケヲヤウデアリマス、提出ノ時期ニ付テハ、會計法ノ第七條ニ依リマスルト、「歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ」召集ノ始ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、從テ此規定ヲ文字通り解釋イタシマスレバ、十二月二十五日ニ召集ガアリマスレバ引續キマシテ直チニ豫算案ヲ提案サルコト、思フノデアリマス、曾テサウ云ク例モアツタヤウデアリマス、ソレカラ又一度提案サレマシテ、サウシテ直チニ撤回サレテ、サウシテ休會明クノ一月ニ提案サレタ例モアツタノデアリマス、然ルニ此頃ハ、是ガ總テ休會明ケノ一月ノ初メニ提案サレルコトニナツテ居ルノデアリマス、此規定ノ解釋ハ姑ク別ト致シマシテ、兎モ角モ提案ノ時期ヲ制限シテ居リマスノハ、豫算案ダケト思フノデアリマス、ソレカラ又憲法ノ第六十五條ニハ衆議院ニ先ヅ提出スベシト云フコトヲ定メテ居ルノデアリマス、ソレニ引續キマシテ議院法四十條ニ、衆議院ニ於ケル審査期限ガ定マツテ居ルノデアリマス、他ノ此案ト其内容或ハ重ミノ程度ニ於キマシテ殆ド差異ノナイ、重大ナル案件ニ付キマシテモ、斯ノ如キ制度ガ現行法ニハ無いノデアリマス、獨リ豫算案ダケニ付キマシテ斯ウ云フ規定ガアルト云フノハ、ドウ云フ譯カト云フコトヲ考ヘテ見レバ、衆議院ニ詰リ先議權ヲ認め、貴族院ハ後ノ院トシテ之ヲ審議スベキモノデアルト、斯ウ云フコトヲ定メタ其結果デナイカト思フノデアリ

マス、他ノ法律案ニ依リマスレバ、何レノ院ニ對シマシテモ、又審査期限ハ何レデアツテモ、要スルニ憲法ノ定メテ居リマス三箇月ノ期間内ニ、所謂會期内ニ議案ガ審議サレタナラバ、ソレデ憲法ノ趣旨ニ適フノデアリマシテ、ソレヲ特ニ早く審議シナケレバナラヌト云フコトハ、憲法ニ於キマシテモ、議院法ニ於テモ、之ヲ認ムルヤウナ規定ハ少シモ無いト心得ルノデアリマス、サウ致シマスルト、衆議院ニ付キマシテハ、豫算審査期限ヲ定メルト云フコトハ、確ニ明確ナ理由ガアルノデアリマスルガ、今回ノ提案ニ依リマスルト、貴族院ニ於テモ亦其期限ヲ極メルト云フノデアツテ、從テ其貴族院ニ此制限ヲ置クト云フ立法ノ趣旨ハ、衆議院ニ對スル立法ノ趣旨ト違フ意味カラ出テ居ルノデアルカ、或ハ同様ノ意味カラ出テ居ルノデアルカ、其點ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ求メタノデアリマスガ、政府委員ノ御答辯ハ、此點ニ付キマシテ少シク明瞭ヲ缺クヤウニ思フノデアリマス、從テ先以テ此點ニ關スル總理大臣ノ御意見、即チ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

國務大臣(若槻禮次郎君)

御尋ネニナリマス點ハ、要スルニ一年度ノ歲計ノ全部ニ互ル重要ナル議案、殊ニソレガ殆ド國政料理ノ中心ニナツテ居ル議案デアリマスカラ、其議案ガ兩院ニ於テ能ク審議セラレテ、通常議會ノ間ニ通過センコトヲ望ンデ、丁度今御指摘ニナツテ居ルヤウナ法ガ出來テアルモノダラウト思ヒマス、即チ豫算ハ議會ノ始メニ出サナケレバナラヌ、其始メト云フ解釋ハ今御話ニナツタヤウニ、從前ハ嚴重ニ議會ノ開院式

ガアリマス、直ぐ出スコトニナツテ居クダノデアリマスガ、或ル時ハ一日出シテ形式的ニ撤回ヲシテ置イテ二十一日ニナツテ出シタ例モアリマス、昨今ノ議會ノ始マリト云フコトハ、丁度現實ニ議會ノ議事ヲ進メラル、始マリト云フコトハ極ツテ居リマス、ナウシテ衆議院ノ豫算委員會デハ、二十一日間ニ之ヲ議了シテ始メニ出スコト云フコトハ極ツテ居リマス、ソレカラ年度内ニ豫算ノ成立ガナケレバ、前年度ノ豫算ヲ執行スル、大體ハナウ云フ仕組ニ出來テ居ルト思ヒマス、ソレデ衆議院ノ豫算總會デ二十一日間ト云フ期限ヲ切ツテアルコトモ、矢張り衆議院ノ方ガ餘リ遅シテ、貴族院ニ參ツテ審査ノ期間ガ無イト云フヤウオコトニナツテハイケナイ、故ニ此期限ガ切ツテアルデアラウト思ヒマス、其期限ヲ切ツタコトガ、衆議院ニ先ヅ豫算ヲ提出セラレルト云フコトト關係ガアリヤ否ヤ、ソレハ私ハ矢張り全然關係ガナイトハ云ヘヌト思ヒマス、先ヅ先キニ出スコトデアリマスカラ、先ヅ其先キニ出サレル所ノ院ニ於テハ、成ルベク早ク議決スルヤウニト云フコトデアリマスカラ、全然關係ガナイト云フコトハ云ヘヌト思ヒマスガ、ソレナラバアノ審査期限ガ切ツテアル爲ニ、豫算ノ貴族院ニ廻ルコトニ必ズ制限ガアルカト云フト、豫算委員會デ議了スルノハ二十一日ノ期間内デアリマスケレドモ、衆議院ガ議決スルノハ期限ガ無イデアリマスカラ、ソレ故ニ衆議院ハ、本會ニ於テハ幾ラデモ長ク論ジテ居ツテモ宜イデアリマス、理窟ハ、ソレデアリマスカラ豫算委員會ニ於ケル期間ガ極メアルト云フコトガ、先議權ニ伴ツテ其衆議院ノ議決ノ期間ヲ定

ムル爲ニ必要トマデ、之ヲ固ヨリ結ビ著ケルコトハ出來ヌダラウト思ヒマスケレドモ、少クトモ豫算委員會ノ議事ハ二十一日間ニ終了セシメルト云フコトハ、衆議院ノ議事ヲ成ルベク早クセシメヤウト云フ意味ノアルコトハ、ソレハ其ノ間ノ關係ハ認めナケレバナラヌト思フデアリマス、今回政府ガ此案ヲ提出イタシマシタノハ、此先議權ノ有無、議會ノ議事ノ進行ヲ早クスルト云フヤウナ意味合モアリマスガ、大體ハ貴族院ト衆議院トノ間ニ、形ノ上カラ云ウテモ、實質ノ上カラ云ウテモ、區別ガアルト云フヤウニ見エルコトガ、何トナク兩院ニ於テ優劣ガアルヤウニ見ラレル虞レガアツテ、ソレガ爲ニ感情上ニ甚シク其刺戟ヲ來ス虞レガアルデアリマス、ソレデ衆議院ニ於テ豫算總會ニ期限ガアルナラバ、矢張り貴族院ニモ豫算總會ニ期限ガアルト云フヤウニシテ、兩院平等デアル、何事モ同じ取扱デアル、何事モ同じ事ヲヤラレルト云フコトニナツタ方が、兩院ノ方々ガ御互ニ心持好ク議事ノ進行ヲセラレルノデアル、要スルニ政府ノ考ヘテ居ル所ハソコデアリマス、併シ現行法ガ衆議院ノミニ此期限ガアツテ、貴族院ニ無イノハ、ドウ云フ譯カト云フト、先以テ衆議院ニ出サレルデアリマスカラ、先ニ議スル所ニ幾ラカ期限ヲ定メテ置カヌト云フト、後カラ議セラレル方面ガ大變不便ヲ感ゼラル、コトガアル、ソレヲ慮ツテ自ラサウ出來テ居ルノデアラウト思ヒマス、ソレハ私モ左様ニ認めナケレバナラヌト思ツテ居リマス

佐竹三吾君

唯今ノ御答辯ニ依リマシテ、衆議院ニ審査期限ヲ定メテアルノハ、衆議院ガ豫算ノ先議權ヲ有ツテ居ルカ

ラデアルト云フコトノ御答辯ヲ得マシテ、私共此點ハ満足イタスノデアリマス、ソレカラシテ第二ノ點トシマシテ、貴族院ニ之ヲ極メルト云フコトハ、衆議院トノ權衡論或ハ感情論カラ來テ居ルト云フヤウナ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ其權衡論或ハ感情論ト云フモノハ、ソレ程重キヲ置クベキモノデハナクシテ、寧ロ貴族院ニ於テハ之ヲ會期中ニ十分ニ能ク審議ヲスルト云フコトノ方ガ、正シイ見方デハナイカト考ヘルノデアリマス、從テ若シ之ヲ制限イタシマスルト云フコトデアレバ之ヲ制限スルト云フヤウナメデスガ、若シ貴族院ガ懶ケテ、或ハ故意ニ審査ヲ遲ラスト云フコトデアレバ之ヲ制限スルト云フヤウナコトハ必要ガアルカモ知レマセヌガ、貴族院ガ誠心誠意慎重ニ審査ヲスルト云フ風デアレバ、寧ロ之ヲ制限シナイト云フコトガ、一體憲法ノ趣旨ニ副フモノト思フノデアリマス、然ルニ政府ハ制限サレルト云フコトハ、感情論、權衡論ハ暫ク別ト致シマシテ、過去ニ於ケル貴族院ノ審議ガ、衆議院ニ比シテ其期間ガ不當ニ長カツタ、斯ウ云フコトヲ御認めニナツタ結果デアルノデアリマスガ、或ハ過去ニ於テハサウ云フ事實ハ認めテ居ラナイ、將來サウ云フコトガ起ルカモ知レヌト云フノデ、サウ云フ制限ヲ必要トサレルノデアリマセウカ、其點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、私ガ事務局ノ調査ニ依ツテ得マシタ材料カラ見マスルト、今迄此審査期限ヲ定メルト云フモノハ、豫算會ノ、議事ニ對シマシテ普通二十一日ト云フコトニ、本會議決マツテ居ルノデアリマス、併ナガラ其二十一日ト申スノハ、今度ノ法律デ豫想スル所ノ二十一日トハ全ク期間ガ異ナツテ居リマシテ、今度ハ衆議院カラシテ貴族院ヘ廻付サレマシタ日カラ勘定シテ、

サウシテ本會議ニ報告スル日ガ二十一日デアアルノデアリマスカラ、從テ豫算案ノ提出ニ付テ、議事日程ハ御承知ノ通り審査期限ヲ定ル件ト云フコトニナツテ居ツテ、其審査期限ヲ決メルニ付テ、其豫算案ニ對スル質問應答ガ、本會議ニ於テ二日モ三日モ、或ハ長ケレバ四日モ五日モ繼續サレルコトニナリマスカラ、其日ニチト云フモノハ、從來二十一日ノ中ニハ勘定サレテ居ラナイ、然ルニ今回ノ案ニ依レバ、是モ矢張り勘定シナケレバナラヌコトニナル、サウ致シテ見マスルト、過去ニ於テ實際其取扱ガ衆議院ニ比シテ不當ニ長カツタ、從テ之ヲ制限スル必要ガアルノダ、斯ウ云フ風ニモ見エル、然ルニ政府委員ハ此前ノ話デハ、之ヲ制限シテモ今迄ト大差ハナイ、詰リ制限シテモシナクトモ、事實ノ儘ヲ法律ニ現ハシタヤウナコトデアルカラ差支ナイト思フ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタケレドモ、事實ハ大變違ツテ居ルト思フ、少ナクトモ二日、三日或ハ長ケレバ四日モ五日モ期間ガ違ツテ居ルノデアリマスカラ、此提案ハ即チ貴族院ノ審査期限ガ過去ニ於テモ不當ニ長カツタ、衆議院ニ比シテ多キニ過ギタト云フ御考カラ此制限ヲ設ケラレタノデアリマスカラ、此點ヲ伺ヒタイ

國務大臣(若槻禮次郎君)

最近ニ於テ、率直ニ申上ゲレバ、豫算ノ審査ヲナサル期間ハ、衆議院ヨリ貴族院ハ長イノデアリマス、是ハ事實デアリマス、而シテ其長イノハ、唯今佐竹君ノ仰セニナルヤウニ、本會議ニ於テ質問ガアツタ後カラ審査期限ヲ勘定サレルモノデアリマスカラ、サウシテ多クハ其時ハ、先ヅ衆議院並ニ二十一日ト云フコト

ニナナルカラ、其前ニ本會議ノ質問ノ續イテ居ラル、間ダケガ、實際ハ期限ガ長クナツテ居リマス、私ハ是ハ無用ニ長イト言フノデアリマセス、事實ヲ申スノデアリマス、事實ハ最近ニ於テ衆議院ヨリ貴族院ノ方が豫算ヲ長ク審査セラレルト云フ狀況デアルト云フコトハ、事實デアリマス、サウシテソレモ慎重ニ審議セラレルカラデ、是ハ私ハ強ヒテ其慎重ニセラレルコトガ惡イト云フノデモ何デアリマセヌガ、衆議院ニ於テハソレヲ二十一日間ニヤルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、本會デモ實ハ質問者ガアツテモ、マア二日カ三日經チマスト、質問ヲ打切りニシテ豫算總會ニ移ル、豫算總會ニ行キマスト、質問者ガアツテモ、或ル所マデ行クト、質問ヲ打切ツテ議事ヲ進メルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ期限ニ制限ガアツテ、勢ヒ斯ウシナケレバ、現在貴族院デヤツテ居ルヤウニ、質問者ガアレバ何時迄デモ質問ヲ續ケルト云フヤウナヤリ方ヲ衆議院デヤツテ居ツタナラバ、二十一日間デ議了ガ出來ヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ衆議院デハ始終相當質問セラレタト見ラレル時ハ打切ツテ、議事ノ進行ヲ圖ルト云フコトガ、現在ノヤリ方デアリマス、ソレ故ニ事實ニ於テハ、貴族院ノ方が今ノ所デハ審査期限ガ長イト云フコトハ、實際デアリマス、善惡ト云フコトヲ私ハ申シマセヌ、ソレデ衆議院デ先ヅサウ云フ風ニ行クナラバ、貴族院ニ於テモ其事モ實行サレテ出來ヌコトハナイダラウ、故ニ出來ルナラバ、ソレガ違ツテ居ルガ爲ニ、其兩院ノ間ニ稍、貴族院ニ優越ナ地位ヲ持ツテ居ラレル、衆議院ノ方ハ非常ニ法規ニ於テ拘束セラレル、誠ニ押ヘラレタ地位ニ居ルヤウナ感ジガ始終茲ニ殘ツテ居ルト云フコトハ矢張り私ハ兩院ノ議事ヲ圓滿ニ進メラレ

ルト云フ意味ニ於テ、面白クナイコトデハナカラウカ、衆議院デ出來ルコトナラバ、貴族院デモ其通りナサレテ宜シクハナイカ、ソコニ全ク兩院ノ間ニ於テハ同一トナツテ居ツタ方が一般ノ人が見ル所、又兩院ノ方ノ御互ニ見ラレル所モ、大變感情上宜シクハナイカト思フ、要スルニ此案ハ事實ニ於テハ現行ノ通りデアツテモ、改正セラル、點ハサ迄何處ニドウト云フコトハナイト思ヒマスガ、兩院ノ間ニ一院ノ方が他院ヨリ有利ナ地位ニ居ラレルト云フ感情ヲ、何時マデモ殘シテ置クト云フコトハ、面白クナイデヤナイカ、ソコハ兩院平等デアルト云フ形ニ置イタ方が宜シクハナイカ、大體ハ政府ハ左様ナ考デ居ルノデアリマス

佐竹三吾君

私ハ唯今總理大臣ノ御話ニナリマス、貴族院ガ此點ニ於テ優越デアルト云フコトハ、全ク誤解デアルヤウニ私ハ考ヘル、ソレハ決シテ正當ナ解釋デナクシテ誤解デアル、寧ロサウ云フ誤解ヲ政府ノ方カラ正スト云フコトニシタイ、ソレガ本當デハナイカト私ハ思フ、併シ是ハ私ノ意見デアリマス、併ナガラサウ云フ意味カラ是ハ立案サレタト云フコトデアリマスレバ、ドウモ私トシテハ理由ガナイコトト思ヒマス、モウ一ツ御伺ヒシタイノハ、貴族院ニ尙ホ審査スベキ餘日ガアルニモ拘ラズ、期限ヲ付スルト云フコトハ、詰リ早ク案ヲ議了スル、斯ウ云フヤウナ意味デアルノデアリマスカ、或ハ別ニ是ハ早クスルト云フ意味デハナクシテ、今御話ノ如クニ、唯衆議院ト同ジヤウニヤルト云フコトノ意味ニ外ナラヌノデアリマスカ、ト申スノハ、若シ之ヲ早ク議了スル必要ガアル、此前ニ政府委員ガサウ云フヤウナコトニ付テ御説明ガアツ

タノデスガ、四月一日カラ豫算ヲ實行シナケレバナラヌカラ、成ルベク早ク議了スルコトガ運用上便宜デアル、斯ウ云フ御話ガアツタノデアリマス、此點ニ重キヲ置カレテ居リマスナラバ、會計法ノ明文ニ依ツテ、召集ノ初メニ御提案ニテハ、サスレバ召集ガ十二月初メデアリマスレバ、先ヅ十二月中、即チ年内中ニ衆議院ガ濟ンデシマフ、サウスルト一月ニナツテ貴族院デ審議ガ出來ルト云フコトニナリマスカラ、詰リ政府ノ召集ニ關スル奏請ヲサレマス際ニ、此點ハドウデモ運用ガ出來ルヤウニ思フ、早ク議了サレルト云フコトガ、矢張り此中ニ含まレテ居リマスガ、其點ヲ伺ヒタイ

國務大臣(若槻禮次郎君)

御尤モナ御質問デアリマスガ、從來ハ十一月頃カラ開會シタコトモアリマス、或ハ十二月初メカラ開會サレタコトモアリマス、私共會テ大藏ノ當局トシテ居ツタ時モ年内ニ衆議院ダケハ豫算ヲ議決スルヤウニナツタ時モアリマス、ソレデアリマスカラ、召集ノ時ヲ考ヘテヤルナラバ、年度開始ヨリズツト以前ニ豫算ノ成立スルト云フコトモ出來マス、最近ニ於テハ、ソレガマア遅レルヤウナ慣習ガ付イタト言ツテハオカシイコトデスガ、議會ガ遅レテ濟ミマス、從テ政府ガ準備スルノガ、從テ豫算ノ編成ガ遅レルモノデスカラ、今日デハナカク、十一月ニ議會ヲ開クト云フコトハ、事實出來ヌヤウニナツテシマツタノデス、理論上ハ出來ル譯デスガ、事實ハ出來ヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其事實出來ヌト云フコトカラ、早ク豫算ガ成立シタナラバ、四月一日カラ實行スルノニ便利デアルト、斯ウ思ツタノデナイカト思フ、如何

サマ前ノ方ニ召集ヲ持ツテ行ケバ、此四月一日以前ニ時日ヲ置クコトハ、出來ヌコトハアツマセエスガ、私共ハ強ヒテ貴族院ノ審査ノ權限ヲ短メタイト云フノデアリマセウケレドモ、衆議院デ先ヅ二十一日デヤツテ居ルナラバ、貴族院デモ二十一日デヤルコトガ、若シ此法律案デ決マリマスレバ、ソレハ便宜ハ大變多イノデアリマス、何トナレバ、豫算ノ審査ノ方面ヲ專ラ説明ヲシテ居ラナケレバナリマセヌト、外ノ法律案ナドノ、ソレハ衆議院ニ於テモ貴族院ニ於テモ、説明ナド致シマスノニ、餘程今日ハ時間ガナクテ困ツテ居ルノデアリマス、ソレガ大抵豫算ノ審査ト云フモノガ、豫算委員會ハ二十一日デ濟ムト云フコトニナリマスレバ、政府委員ガ他ノ法律案等ニ於テ説明スル餘裕ガ出テ參リマスノデ、ソレデ議會ノ行動ヲスル上ニ於テハ、大變便利ニナル、便利ヲ申上ゲマスレバ、其便利ヲ得ルタメニ、此二十一日ノ期限ヲ置クト云フコトヲ出シタカト云フ仰セナラバ、私ハサウ云フコトヲ思ツテ居ナイノデアリマス、サウ云フ便宜ハアリマスケレドモ、私ノ重キヲ置イテ居ルノハ、兩院ノ間ガ同ジニナル、ソレハ何ト云ツテモドコカニ、二院ノ間ノ一院ガ、少シデモ取扱ヒ方ガ不便ニナツテ居ルト云フト、ドウシテモ其一院ノ人ト云フモノハ、神經ヲ過敏ニスルモノデアリマス、不必要ニ神經ヲ過敏ニスルト云フコトハ、却テ詰ラヌデヤナイカ、其ノ間ヲ同ジヤウニシテ置カレルナラバ、サウシテ置ク方が宜シクハナイカ、茲ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、私ハソコニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス

佐竹三吾君

私ノ質問ハ終リマシタ

〔此時男爵木越安綱君發言ノ許可ヲ求ム〕

委員長(公爵一條實孝君) 閣下ノ質問ニ對シテハ、先づ御座候御座候、然レモ、

木越君ハ、...

男爵木越安綱君 閣下ノ質問ニ對シテハ、先づ御座候御座候、然レモ、

私ノ質問ハ佐竹君ノ御尋ト同ジデアラスカラ、...

委員長(公爵一條實孝君) 閣下ノ質問ニ對シテハ、先づ御座候御座候、然レモ、

木越君ハ取消ニナツタモルト認メヤス、福原男爵...

男爵福原俊丸君 閣下ノ質問ニ對シテハ、先づ御座候御座候、然レモ、

唯今總理大臣カラ御説明デ、大體ニ於テ御趣旨ノアル所ハ了承イタシマシタガ、其間ニ二三御尋イタシタ
イコトガアリマス、今兩院ノ權衡上ドウモ同ジヤウニ取扱フコトガ宜シイ、即チ今ノヤウデアルト云フト、
自然上院ノ方ガ下院ヨリモ優ツテ居ル、優劣ヲ惹起シテ感情ヲ惡クスル、御尤モ大話デ、政治ガ兎角感情ニ
趨ツテ行ク、冷靜ニナルベキモノガ、感情ノ爲メニ正シイ道ヲ失フト云フコトハ、是ハイツモ人間ノ常デア
リマス、其點ヲ御考慮ニナツタト云フコトハ正ニ結構デアリマスガ、其權衡ト云フコトニ對シテ、是ハモ
ウ少シ私ハ伺ツテ置キタイ、權衡ヲ保ツト云フコトヲ、現總理ハ今迄ヨリモ誠ニ總テノ點ニ付テ頭腦ガ圓

熟シテ居ラレル、殊ニ現内閣ニナラレテハ總テノ政治ハ正義ノ上ニ立ツテ行カウト云フ、非常ナ偉大ナル御
理想デ、ソレヲ實際實行シテ居ルト云フコトハ、實際認メテ居ルノデアリマス、サウスルト權衡論ト云フ
モノハ、唯形ダケデ見ルト云フコトハ、私ハドウデアラウト思フ、詰リ同ジ状態：今ノ狀況ハ同ジ状態デ
アル場合ニ、上院ト下院ハ形ニ於テモ同ジデアルベキ筈、即チ同時ニ豫算ヲ兩院ニ出サレル場合ニハ、ソ
レハ上院ノ方ガ二十一日ト云フ期限ガナイトスルナラバ、無論上院ニ非常ニ便利ヲ與ヘルコトニナリマ
ス、ダカラ一ツノ而モ同ジ形デアルト云フコトハ、其團リノ狀況ニ餘程支配セラレルト思フ、デ衆議院ニ
先議權ノアル結果、衆議院ニ先キニ出サレル、サウシテ上院ニ次ニ出サレル、ソコニ順序ノ上ニ於テモ差
異ガアル、又實際議會ノ最初衆議院ニ於テ種々ナ論議ガアツテ、此豫算バカリデナシニ、總テノモノニ對シ
テ、サウシテ其會期ノ半バ過ギニナツテ、團リノ狀況ト云フモノハ、幾ラ衆議院ニ於テ將來人間ガ改選セラ
レテ政治ヲ冷靜ニヤルヤウニナツテモ、ドウシテモ議會政治デアル以上ハ、野黨與黨ノ立場ニ於テ、必ズ理
性ヲ失スルコトハアリ得ル、ダカラシテサウ云フヤウナ組織：本年ノ如キハ實ニ甚シイ状態ニ於テア
ルコトハ、御互ニ誠ニ慨歎ニ堪ヘヌ、サウ云フヤウナ狀況ニナリ得ルコトヲ考ヘマスト云フト、必シモ上
院ト下院トノ期限ヲ同ジヤウニスルト云フコトハ、兩方ノ權衡上ドウモ同ジデナケレバイカスト云フコ
トヲ、私ハ非常ニ淺學ナ論デアルト思ヒマス、即チ此問題ヲ解決スル主眼ナル點ハ、我々ガ陛下カラシテ
豫算ヲ：此開院式ニ於テ勅語ヲ賜ハリ、御互ニ能ク妥協シテ慎重審議ヲシテ、我々ハ兩院トモ之ニ對シ

ヲ慎重審議イタシマス、斯ウ奉答シテ居ル、毎年同ジ形ニ於テ、是ハ形式上同ジク、心持モ同ジニシテ、此形式ハ心持ト全然一致シテ居ル、慎重審議スルト云フコトニ對シテ我々ハ餘程考ヘニヤナラヌ、デ慎重審議スルノニ不便ヲ與ヘラレルヤウナコトガ若シアルナラバ、形ニ於テ同ジニアルト云フコトハ、唯感情論其他ノサウ云フヤウナ唯形式ニ囚ハレテ、サウシテ必ず一緒ニセニヤナラヌト云フコトハ、私ハドウモ現總理ノ正義ノ上ニ立ツテ政治ヲヤラウト云フ御理想カラ云ウテ、ドウモサウ云フコトハアリ得ナイト私ハ思フ、殊ニ現ニ今日ニ於テモ本日追加豫算ガ廻ラテ來テ、サウシテ餘ス所、會期ガ二日、又ソレニ關係シタ議案モマダ衆議院ノ方デ……法律案モ衆議院ノ方デ決定ガドウナルカ、マダ分ラヌガ、本日豫算總會ニ於テ或ル一委員カラ質問サレタ如キ狀況デアル、デドウシテモ實際ニ於テ、今現ニ目ノ前ニ於テ、貴族院ノ會議ハ本當ニ慎重審議シテ聖明ニ答ヘル爲ニハ、時日ガモウ少シ要ルト思フ、若シ之ヲ二十一日ト假ニ期間ヲ定メルト、無論二十一日ト定メラレバ、ソレニ對シテ相當ナ御準備ハナサルデアリマセウケレドモ、今日ノヤウナ人心ノ極メテ統一シナイ時ニ於テ、ソレハ今後ノ政府ノ御努力ニ依ツテ、政黨ノ如キモ餘程秩序ガ立ツテ來ルデアリマセウケレドモ、マダ當分衆議院ニ於テ各政黨ノ間ニ於テモ、隨分感情ニ走り正義ヲ外レル、正道ヲ外レテ居ルヤウナコトガ起リ得ル、是ハ私ハ惡ルイト云フノデハナイ、ソレデアリマスカラシテ實際期間ヲ御決メ下サルコトハ、寧ろ斯ウ云フ時代ニ於テハ、兩院ノ豫算ヲ慎重審議スル見地カラシテ、ドウモ適當デナイヤウニ考ヘル、其點ニ對シテ兎角形式論ニ流レルヤウニ思ヒマスカ

ラシテ、サウ云フコトガアツテモ、矢張り期間ヲ定メテ置クベキガ正シイ、斯ウ御考ヘニナレバ、其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ次ニ感情論ノ如キ、矢張り兎角今日……

委員長(公爵一條實孝君)

福原男爵、總理大臣ハ是カラ又豫算總會ノ方ニ出ラレタイト云フコトデアリマスカラ、第一問ダケノ御答ヲセラレテ、アトハ政府委員ニ御任セ願ヘマスマイカ

男爵福原俊丸君

ソレデハサウ……

國務大臣(若槻禮次郎君)

福原男爵ノ實質ニ付テノ色々御考察ハ、或ハサウ云フコトガアルデアラウト思ヒマス、併シ兩院ノ……外ノ院ノ人ノ又考察ガアリマシテ、サウハ觀察セヌカモ知レマセヌ、ソレデドウモ政府デ案ヲ立テルトキニハ、寧ろ形式ノ方デ成ルベク同様ニナツテ居ツタ方が宜カラウト云フノデ、立テタノデアリマシテ、ソレヲ更ニ實質ノ考察ヲ加ヘルト云フコトニナリマス、是ハ又別論ニナリマスカラ、原案ハ形式ノ上ノ同等ト云フコトニ重キヲ置イテ立テタノデアリマス

男爵福原俊丸君

宜シウゴザイマス

委員長(公爵一條實孝君)

「アトノ御質問ニ對シテハ政府委員カラ御答ヲスルコトニ御了解ヲ願ヒマス

男爵福原俊丸君

「ドウモモウ少シ質問ヲ致サナイト……政府委員デハ……」

委員長(公爵一條實孝君)

「タツテノ總理カラノ御頼ミデアリマシタカラ左様致シマシタ、對テ承テ願ヒマス……」

男爵福原俊丸君

「私ハ是デヨシマス……」

委員長(公爵一條實孝君)

「政府委員ニハ御質問ニハナリマセヌカ……」

男爵福原俊丸君

「今少シ總理ノ御考ヲ承ツテ、サウシタラ政府委員ニ伺ツテモ宜シウゴザイマスケレドモ、總理ノ御考ハ伺ハズニ置イテ、政府委員ニ伺ツタ所デ、政府委員ガ總理デヤナシ、此問題ハ大分重大ナ問題デアリマスカラ、大變困ル、今言ハレルヤウニ、形式ト實質ト、是ハ私ハ伴ハナケレバナラヌト思フ、殊ニ私ハ今申シタヤウニ、現總理ハ正義ノ上ニ立ツテ政治ヲスルト云フコトヲ、過日モ公會ノ席ニ於テ言ハレテ居ル、精養軒ニ於ケル憲政會ノ總理就任ノ祝賀會ノ時ニ於テ、天下ニ聲明サレテ居ル、私ハサウ云フヤウナ總理デアルカラシテ、形式論ダケヲ取ラレテ、斯ウ云フ吾々トシテ……貴族院トシテハ誠ニ重大ナル法案ヲ取扱ハレルノデアルカラシテ、今少シ質問シテ見タイ、ドウシテモ正義ノ上ニ立ツテ政治ヲヤルト云フ御決心ガアル以上ハ、正義ノ上カラ考ヘテ、世ノ中人ヲ指導シテ行カナケレバナラヌ、ソレデ吾々ソレニ對シテ、實際形式論デヤル方ガヤハリ方便デアツテ、正義ノ基礎ノ上ニ立ツテ政治ヲヤル上ニ於ケル方便デアルト云フコトガ分レバ宜シウゴザイマスケレドモ、私トシテハ、正義ノ上ニ立ツテ政治ヲ改善シテ行クト云フコトハ、中々困難ナコトデアツテ、サウ云フ政府ノ簡單ナ御考デヤイカヌト思フ、デスカラシテ其根據ヲモウ少シ伺ハヌト、政府委員ニ伺ツテモ私ハ仕様ガナイト思ヒマス、或ル機會ニ於テ若シ出來ルナラバ伺ツテ見タ

オイ(公爵一條實孝君)

男爵池田長康君

「私ハ簡單ナル質疑デアリマス、只今出テ居リマス追加豫算、今日豫算總會デアリマシタ……衆議院ニ於キマシテハ、承ル所ニ依レバ、十九日ニ提出サレテ、五日間審議サレタ、本院ニ於テハ昨日出タノデアリマセウガ、此追加豫算ニハ審議期間ト云フモノハ設ケテナイ、ツマリ今日ノ追加豫算ノ實情ヲ見ルナラバ、先議權ヲ持ツテ居ルモノハ如何ニ有利デアルカト云フコトヲ十分……衆議院ノ方ハ先議權ト云フモノヲ御氣付ナイ結果、サウ云フコトニナルノデアラウ、斯ウ思ヒマスカラ、是ハ質疑デアリマスケレドモ、總理大臣ニ

御尋ねスルノデアリマス、ケレドモ、是ハ御取次ヲ願ツテ御參考ニシテ戴キタイ、斯ウ云フ私ハ質疑デア
リマス、
佐竹三吾君

既ニ會期モ明日ニ迫ツテ居リマシテ、此問題ヲ議スルニ付キマシテハ、時間モ甚ダ少ナイノデアリマス、カ
ラ、併ナガラ此案ニ對スル政府當局ノ御意見ハ大體知ルコトヲ得タノデアリマス、直チニ討議ニ御這
入リニナリマシテ、サウシテ此問題ヲ採決サレルヤウニ願ヒマス

委員長(公爵一條實孝君)

佐竹君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ、トイ思ハマス、
委員長(公爵一條實孝君)

討議ニ移リマス

佐竹三吾君

私ハ此案ハ昨年ノ第五十議會ニ提案ニナリマシテ、之ニ對シテ貴族院ガ但書ヲ附シテ同意ヲ致シタノデ
アリマスガ、併ナガラ是ハ其當時ニ於ケル政情ガ餘程關係イタシテ居ルノデアリマシテ、當時ニ於テモ審
査期限ヲ設ケルト云フコト自體ヲ決シテ適當ナリト考ヘタノデアリマシテ、併ナガラ之ヲ今日論
議スル必要ハアリマセヌケレドモ、私ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ツタノデアリマス、今回又此案ガ政府ノ提案

トシテ出テ參ツタノデアリマスガ、政府ノ提案ノ理由ヲ伺ヒマシテモ、的確ナル理由ノ發見ニ苦ムノデア
リマシテ、兩院ノ權衡論デアルトカ、或ハ兩院ノ感情論デアルトカ云フコトニ付テ、總理大臣カラ色々御説明
ガアリマシタケレドモ、私ハ其感情ハ全ク誤ツタ感情デアツテ、斯ノ如キ誤ツタ見方ニ基キマシテ、貴族院
ニ於ケル豫算ノ重大ナル審議權ヲ制限スルト云フコトハ、憲法ノ趣旨ニ反スルモノデアアル、貴族院ハ憲法
ノ與ヘラレタ權限ニ基キマシテ、其期間ノ許ス限リ慎重ニ審議ヲスルノガ至當ノコト、思フノデアリマ
ス、デ殊ニ會期ノ切迫スルニ付キマシテノ豫算案竝ニ之ニ關スル法律案、其他豫算ニ關係ハ致シマセヌケ
レドモ、重要ナル法律案ガ一時ニ貴族院ニ參ルノデアリマシテ、此際若シ豫算案ノ審議ニ期限ガ附セラレ
マシタガ爲ニ、十分ナ審議ガ出來ナイト云フコトデアリマス、貴族院トシテ決シテ其職責ヲ盡シタモ
ト認メル譯ニ參ラヌノデアリマス、デ貴族院ハ其期限内ニ於テ十分能ク慎重ニ審議ヲスルト云フコト
ガ、是ガ貴族院ノ職責デアツテ、衆議院ニ審査期限ノ設ケテアリマスノハ、既ニ總理大臣モ御承認ニナツタ如
クニ、豫算先議權ノ關係デアラウト思フノデ、從テ貴族院ニ此理由ヲ當嵌メルト云フコトハ、全ク根據ナ
イノデアリマス、此案ハ全會一致ヲ以テ否決セラレマシテ、サウシテ斯ノ如キ案ヲ衆議院ノ方カラ提
案スルトカ、或ハ政府カラ提案スルト云フコトハ、全ク憲法ノ精神ヲ誤解シタモノデアアル、誤ツタ感情ニ立
脚シタルモノデアルト云フコトヲ、私ハ天下ニ發表シテ再ビ斯ノ如キ議案ガ貴族院ノ門ニ入ルコトヲ防
グト云フコトガ適當デナイカト思ヒマス、デサウ云フ意味ニ於キマシテ、本案ノ否決サレムコトヲ希望イ

議院ノ三十一日ノ審査期間ガ定メテアルノハ恐ラク衆議院ニ豫算ノ先議權ガアルカラシテ特別ニ定メラレテアルノデハナカラウカト云フ意味ノ質問デアリマシタガ、之ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、何故カ頗ル理解ノ出來ナイ御答デアリ、衆議院ノ審査期間ハ先議權ト關係ガアルガ如ク無キガ如ク、便宜上、定メタモノダト云フヤウナ御解釋ヲ採ラレテ居リマシテ、現行規定ノ解釋ハ兎モ角トシテ衆議院ニ於テ其審査期間ガ定メラレテアル以上、同様ニ貴族院ニ於テモ其規定ヲスルノガ適當ナリト云フコトヲ續々力説セラレタモノデアリマス、其他色々ノ質問ガ出マシタガ、結局、政府委員ノ御答辯ハ到底本案提出ノ理由ヲ明確ニ示スコトガムゾカシキ状態トナリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、若槻總理大臣ノ出席ヲ求めテ説明ヲ聽クコトト相成リマシタ、然ルニ首相ノ御出席ノ御都合ガナカク、出來マセヌノデ、第三日、第四日ニ豫定イタシマシタル委員會モ首相ノ御出席ガ出來ナイ爲ニ沈會ト致シマシテ、漸ク昨二十四日ニ至リ首相ノ御出席ガアリマシタノデアリマス、即チ第三回委員會ヲ開催イタシタノデアリマス、第三回委員會ニ於キマシテ一委員ヨリ首相ニ對シ、先ヅ以テ議院法第四十條ニ對シ、現行制度ノ精神、立法ノ理由ニ付キ質問ヲサレタノデアリマス、首相ノ御答辯ハ次ノ如クデアリマス、現行法ニ於ケル衆議院ニ豫算ノ審査期限ヲ定メテアルノハ、豫算ガ先キニ衆議院ニ出サル、ノデアアルカラ、先ニ議スル所ニ幾ラカノ期限ヲ定メテ置カスト、後カラ議セラレル方ガ大變不便ヲ感ゼラル、ダラウカラ、ソレヲ慮ツテ左様ニ出來テ居ルノデアラウト云フコトデアリマシタ、次デ同一委員ヨリシテ、從來ノ貴族院ノ豫算審査期間ガ不當

ニ長カツタト云フ如キコトヲ認メラレタカ、又ハ將來左様ナルコトガ起ルカモ知レスト云フ爲ニ貴族院ノ審査期間ヲ制限スルノカト云フ間ニ對シマシテ、總理大臣ハ大要左ノ如ク答ヘラレタノデアリマス、最近ニ於テ、率直ニ申上グレバ、豫算ノ審査ヲナサル、期間ハ、衆議院ヨリモ貴族院ハ長イト云フコトハ、是ハ事實デアリマス、即チ本會議議デ質問ガアツタ後、審査期限ヲ定メテ二十一日トナサレ、衆議院ハ二日カ三日デ質問ヲ打切ツテ豫算總會ニ移ツテ居ルノガ例デアアル、貴族院ノヤウナヤリ方デハ、衆議院ノ二十一日間ノ期限デハ審議ガ間ニ合ハナイ、衆議院デサウ云フ風ニ行クノナラバ、貴族院ニ於テモ其事ヲ實行サレテ出來ヌコトハナイダラウ、兩院ノ間ニ貴族院ハ優越ナ地位ヲ有ツテ居ラル、衆議院ハ非常ニ法規ニ依ツテ拘束セラル、抑ヘラレタ地位ニ居ルト云フヤウナ感ジガ始終殘ツテ居ルヤウデハ、兩院ノ議事ヲ圓滿ニ進メラレルト云フ意味ニ於テ、面白クハナイコトデハナカラウカ、衆議院デ出來ルコトハ、貴族院デ其通りナサレテ宜シクナイカ、其所ハ全ク兩院ノ間ニ於テ同一ニナツテ居タ方ガ、大變感情上宜シクハナイダラウカ、兩院ノ間ニ一院ガ他院ヨリ優位ナル地位ニ居ラル、ト云フ如キ感情ヲ、何時迄モ殘シテ置クト云フコトハ面白クナイ云々、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、其他二三ノ質問ガアリマシタガソレ等ハ省略イタスコトニ致シマシテ、次ニ討議ニ於ケル論旨ノ二三ヲ申上ゲマス、討論ニ移リマシテ、一委員ヨリ次ノヤウニ論ゼラレマシタ、此案ハ昨年ノ第五十議會ニ提案ニナリ、之ニ對シ貴族院ハ但書ヲ附シ同意シタノデアル、併シ是ハ其當時ノ政情ガ餘程關係ヲ致シテ居ルコトト思フ、其當時ニ於テモ自分ハ審議期限ヲ設ケル

コト自體ヲ決シテ適當トハ考ヘナイ、今回此案ガ政府ノ提案トシテ出テ參リマシタ、政府案ノ理由ヲ伺ヒマシテモ、適確ナル理由ノ發見ニ苦シムノデアリマス、兩院ノ權衡論トカ、兩院ノ感情論デアルトカ云フヤウナコトハ總理カラ色々御説明ガアリマシタガ、私ハ其感情ハ全ク誤ツタル感情デアリ、其誤ツタル見方ニ基キ、貴族院ニ於ケル豫算ノ重大ナル審議權ヲ制限スルト云フコトハ、憲法ノ趣旨ニ反スルモノデアル、貴族院ハ憲法ノ與ヘラレタル權限ニ基キ、其期間ノ許ス限リ、慎重ニ審議ヲスルノガ至當ト思フ、殊ニ會期切迫スルニ付キマシテ、豫算案竝ニ之ニ關スル法律案其他重要ナル法律案ガ、一時ニ貴族院ニ參ル、此際ニ若シ豫算案ノ審議ニ期限ヲ附セラル、タメ、十分ナ審議ガ出來ナイトスルナラバ、貴族院トシテ決シテ其職責ヲ盡シタモノトハ認メラレナイ、貴族院ハ其期限内ニ十分慎重ニ審議ヲスルト云フコトガ、貴族院ノ職責ナリト思フ、衆議院ニ審査期限ヲ設ケラルルハ、既ニ總理大臣モ御承認ニナツタ如ク、豫算先議權ノ關係デアル、從テ貴族院ニ此理由ヲ當テ嵌メルコトハ、全ク根據ガナイノデアアルカラ、此案ハ全會一致否決セラレ、斯ノ如キ案ヲ衆議院ノ方カラ提案スルトカ、或ハ政府カラ提案スルト云フコトハ、全ク憲法ノ精神ヲ誤解シタモノデ、誤ツタル感情ニ立脚シタモノデアルト云フコトヲ天下ニ發表シ、再ビ斯ノ如キ議案ガ貴族院ノ門ニ這入ルコトヲ防グコトガ適當デナイカト思フ、此意味ニ於テ本案ハ否決アリタイト云フコトデゴザイマシタ、其他一二ノ委員ヨリ、先議權ナルモノガ優位ナルコトヲ、大正十五年度追加豫算ノ例ニ於テ御述べニナリマシテ、此否決論ニ贊成ヲセラレ、又一委員ヨリ、貴族院ニ於ケル豫算審議ノ

實況ニ照シテ、本改正案ハ實施ハ出來ナイモノデアルト云フコトヲ附加セラレマシテ、否決ノ意見ヲ述べラレタノデアリマス、即チ採決ニ當リマシテハ、一人ノ反對者モナク、全會一致ヲ以テ本改正案ハ否決スベキモノト議決セラレタノデアリマス、
小野塚喜平次君ハ左ノ質疑ヲ爲シ一條委員長之ニ應答ス

此同一議案、昨年出タ議案、其同じ議案ニ對シテ本院ノ態度ガ變ルト云フ理由ハ、唯今委員長ノ御報告ノ中ニハ、私ハ十分ニ了解イタシマセシタガ、昨年ハ修正シ、今年ハ特別委員會ニ於テ一人ノ反對者ガナク否決サル、ト云フ、其理由ト云フモノヲ伺ヒタイノデアリマス、時間ガアルナラバモット自分ノ意見モ申述べタイノデアリマスガ、會期切迫ノ際デアリマスカラ、ソレハ遠慮イタシタイト思フノデアリマス、私ハ政府ノ此案ニ對スル説明及態度ト云フモノニ敢テ感心シテ居ル者デアリマセヌ、又否決論者ノ仰シヤルコトヲ皆尤モデナイト思ツテ居ル者デモアリマセヌ、併ナガラ此重要ナル法案ニ對シテ特別委員會ガ、先程承ツタ所ニ依レバ、一人ノ反對者ナク否決セラレタト云フ其態度ニ付テハ、私ハ甚ダ遺憾ニ感ズル者デアリマス、其遺憾ノ念ヲ幾分ナリトモ少クスル爲ニ、又國民一般ノ貴族院ニ對スル疑惑ト云フモノヲ無イヤウニスル爲ニ、今一應甚ダ御迷惑デアリマセウガ、何故昨年ノ態度ト變ツタノデアアルカ、昨年ノ態度ト同ジト云フノデアレバ別ニ御質疑ハ申シマセヌガ、變ツタ理由ト云フモノヲ簡單ニ御説明ヲ煩ハ

第五十二回議會

議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出)議事經過

衆議院

昭和二年一月二十九日 提出

同 年二月十九日 鷲野米太郎君外一名提出議院法中改正法律案ト一括シテ第一讀會ヲ開キ一

括シテ委員付託

同 年同月二十五日 委員會報告書提出

同 年同月二十六日 第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀

會ヲ省略シテ原案可決即日貴族院ニ提出(左記貴族院ニ於ケル經過參看)

同 年三月二十二日 貴族院ヨリ回付

同 年同月二十三日 貴族院ノ修正ニ同意スルニ決シ即日奏上

貴族院

昭和二年二月二十六日 衆議院ヨリ提出

同 年同月二十八日 第一讀會ヲ開キ委員付託

同 年三月二十二日 委員會報告書提出

同 年同月同日 第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二第三讀會ヲ開キ委

員會報告通修正議決即日衆議院ニ回付

議院法中改正法律案(鷲野米太郎君外一名提出)議事經過

衆議院

昭和二年一月二十八日 提出

同 年二月十九日 小川平吉君外二十六名提出議院法中改正法律案ト一括シテ第一讀會ヲ開キ

一括シテ委員ニ付託シタルモ委員會ノ報告ヲ經ルニ至ラス

第五十二回議會

議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出)

議院法中左ノ通改正ス

第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終
リ議院ニ報告スヘシ

理由

貴族院ニ於テモ亦衆議院ニ於ケルト同シク豫算委員ノ審査期間ヲ定ムル爲メ議院法中改正ノ必要アリ是レ本
案ヲ提出スル所以ナリ

右議案ハ昭和二年一月二十九日提出二月十九日鷲野米太郎君外一名提出議院法中改正法律案ト一括シテ第
一讀會ヲ開キ山口義二君ハ左ノ趣旨辨明ヲ爲ス委員付議

議院法中改正法律案提出ノ理由ヲ、極ク簡單ニ説明ヲ致シマス、是ハ貴族院ノ豫算審査期間ニ、衆議院ト

同様ニ二十一日ノ制限ヲ附ケヨト云フノデアリマス、此案ハ第五十議會、五十一議會、即チ昨年ト一昨年

ト二回来議院ニ於テ、大多數ヲ以テ通過致シテ居ル、院議既ニ決定致シテ居ル所ノ問題デゴザイマスル

シ、昨年ハ此處デ私ガ詳シク提案ノ理由ヲ説明致シマシタカラ、此度ハ一切之ヲ再ビ繰返スコトヲ省略致

シテ置キマス、唯、茲ニ私共ガ切ニ貴族院ニ對シマシテ希望致シマスルコトハ、今年ハ三回目デゴザイマ

スルカラシテ、ドウシテモ本案ヲ通過サセテ貰ヒタイト云フコトデアリマス、三度モ衆議院ニ於テ決定致

シマシタル事柄ニ對シテ、貴族院ノ方ガ拒否スルト云フヤウナコトニ相成リマシタナラバ、國民代表ノ衆

議院ガ、國政ニ對シテ如何ナル程度マデ機能ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、國民ノ間ニ疑ヲ生ズルヤウナ

コトニ相成ツテ來ルノデゴザイマシテ、是ハ全クサウ云フヤウナコトニナリマスルト云フト、國民モ默ツ

テ居ルベキ筈ノモノデナイ、必ズヤ貴族院ハ國民ノ怨府トナルト云フコトヲ、私ハ虞ル、ノデアリマス然

ルニ此案ニ對スル所ノ貴族院ノ態度ヲ見マスルト云フト、第五十議會ニ於キマシテハ、稍、公平ナル態度

ヲ以テ居ラレタ、即チ此二十一日ト云フ原則ヲ兩方デ認メル、衆議院モ二十一日ニスル、貴族院ノ方モ二

十一日ニスル、唯、實際上ニ當ツテ必要ナル時ニハ、貴族院ノ方デハ議決ヲシテ、一週間ノ範圍内ニ於テ延

長スルコトヲ得ト云フ、此條件附デ以テ、此案ニ賛成サレタノデアリマス、サウシテ是ガ兩院協議會ニ相

成リマシテ、衆議院ノ側ニ於キマシテハ、今迄二十一日デヤツテ來タノデアルカラシテ、先ヅ當分ハ二十

一日デ宜カラウ、サウシテ二十一日デ衆議院ガヤリ切レルモノナラバ、貴族院ニ於テモ二十一日デヤリ切

レナイト云フ答ハナイカラシテ、他迄二十一日デヤラウト云フ、衆議院ノ主張デゴザイマシテ、此兩院ノ主張ガ一致シナクテ、兩院協議會ガ不成立ニナツタ、併ナガラ兎ニ角兩方共二十一日ノ期間ニシヤウト云フ此原則、平等ノ精神ハ、貴族院ノ方デハ一昨年ハ認メラレタノデアアル、所ガ昨年ニナリマス云フト、之ヲ無條件ニ頭カラ拒絕サレテ、否定サレテ居ルト云フ、斯ウ云フヤウナ關係ニ相成ツテ居リマスカラシテ、本案ニ對スル貴族院ノ態度ト云フモノハ、段々ト強硬頑固ニナツテ居ル傾ガアル、凡ソ世ノ中ノコトハ、改革スベキ時ニ改革ヲシナイデ、破裂點ニ至リマスルマデ、抵抗抑壓ヲ加ヘテ居ルト云フト、到頭終ニハ爆發スルト云フコトハ、是ハ自然ノ已ムヲ得ナイ事デアリマスデゴザイマスルカラ、貴族院ノ諸君ニ於カセラレテモ、時代ノ趨勢ヲ達觀サレテ、本年ハ是非本案ヲ通過セシメルト云フコトヲヤツテ貫ヒタイ、此事ヲ私ハ國民ニ代ツテ此處カラ希望致シテ置キマス、以上大體提案ノ趣旨ヲ述ベマシテ、諸君ノ御賛成ヲ仰グ次第デゴザイマス

山口政二君ハ質疑ヲ爲シ山口義一君、安達内務大臣臨時代理及松田源治君之ニ應答ス

山口政二君ノ質疑

私ハ日程第四ノ議案ニ付キマシテ、提案者及政府ニ對シテ御尋ヲ致ス者デゴザイマス、先ヅ提出者ニ御尋

ヲ致シマスル第一點ハ、提出者ガ此案ヲ出スニ當リマシテハ、我が衆議院ノ豫算審査期間ガ只今ノ通りデアリシイノデアアルカドウカト云フコトヲ、御尋ニナリタルヤ否ヤト云フコトデゴザイマス、我が衆議院ノ豫算審査期間ガ二十一日以内デアルト云フコトハ、明治三十九年ノ改正デゴザイマス、當時ノ豫算額ハ四億八千餘萬圓デゴザイマシタ、之ヲ今日ノ昭和二年度ノ一般會計ノ豫算十七億三千餘萬圓ニ比較致シマスルト、非常ナル相違ガアルノデゴザイマス、尙ホ豫算ハ申スマデモナク、時ノ政府ノ政策ノ現レデゴザイマスルカラ、唯、數額ガ殖エタト云フダケデハナクテ、内容ガ非常ニ複雑ニナツタト云フコトモ申スマデモナイノデゴザイマス、加之議會ノ職分ハ時代ト共ニ變化ヲ致シマシテ、議會ヲ造リマシタ當時カラ、明治時代ニ於キマシテハ主トシテ制度ノ完備、即チ法律ヲ作ルト云フヤウナコトガ主ニ行ハレタノデゴザイマスケレドモ、今日ニ於キマシテハ議會ノ職分ノ中心ハ、專ラ豫算ノ審議ト云フ所ニナケレバナラヌト考ヘルノデゴザイマス、歴大ナル豫算ガ出ル、其豫算ガ國民ノ生計トドウ云フ關係ガアルカ、豫算面ニ於テ緊縮ノ餘地ガアルカナイカト云フコトヲ十分ニ審議ヲ致ス、是ガ爲ニハ只今ノ三週間デ、即チ明治三十九年ニ定メタル此制度デアリシイカドウカト云フヤウナコトハ、提出者ノ諸君ニ於テ十分ニ御研究ニ相成ツタコト、考ヘルノデゴザイマスガ、其點ハ如何デゴザイマスルカ、第一ニ御尋ヲ致シテ置キマス、第二ハ貴族院ノ豫算審査期間ヲ二十一日以内ニ致スト云フ御案デゴザイマスガ、昨年此境上ニ於テ演說ヲセラレタル只今ノ山口義一君ハ、貴族院ノ豫算審査期間ハ十五日モアレバ十分デアルト云フコトヲ言ハレテ居ツタ

ト私ハ記憶致シマス、二十一日以内トスルト云フ本案ハ、或ハ貴衆兩院平等デアルカラト云フ御立論デア
ルカモ知レスケレドモ、私ハ貴衆兩院ノ權限ハ平等デナイト思フ、將來ハ固ヨリ、例ヘバ貴族院ニ於キマ
シテ豫算ガ不成立ニ相成リマシテモ、貴族院ヲ解散スル譯ニ參リマセヌガ、却テ貴族院ニ於テ豫算不成
立ト相成ツタ其結果、衆議院ヲ解散セラル、ト云フヤウナコトハアリ得ルノデアリマス、併シ是ハ別問題
デアル、又例ヘバ憲法第六十五條ノ豫算先議權デゴザイマス、現在ニ於キマシテ此豫算ノ先議權ハ、丁度
貴族院ニ對シテ衆議院ハ豫算ノ下調ヲシテ居ルヤウナモノデアルト云フコトヲ、昨年山口義一君ハ申シ
テ居ル、私ハ此豫算先議權ナルモノハ唯、豫算ヲ衆議院ニ先ニ出スト云フコトヲ定メタノデハナイト思
フ、即チ憲法第六十五條下、議院法第四十條トテ彼此對照致シテ考ヘテ見マスルナラバ、豫算先議權ナル
モノハ、衆議院ニ於テハ讀ンデ字ノ如ク、優先審議權デナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、而シテ貴
族院ニ於キマシテハ此審議權ナルモノハ、補充的デナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデゴザイマスガ、若シ
此考ガ今日ノ時代ニ相應致シタルモノデアルト諸君ガ御認メニナルナラバ、豫算審査期間ハ衆議院ニ於
テハ宜シク今ヨリモ延長致シテ、貴族院ニ於テハ固ヨリ審査ノ期間ヲ附スル上ニ、更ニ衆議院ヨリモ短イ
期間ヲ附セナケレバナラナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ提出者ハ唯、漫然貴衆兩院
ハ平等デアル、本等ナルガ故ニ同ジ期間ヲ附スルト云フ考デアルカ、ソレトモ貴族院ノ審査期間ハ十五
日位デ宜シイト云フ御考デアルカドウカ、此點ニ付テモ御尋ヲ致シタイノデゴザイマス、第三點ハ只今提

出者ハ昨年十分ニ説明ヲ致シテ居ルカラ今回ハ特ニ説明ノ必要ガナイ、自明デアルト云フコトヲ言ハレ
タヤウデアリマスルガ、昨年ハ政府案モ出テ居ルノデゴザイマス、其政府案ハ貴衆兩院ノ權衡ヲ保ツ爲ト
云フノガ提出ノ理由デゴザイマシタ、議員ノ出サレタル案ノ説明ニ至リマシテハ、漫然タル權衡ノ論デハ
ナイ、此案ハ貴族院改革案デアルト云フコトヲ此壇上ニ於テ聲明サレテ居ルノデゴザイマス、即チ當時ノ
説明者タル山口君ハ斯ウ云フ風ニ言ウテ居ル、「實ニ貴族院改革ニ對スル本當ノ第一歩デアアル、眞ニ第一
歩デゴザイマスルカラ、私ハ此案ハ洵ニ重大ナル政治的意味ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス」ト斯ウ
云フ風ニ言ハレテ居ルノデゴザイマス、ソコデ私ノ御尋ハ、此案ハ唯、兩院ノ權衡ヲ保ツト云フ議案デア
ルカ、ソレトモ貴族院改革ト云フコトヲ主トシテ出サレタ議案デアルカト云フコトデゴザイマス、若シ本年
モ亦昨年ト同ジヤウニ貴族院改革ノ第一歩デアルト言ハレルナラバ、貴族院改革ノ第二歩第三歩ハ何デ
アルカト云フコトヲ御尋致スノデゴザイマス、從來貴族院ノ改革ニ付キマシテ論議ヲ致シタル者ハ、攝政
治下デハ憲法ノ改正ガ出來ナイト云フコトヲ非常ニ痛嘆サレタノデゴザイマスガ、今回ハ英邁果敢ナル
新帝ノ治下デゴザイマスカラ、若モ眞ニ貴族院改革ヲ致サウト云フナラバ漫然タル議案デナク、モウ少
シ徹底シタル御説明ヲ承ラナケレバ國民ハ之ヲ承知致サヌト考ヘルノデアリマス、果シテ提出者ハ本案
ニ關聯致シマシテ、貴族院改革ニ關スル如何ナル御意見ヲ持ツテ居ラレルヤト云フコトヲ、先ヅ提出者
ニ御尋ヲ致スノデゴザイマス、次ニハ政府ニ對シテ御尋ヲ致スノデゴザイマスルガ、政府ハ第五十議會ニ

於キマシテ、本案ヲ出シタルコトハ山口君モ申サレタル通りデアリマス、第五十一議會ニ於キマシテモ亦同様ニ本案ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、而シテ今回政府ハ前ト同ジヤウニ此議案ヲ出サナイト云オホトハ、ドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ私ハ御尋ラシタイ、第五十一議會ニ於キマシテハ政友會ノ議員黒住君カラ斯ウ云フ質問ヲサレタ、議員提出ノ法律案ガ一月二十二日ニ出テ、政府ガ二月十日ニ同ジ内容ノ議案ヲ出スト云フコトハ、議院ノ機能ヲ輕ンジ、議事ノ妨害トナリハセヌカト云フ御尋ガアツタノデゴザイマス、之ニ對シテ若總首相ハ斯ウ答ヘテ居ル、加藤内閣以來吾々ハ此議院法中ノ改正ヲ爲スコトヲ必要ナリト認メテ、既ニ國民ノ前ニ之ヲ明ニシテ居ツタノデアリマスカテ、此意思ヲ繼續スル爲ニ茲ニ法律案ヲ提出シタル次第デアリマス、ト答ヘテ居ルノデゴザイマス、ヨモヤ今回ハ加藤内閣ノ意思ヲ繼續セズト云フ意味デハゴザイマス、如何ナル譯デ政府ハ第五十議會、五十一議會、五十一議會同様、本案ト同ジモノヲ提出シナカッタノデアルカ、或ハ貴族院改革案ト混同セラレルト云フコトヲ御憂ヘニナツタ爲デアルカ、或ハ又貴族院ノ反對ヲ豫想セラレタ爲デアルカ、其點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、先程山口君モ貴族院ニ對シテ希望ヲ述ベラレタヤウデスガ、貴族院ハ此案ニ對シテハ一昨年モ否決シ、昨年ハ審査未了トナツタ、既ニ二回ニ涉ツテ反對ノ意思ヲ表明シテ居ルカラ、今度二度目ニ此案ガ貴族院ニ現ハレテモ、反對ノ理由ヲ變更スベキ必要ハナイト云フヤウナコトガ新聞紙ニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、本案ハ普ク國民ノ支持スル所ノ議案デアルト考ヘマスルノデ、政府デ貴族院ノ反對ヲ恐レタトハ私共ハ考ヘマ

セヌガ、國民ノ前ニ對シテ態度ヲ二回トモ明ニサレタ以上ハ、今回又政府ニ於テモ何故ニ之ヲ提案シナカッタカト云フコトニ付テ、其辯明ヲ私ガ求メルト云フコトハ當然デアルト考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテ兩者ノ御辯明ヲ望ム次第デアリマス

山口義一君ノ應答

只今ノ山口政二君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一ハ衆議院ノ豫算審査期間ヲ二十一日ヨリ以上ニ延長スル必要ハナイカ、其意思ガナイカト云フヤウナ御質問デゴザイマシタガ、是ハ只今山口政二君ノ御意見ノ通りニ、段々ト豫算ノ金額モ多クナツテ參リマスルシ、審議スベキ事項ガ年々殖エテ參リマスノデゴザイマスカラシテ、二十一日ヨリモ長イ方が吾々モ希望致スノデゴザイマスルガ、併シ此豫算審査期間ヲ衆議院ニ於テ延長スルト云フコトニナリマスルト、一般ノ會期ノ延長ト云フ問題ニモ關聯ヲ致シテ參ル、ソレデアリマスルカラ、豫算審査期間ノ延長ト云フ精神ニハ賛成ヲ致シマスルガ、是ハ一般會期ノ延長ト云フ問題ト併セテ考ヘテ居リマスルカラシテ、本年ハ昨年モ一昨年モ既ニ院議ガ決定致シタノデゴザイマスルカラシテ、先ヅ其通り二十一日ト斯ウ云フ積リデ此案ヲ出シタノデアリマス、ソレカラ第二ノ貴族院ニ於テハ二十一日ノ必要ガナイ、モウ少シ短クテモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見デゴザイマシタガ、ソレハ私ハ昨年モ申上ゲテ居ルノデゴザイマシテ、衆議院ニ於テ二十一日慎重ニ

審議ヲ致シテ居リマス。ト云フト、ソレニ對スル質問應答ハ悉ク官報ノ速記録ニ載リマスカラシテ、ソレヲ御覽ニナツテ居リマス。ナラバ、貴族院ノ諸君モ豫メ大體今年ノ豫算ハドウ云フモノデアラカト云フコトハ御分リニナツテ居ル筈デゴザイマスカラシテ、衆議院ガ二十一日デ審議シ切レルモノナラバ、貴族院ハ二十一日要ラナイ。二週間デモ宜イ、斯ウ云フヤウナ事ヲ申上ゲテ置キマシタカラシテ、二十一日以内デ宜シイ。二週間デモ宜シイノデゴザイマス。ケレドモ、二十一日ニ制限シキウト云フ此案デサヘモ、貴族院ハ反對シキウト云フノデゴザイマスカラシテ、先ヅ是位ノ程度デ吾々ハ此希望ヲ達シタイ、サウシテ此點モ昨年モ一昨年モ院議ガ既ニ決定致シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、其意味ニ於テ本案ヲ提出致シタガアリマス。第三ノ本案ヲ提出シタル精神ハドウ云フ點デアルカ、斯ウ云フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、是ハ貴族院改革ノ一部トシテ出シタノデゴザイマシテ、單ニ此豫算審査期間ヲ兩院ニ於テ事務的ニ平等ニスルト云フノミニ限ラナイ、貴族院改革ノ一部トシテ出シタノデアリマス。今日國民ノ要求致シテ居ル所ハ、單ニ議院法ノ改正トカ、或ハ貴族院令ノ改正トカ、勅令ノ改正ト云フヤウナ點ノミニ止マツテ居ルノデハナイ、今日國民ノ眞ニ要求致シテ居リマス所ハ、憲法ヲ改正シテ貴族院ノ徹底的ノ改革ヲスルト云フ事ニ在リ。私ハ考ヘル(拍手)サウ致シマセンケレバ普通選舉ニナツテ有權者ガ殖エテモ、本當ニ國民ノ意見ト云フモノハ國政ノ上ニ伸スコトハ出來ナイ、貴族院ガ今ノヤウニ大キナ權力ヲ持ツテ居ツテ、サウシテ衆議院ノヤツタ事ニ對シテ阻止スルト云フヤウナ事ニナリマス。ト云フト、國民ノ國政

ニ參與スル權能ト云フモノハ洵ニ乏シイノデゴザイマスカラシテ、本當ニ輿論本位ノ政治、國民代表政治、國民本位ノ政治ヲ徹底的ニヤラント欲スルナラバ、貴族院ノ改革ヲ徹底的ニヤラナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ル、併ナガラ此憲法ノ改正ニ致シマシテモ、貴族院令ノ改正ニ致シマシテモ、又互選規則ノ改正ニ致シマシテモ、是ハ衆議院ノ方ニハ發案權ガナイ、衆議院ノ權能ニ屬シマス。コトハ此議院法中ノ改正法律案唯一ツアルノミデゴザイマスカラシテ、吾々ハ唯出來ルダケノ範圍内ニ於キマシテ善イ事ヲシヤウト、斯ウ云フ意味ニ於テ、此貴族院改革案ヲ提出シタト云フコトヲ、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス。

安達内務大臣臨時代理ノ應答

只今山口君ハ此豫算ノ審査期間ニ關シテ、政府ガ如何ナル態度ヲ執ツテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、御尋ノ通り此問題ニ付キマシテハ、二回程提案シテ居リマス、其第一回ハ衆議院ト貴族院ト意見ガ合致セズシテ不成立ニ終ツテ居リマス、第二回目ハ衆議院ハ通過致シマシタケレドモ、貴族院ニ於テ否決ニカツテ居リマス、政府ト致シマシテハ此御提案ノ趣旨ニハ賛成デゴザイマス。ケレドモガ、此事態ニ顧ミマシテ今日尙ホ考慮ヲ要シマス、ソレデ此度ハ提案セズ、又直ニ此案ニ賛同ハ致シ兼ルノデアリマス、又貴族院ノ最近ノ狀勢ヲ見マス、衆議院ニ於ケル此意見ノアル所ヲ察知セラレマシテ、實際ニ於キマシテハ矢張衆議院ノ希望通りニ、今後ノ審査期間ハシテ行クト云フヤウナ傾ニ、私ハ見聞キ致シタ次第デゴザイ

答ス、御答ヲ致シテ置キマス、（以下略）

山口政二君ノ再質疑

只今ノ提出者タル山口君ノ御答ニ付キマシテハ大體満足ヲ致シマシタガ、殊ニ最後ノ御答デアリマスル貴族院ノ改革ハ徹底的ニヤルト云フ御答ハ、私ハ恐ラク同君ノ屬スル政友會ノ大體ノ御意嚮ナリト傾聽ヲ致シマシタ夫第ゴザイマスガ、要ハ是ガ實行デアルト考ヘルノデ、若モ政友會内閣ガ出現致シマシタ場合ニハ、宜シク之ヲ實現致シテ職キタイト熱望致シマス、尙ホ此機會ニ於キマシテ私ハ政府並ニ他ノ提出者ノ一人タル、政友本黨ノ松田源治君ノ御意見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、幸ヒ今日ハ憲政會ノ筆頭總務タル安達内務大臣代理モ御出デゴザイマスカラ、政府ハ此議案ヲ以テ貴族院改革ノ一ツノ案ト御考ニナラテ居ルカドウカト云フコトヲ、先ヅ御尋ラスルノデアリマス、第五十一議會ニ於キマシテハ若槻首相ハ「此案ヲ出シタノハ固ヨリ豫算ノ審査期限ノミニ關係スルモノデゴザイマシテ、敢テ貴族院ノ權限ニ關スルモノデハゴザイマセヌ」ト云フコトヲ特ニ辯明ヲ致シタノデゴザイマス、併ナガラ現在貴族院ハ無制限ニ豫算ヲ審査スル權限ヲ持ツテ居ル、此權限ニ對シテ制限ヲ附スルノデアリマスカラ、私共ハ當時是ハ立派ナル貴族院ノ權限ニ關スル議案ナリト考ヘタノデアリマスガ、憲政會ノ筆頭總務デ居ラセラレル安達内務大臣代理ハ、之ヲ如何ニ御考ニナツテ居ラレルノデアリマスカ、第二ハ貴族院ノ

改革ニ對シマスル現政府ノ一般の態度ニ對シテ御尋ラ致シタイノデゴザイマス、貴族院ノ改革ハ第五十議會以來ノ國論デゴザイマシテ、今更政府ノ態度ヲ御尋スルト云フコトハ無用ノヤウデゴザイマスガ、唯、私ハ此際同ジク第五十一議會ニ於ケル若槻首相ノ御聲明ヲ回想致シマシテ、其後ノ政府對貴族院ノ關係ニ付キマシテ、聊カ感ナキヲ得ナイ者デアリマスカラ、念ノ爲ニ政府ノ貴族院ニ對スル一般の態度ヲ御尋致スノデゴザイマス、此點ニ付キマシテ若槻首相ハ第五十一議會ニ於キマシテ、斯ウ云フ御聲明ヲ致シテ居ラレルノデゴザイマス、貴族院ノ改善ニ關シマシテハ加藤内閣ニ於テ、構成ニ關シ總テ調査ヲ致シテ、之ヲ貴族院改善案トシテ提出ヲ致シタノデアリマス、其他ノ部分ハ行ハレテ、議院法中ノ改正ノミガ行ハレズシテ殘ツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ本日議題トナリマシタル議院法中ノ改正ガ成立致シマスレバ、私ハ是デ貴族院ノ改善ハ先ヅ一段落デアルト思ヒマス、此際別ニ是レ以上ノ改正案ヲ提出スル意思ハ只今ハ持ツテ居リマセヌ」ト云フコトヲ議員黒住君ノ御質疑ニ對シテ御答ニナツテ居リマス、其後一年ノ間ニ政局ガ轉々變轉致シテ居ルノデゴザイマスガ、只今政府ハ貴族院ノ構成ニ關シテハ、今日モ尙ホ昨年ト同様、是レ以上改善ニ關スル提案ヲ爲ス必要ヲ認メナイト云フノデゴザイマスカ、ソレトモ政府ハ貴族院令或ハ互選規則等ノ改正ヲ致シテ、貴族院ノ構成ニ對シテ、殊ニ重大ナル改正ヲ致ス必要ヲ御認メニナツテ居ルノデアアルカドウカ、若シ必要ヲ認メルナラバ、政府ノ手デ出來ル限リノ事ニ付テハ之ヲ行フ所ノ御考ガ御有リデアアルカドウカト云フコトデアリマス、尙又政府ハ更ニ進ミマシテ、帝國憲法改正ト云フヤウ

手重大ナル事ニマデモ思フ及ボシテ、貴族院ノ權限ニ對シテモ、尙ホ重大ナル改革ヲ爲スト云フヤウナ考
 ガアルカドウカ、若クハ其必要ヲ御認メニナルカドウカト云フコトデゴザイマス、若モ其必要ヲ御認メニ
 ナルト云フノデアリマスルナラバ、之ニ對スル準備的ノ手段ヲ速ニ御取リニナルカドウカト云フコトヲ
 御尋ラ致スノデゴザイマス、次ニ政友本黨ノ松田君ニ對スル御尋ラゴザイマスガ、松田君ハ提出者ノ一人
 デゴザイマス、同君ハ山口君ト同様、本案ヲ以テ貴族院ノ改革案ナリト云フ御考ヲ以テ御出シニナツタト
 ハ存ジマスルガ、此點ニ對シテ御尋ラ致スノデアリマス、政友本黨ノ立場ニ付キマシテ、私共ハ護憲三派
 當時ノ關係カラ、貴族院ノ改革ニ對スル御態度ニ付テ未ダ御伺ラ致シタコトハナイノデゴザイマス、隨ヒ
 マシテ一歩進ンデ貴族院ノ改革ニ關スル松田君ノ御考——若シ黨ノ態度ガ定マツテ居レバ其御考、ソレ
 ガ無ケレバ松田君個人ノ御考デモ結構デアリマスカラ、如何ナル御考ヲ 貴族院ノ改革ニ對シテ御持チ
 ニナツテ居ルカト云フコトヲ御尋ラ致スノデアリマス、松田君ハ幸ニ本黨ノ筆頭總務デ居ラレル方デア
 リマスカラ、若モ近ク床次内閣ガ成立致シマスレバ、松田君ハ同内閣ノ重要政綱ト致シテ、貴族院改革問
 題ヲ提ゲテ立ツカドウカト云フコトヲ御尋ラ致シタイノデアリマス——少クトモ近キ將來ニ於テ貴族院
 改革問題ハ、我が政治ノ中心問題ト相成ルト私ハ考ヘルハ、左様ナル意味ニ於キマシテ決シテ一ノ假定的ノ
 質問デアリマセヌ、松田君ハ我が懐ク政見ノ實現スル機會ガ何時到來シテモ、必ズ之ニ對シテ常ニ準
 備ラシテ居ラレル御方デアルト私ハ考ヘマスルガ故ニ、此私ノ質問ニ對シテハ相成ベクハ明確ナル御答辯

ヲ願ヒタイノデゴザイマス、私ハ政友會ノ意見及政府ノ意見並ニ政友本黨ノ筆頭總務タル松田君ノ意見ヲ
 御伺ラ致シマシテ、而シテ貴族院改革ニ對スル議會及政府ノ考ガ何デアルカ、國論トシテ一旦決ツタモノ
 ニ、斯ノ如キコトヲ御尋ラスルコトハ無用デアルヤウデアリマスケレドモ、此御尋ハ貴族院改革ヲ促進ス
 ル所ノ一ツノ重要ナル手段ナリト考ヘマスルガ故ニ、何卒慎重ナル御辯明アランコトヲ御願スル次第デ
 アリマス

安達内務大臣臨時代理ノ應答

政府ハ憲法改正ナド、云フヤウナ重大ナコトハ、全然必要ヲ認メテ居リマセヌ、又貴族院改善ノコトニ付
 キマシテハ、昨年若槻首相ガ聲明セラレタト少シモ今日ノ狀態ハ變ツテ居リマセヌカラ、昨年モ今日モ同
 様デゴザイマス

松田源治君ノ應答

私ハ本案ヲ以テ貴族院ノ改革トハ認メテ居リマセヌ、斯ル事デ貴族院ノ改革ガ出來ルモノデアリマセ
 ス、是ハ豫算審査ノ期間ニ付テ事務上ノ改善ニ過ぎナイノデアリマス、故ニ提案ノ趣旨ニ於キマシテモ、
 貴族院ノ改革ナリトハ申シテ居リマセヌ、唯、「貴族院ニ於テモ亦衆議院ニ於ケルト同ジク豫算委員ノ審

査期間ヲ定ムル爲議院法中改正ノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリト書イテアリマス、而シテ吾々ハ今日貴族院ノ改革ノ必要ハ認メテ居リマス、併シ此場合私ガ斯ル意見ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ發表スル必要ハアリマセヌ、又貴族院ノ改革ノ決定ナルモノハ、何レ憲法ノ改正ヲ俟タナケレバナラスノデアリマス、憲法ノ改正ハ勅命ヲ以テ議案ヲ提出スルノデアリマス、吾々ノ權限ノ及ブ所デアリマセヌ、故ニ私ハ今日山口君ニ唯、本案ハ貴族院ノ改革デハナイ、議院法ニ於テ權衡ヲ取ル爲ニ、事務ノ改善ノ一ツトシテ贊成シテ居ルト云フコトヲ明言致シマス

次ヲ勸議ニ依リ鷺野米太郎君外一名提出議院法中改正法律案ト一括シテ左ノ十八名ノ委員ニ付託スルニ決ス

横山金太郎君 (理事) 村上紋四郎君 (理事) 高木益太郎君 (理事) 村田上紋四郎君 (理事) 戸澤民十郎君 (理事) 西脇晉君 (理事) 江藤榮吉君 (理事) 田清作君 (委員長) 黒住成勲君 (理事) 青木精一君 (理事) 山口義一君 (理事) 今井健彦君 (理事) 松岡俊三君 (理事) 杉浦宜實君 (理事) 原惣兵衛君 (理事) 山谷徳治郎君 (理事) 志波安一郎君 (理事) 藤田三郎君 (理事) 林田龜太郎君 (理事)

委員會ニ於ケル經過

二月二十二日

黒住委員長

ソレデハ議院法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、本會へ審議付託ニナツテ居リマスノハ二案アリマス、鷺野君外一名提出ニ掛ル議院法中改正法律案及小川平吉君外二十六名提出ニ掛ル議院法中改正法律案、此兩案デアリマス

青木委員

議事ノ進行上ニ付テ一ツノ勸議ヲ提出シマス、只今委員長ノ宣告セラレタル通り、本委員會ニ付託セラレタル議案ハ鷺野君外一名提出ノ繼續委員設置ニ關スル改正案ト、小川平吉君外二十六名ノ貴族院ニ於ケル豫算査査期間規定ニ關スル改正案トデアリマスガ、此小川平吉君外二十六名ノ議院法中改正法律案ハ、本来議院ニ於キマシテハ有力ナル沿革ヲ持ツテ居ルノデゴザイマシテ、過去二度ノ議會ニ於テハ政府ノ提案トシテ提出セラレ、一回ハ貴衆兩院ノ兩院協議會マデ開イタ案其儘ノ案件デアルノデアリマス、而シ

今同ノ提案モ各派一致ノ提案デアリマシテ、殆ド衆議院トシテハ院議ハ決ツテ居ル案デゴザイマスカラシテ、審査ノ順序ヲ此小川平吉君外二十六名提出ノ議院法改正案ヲ、先ニ審査ニ付託セラレンコトヲ私ハ動議トシテ提出致シマス

黒住委員長

青木君ノ動議ハ滿場御賛成ノヤウデアリマスカラ、左様決シマス

山谷委員

私ハ此際政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、此改正法律案ハ昨年ノ第五十一議會ニ政府カラシテ御提出ニナリマシタノデアリマスガ、本議會ニハ未ダ政府カラ御提出ニナリマセヌガ、政府ハ此議會ニハ提出スル意思ガナイノデアリマスルカ、又ソレトモ後ニ御提出ニナル御意思デアリマスカ、若シ其意思ガナイト致シマスレバ、其理由ハ如何デアリマスカ、拜聽致シタイト思ヒマス

山川政府委員

此貴族院ノ豫算審査期間ヲ定メルト云フ提案デアリマスルガ、之ニ付キマシテハ御承知ノ通りニ前二回ニ於キマシテ政府カラモ同様ノ案ヲ提出致シタノデアリマス、政府ノ提出致シマシタ理由ハ、二三日前ノ本議場ニ於テ内務大臣ヨリ御説明ニナリマシタ通りノ理由デ、未ダ政府ト致シマシテ今回ハ提出ヲスル考ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレデ政府ガ前ニ提案致シマシタ理由趣意ハ、豫算ノ審査期間ニ付キマシテ貴族

院ト衆議院トノ間ニ今日ハ規定ガ違ツテ居ルノデアアル、衆議院ニ於テハ二十一日間内ニ豫算委員デ審査シロト云フコトニナツテ居リマス、貴族院ノ方ニ於テハ何等規定ガ無イ、是ハ兩院間ノ權衡ヲ失ラモノデアル、之ヲ正シタイ、ソレデ貴族院ニ於テモ衆議院ト同様ニ、豫算案ヲ受取ツテカラ二十一日間ニ貴族院ノ豫算委員ニ於テ審査ヲ行フヤウニシタイ、斯ウ云フ趣意デ提案ヲ致シタノデアリマス、ソレデ是ハ昨年モ其前モ申上ゲタ通りニ、豫算ノ審査期間ニ關スル改正ヲシヤウト云フノデアリマシテ、議會若クハ議院ノ權限ヲドウスルト云フ問題トハ政府ハ考ヘテ居リマセヌ、サウ云フ趣意デ提案致シタノデアリマス、無論今同御提案ニナリマシタ此御提案ノ方ヲ拜見致シマスレバ、此前政府ガ提案シマシタト同様ナ案デアリマス、ソレデ趣意ト致シマシテハ、無論政府ニ於テモ同意致シテ居ル次第デアリマス、唯、併シ政府ガ此前二回提案致シマシタ結果ヲ考ヘテ見マスレバ、初ノ時ニハ先日ノ本議場ニ於テ提案者カラ御説明モアリマシタ通り、二十一日ト云フ原則ハ貴族院ニ於テモ認メル、唯、之ニ對シテ特殊ノ場合ニ尙ホ期間ヲ延長シ得ルト云フコトヲ設ケタイト云フコトニ付テ、貴族院ト衆議院トノ間ノ兩院協議會ニ於テモ、遂ニ其議ガ纏マラズシテ成立シナカツタノデアリマス、ソレカラ昨年ノ政府ノ提案ニ付テハ貴族院ノ方デハ之ニ不同意ト云フコトデ否決ヲ致シマシタ、ソレデ斯ウ云フ事態ニ鑑ミマシテ、又前ニ申上ゲマシタヤウナ提案ノ理由カラ致シマシテ、更ニ今回之ヲ提案致スト云フコトニ付テハ、尙ホ考慮スベキ點ガアルト政府ハ認メテ居ルノデアリマス、ソレデ今日ノ場合政府ニ於テハ之ヲ提案シナイト云フコトニ決定致シタノデ

アリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ、今日ハ、聯合會ニ於テハ、之モ議案ニヤトイフモ、今日ハ、之モ議案ニヤトイフモ、
 山谷委員 由、之、今日ハ、聯合會ニ於テハ、之モ議案ニヤトイフモ、今日ハ、之モ議案ニヤトイフモ、
 只今ノ御答辯デ私ノ質問シマシタ二點中、政府ニ於テ此議會ニ於テハ、御提出ノ意思ハナイト云フコトハ
 諒解致シマシタ、其理由ニ付キマシテハ極メテ簡單ニ御説明ニナリマシタガ、前二回ノ議會ノ經過ニ鑑ミ
 テ考慮スル所ガアル、斯ウ云フ御言葉ノヤウデアリマスガ、モウ少シ隔靴搔痒ノ感ヲ免レヤセヌガ、前二
 回ノ議會ニ於ケル案ノ運命ヲ御考ニナリマシテ、此議會ニ御提出ニナルコトハ甚ダ不利益デアル、即チ案
 ノ運命ガ略々分ツテ居ルカラ成立ノ見込ガナイカラ、御提出ニナラヌト云フコトニ諒解致シテ宜シイノ
 デアリマスカ、モウ少シ其理由ニ付キマシテ具體的ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、

山川政府委員

政府ノ提出シナイ理由ハ只今申上ゲタ通りノコトデアリマス、此案ヲ提出シマシタノハ、兩院ノ不權衡ヲ
 訂正致シタイト云フノガ主要目的デアリマシテ、ソレデ提案致シマシタガ、二回共ニ是ハ遂ニ成立ヲ見
 ルニ至ラナカッタ、ソレデ今日更ニ之ヲ提案スルニ付テハモウ少シ他ノ種々ナ關係カラ致シマシテ、考慮
 ラ要スルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデサウ云フ關係カラ致シマシテ今直ニ三度此案ヲ提出致
 スト云フコトガ其時機デナイ、斯ウ云フ風ニ政府ハ認メテ今回ハ提案ヲ致サナカッタノデアリマス、
 山谷委員

尙ホ一言御尋ネ致シマスガ、サウ致シマスルト、煎ジ詰メマスルト政府ハ貴族院ニ對スル政策上今期ノ議
 會ニハ御提出ニナラヌト云フ御意思ト諒解シテ宜シイノデスカ、
 藏園委員

私ハ餘リ記憶ハ致シテ居リマセヌケレドモ、政府ガ五十議會ト五十一議會ニ本案ト同様ノ案ヲ提案セラレ
 タノハ、要スルニ貴族院改革問題ト云フ理由ヲ提ゲテ臨マレタノデアツタカト思ツテ居リマス、ソレデ貴
 族院改革問題ト云フコトニナレバ、私ハ貴族院ノ方モ容易ニ同意シ難イ點モアツタカト、其時ノ政情トシ
 テ想像サレテ居リマシタガ、今回ノ議案ノ趣旨ハ全ク衆議院トノ權衡ヲ維持シ、衆議院ノ先議權ニ係ル所
 ノ回送サレタ豫算案ヲ成ベク速ニ議了スル、而シテ其政局ニ安定ヲ與ヘルト云フノガ主義デアリマシテ、
 政府案ノ二回ノ趣旨ト恐ラク此趣旨ガ異ツテ居ルト思ヒマス、殊ニ前回本會議ニ於テ山口政二君ヨリシ
 テ提案者ノ一人タル同僚松田源治君ニ、之ヲ改革案ト見ルカドウカト云フ質問ガアリマシタ時ニ、松田君
 ハ絕對ニ改革案デナイ、斯ウ云フ趣旨ヲ答辯シテ居ラレルノデアリマス、是等ニ依テ見マスト、全ク其當
 時ノ政府ノ提案ト今日ノ提案トハ同一ノ事項デアリマスケレドモ、其趣旨タルヤ大ニ異ツテ居ルト思ヒ
 マス、シテ見レバ貴族院ニ於テモ二十一日間ニ審査ラスルト云フ趣旨ハ前々來カラ認メテ居ル事デアリ
 マスガ、唯單ニ之ヲ法文トシテ他日ノ用意ニ備ヘルト云フニ過ギナイ問題デアリマスカラ、私ハ前年トハ
 餘程空氣ガ異ツテ居ルト思フノデアリマス、其邊ノ御諒察ハマダ成ツテ居リマセヌカ、矢張只今長官ノ言

日之ニ御賛成ヲ致シ兼ル次第デアリマス、同ジ理由デアリマス、
青木委員

賛成致シ兼ルト云フ理由ガドウ云フノデアリマスカ、政府ガ同ジ案ヲ前二回提案ヲ致シテ、サウシテ今回
ハ提案ノ上ニ於テ種々ナル事情ニ鑑ミテ提案ヲ控ヘラレタト云フコトデアリマスガ、併シ然ラバ今迄二
回政府ガ提案シタコトヲ政府自ラハ否認スルコトニ相成ルノデアリマス、サウスルト趣意ハ賛成ナラ
ケレドモ、政府ノ提案デナイカラ政府ハ同意ガ出来ナイト云フコトニナルト、本案ト云フモノヲ政府ハ貴
族院ニ對スル一種ノ先程御説明ガアツタ通り政略上ニ供スルト云フ嫌ガアル、内務大臣代理ノ本議場ニ
於ケル説明デモ、法律デ定メナクテモ貴族院ニ於テ大體二十一日ト云フコトノ精神ハ持タルヤウデア
ルカラト云フ御話モアリマシタケレドモ、サウ云フコトデハ吾々ハ何モ力ヲ入レテ此問題デ法律案ヲ度
度出シ、又政府ノ出ス度ニ賛成スル必要ガナイノデアリマス、法律デ定メテ置ク必要ガアルカラコソ提出
致シタノデアアル、政府モ亦其必要ヲ認メテ前ニハ出サレタノデアアル、ソレヲ今日ニナツテ各派一致ノ此案
ニ對シテ同意ガ出来ナイト云フ政府ノ意圖ノアル所ハ了解シ惡イノデス、私ハドウカ政府ハ前二回政府
自ラガ提出セラレタ精神ニ基イテ、本案ニ御同意下スツテ、貴族院ノ通過ヲ圖ツテ本案ノ成立ヲ期セラレ
ルヤウニ政府ガ同意セラル、コトヲ望ムノデアリマスガ、其間ノ政府ノ意ノアル所ヲ伺ヒタイノデアリ
マス

山川政府委員

御尤ノ御質問デアリマスガ、政府ハ先程申シマシタヤウナ趣意ニ依リマシテ、此議會ニハ之ヲ提案シナイ
ト云フコトニ決定致シタノデアリマス、無論此案ガ議員ノ方カラ提案サレタカラ賛成シナイトカ、政府ノ
提案デナケレバドウトカ云フ考ハ毛頭アリマセヌ、適當ナル案デアリマスレバ議員ノ提案デモ無論宜シ
イノデアリマス、併シ政府ノ提案シナカッタ理由ハ先程申シマシタヤウナ理由デアリマス、其理由ニ依リ
マシテ今日直ニ此案ヲ以テ進ムト云フコトハ適當デナイ、斯ウ認メテ居ル、ソレデ今日ノ場合此案ニ對シ
テ遺憾ナガラ直ニ御同意ヲ表シ兼ル次第デアリマス、若シ此案ニ御同意ラスルト云フコトデアリマスレ
バ、無論政府カラモ提案致スベキデアリマス、提案ラシナイ理由ハ即チ遺憾ナガラ今日之ニ御同意致シ兼
ネルコトニ外ナラヌノデアリマス

青木委員

私ハ政府委員ノ御辯明ヲ頗ル虚心坦懐ニ解釋ヲ致シタノデアリマスガ、今日政府自ラガ提案シナイ理由
ニ立脚ヲ致シテ、今日此案ニ同意ハ出来ナイト云フ意味ハ、貴族院ガ通過シタ場合ニ於テハ無論同意スル
ト云フ風ニ、其程度ニ解釋シテ置イテ宜シイノデアリマスカドウデスカ

山川政府委員

ソレハマダドウナリマスカ分リマセヌガ、若シ本案ガ當院ニ於テ御議決ニナリマスシ、又貴族院ニ於テモ

此案ヲ議決スルコトニナリマスレバ、政府ハ無論其場合ニハ能ク考慮致シタイト考ヘテ居リマス

私ハ此議院法ノ問題ハ五十議會以來熟シ切ツテ居ル問題ト考ヘマシタカラ、發言ヲ遠慮致シテ居ツタ譯デアリマスガ、今山川長官ノ御説明ニ依リマスルト、政府ハ今回斯ノ如キ案ヲ自ラ作ツテ出スコトヲ必要ト認メナカツタカラ出サナカツタト云フコトニ立脚ヲ致シテ、此案ニ同意スルコトガ出來ナイト云フ意思ヲ表明セラレタノデアリマス、併シ五十議會デハ政府自ラガ本案ト内容實質ノ同一ナルモノヲ御出シニナツテ、極力通過ニ努メラレタ、然ルニ今日之ニ不同意ヲ表スルト云フコトハ一體何事デアルカ、此問題ハ名ハ貴族院改革デモ改善デモ宜シイノデアリマス、少クトモ善キ方面ニ向ツテ一步ヲ進メルノデアルト云フコトハ、恐ラクハ、政府自ラモ争ハザル所デアラウト思フ、然ラバ今日提案セザルコトニ付テノ御説明ハドウカト云ヘバ、外ニモマダ改正スルベキ事項ガアルト云フ意味合ニ聽取レルノデアリマス、ソレニ御氣付デアルナラバ、政府自ラソレヲ加ヘタモノヲ御提出ニナツテモ宜シイシ、又斯ウ云フ事柄ヲ御加ヘニナツテモ宜シイノデアルト云フ位ナ御意見ハ御洩ラシニナツテ宜シイト思フ、此事柄自體ガ善イカ惡イカト云フ問題ニナレバ、宜シイト御答ニナルニ違ナイ、幾ラ内輪ノ考デモ、少クトモ是ハ無キニ優ル案デアルト云フコトダケハ御認メニナルト思フ五十議會以來事情ガ變更ヲ致シテ居ル爲ニト云フナラバ、其事情ノ變更トハ何事デアルカ、情勢變化ノ爲ニ此案ニ同意ガ出來ヌト云フコトハ何モノヲ指スノデアルカ、是

ダケハ御明言ニナル責任ガアルト思フ、今青木氏ノ御尋ネニ對シテ、衆議院ヲ通過シ更ニ貴族院ガ通過致シタ曉ニハ云々、如何ニモ卑怯千萬、如何ニモ不徹底ナル御態度デアルト思フ、問題ハ此案ガ善イカ惡イカ、政府ガ同意スベキモノカ、然ラザルモノカト云フコトニ歸着スルノデアアル、モウ少シ勇氣ヲ出シテ、古イ言葉デアアリマスガ、立憲政治ハ公明正大ノ政治デアアルノデアリマス、政府ノ立場ヲ一層明瞭ニセラレシコトヲ希望致シマス

山川政府委員

只今横山君カラノ御質問デアリマスガ、是ハ先程カラ説明致シマシタ通りニ、本案ト同一ノ事柄デアリマスガ、既ニ二回政府カラ提案ヲ致シマシテ、不幸ニシテマダ其成立ヲ見ナカツタノデアリマス、本案ノ趣意ニ付テハ政府トシテ無論異議ノナイ點デアリマス、唯々問題ハ此際之ヲ提案スルコトガ適當デアルカドウカ、政府ハ此點ヲ考慮シテ居ルノデアリマス、ソレデ先程御質問ニ對シテ申上ゲマシタ通りニ、二回提案ヲ致シマテ、一回ハ兩院協議會ニ於テ議ガ纏ラズシテ不成立、一回ハ貴族院デ否決、斯ウ云フ事態ガ新ニ出來テ參リマシタカラ、ソレデ此際之ヲ提案スルコトハ他ニ色々ノ考慮ヲ加ヘル必要ガアリマスカラ、今日ハ提案シナイ方ガ適當デアアル、從テ今日御提案ニナツタ此案ニ付テ直グ同意ガ出來ルカト云フト、今日御提案ニナルニ付テハ政府ハ遺憾ナガラ同意ヲ致シ兼ルト云フ趣意デアリマス、ソレデ先程青木君カラ此案ガ衆議院ヲ通り、貴族院ヲ通ツタ曉ニハドウカト云フ御質問デアリマシタカラ、ソレニ對シテハ先程御答ヲ致

シタノデアリマス、政府ノ意見トシテ今申上ゲタト云フ趣意デハアリマセヌ、サウ云フ御質問ガアリマシ
 タカラ、ソレニ對シテ御答ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデ只今繰返シテ申上ゲマスガ、此案ノ趣意ニハ
 無論政府トシテハ異議ハナイノデス、併ナガラ同一ノモノデモ之ヲ今直グ提案シテ實行シテ行クト云フ
 コトハドウデアルカ、其時機ノ問題デアルドウツサウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、
 横山委員

ドウモ私分ラヌノデス、二度出シテ或ハ協議會ニ懸リ、或ハ否決ノ運命ニ接シタノデ、政府トシテ二度此
 案ヲ出シテ若シ貴族院ニ於テ否決ニナルガ如キコトガアレバ、甚ダ政府ノ面目權威ニ關スルカラ、暫ク時
 勢ノ推移ヲ待ツト云フ御言葉ハ能ク分ツテ居ル、政府ニ對シテ提案ヲ迫ツタ場合ニハ其言葉ハ極メテ適切
 デアリマスガ、議員ノ權能ニ依テ議員自ラ出シタ際ニ、案ノ内容實質ハ極メテ適當デアリ、政府ノ所期致
 シテ居ツタ目的ヲ達シ得ル場合ニ於テ、此案ニ不同意ト云フコトハ分ラヌ、其處ヲ問フノデアリマス、五
 十一議會後ニ於テ情勢變化ノ爲ニ此案ニハ同意スルコトガ出來ヌト云フ理由ガ存在スルナラバ、ソレヲ
 承リタイト云フノデアリマス、山川法制局長官ハ政府自ラガ發案セザリシ御道理ハ御説明ニナリマシタ
 ケレドモ、不同意ノ説明ニハナラヌノデアリマス、ソコデ尙ホ一應其點ヲ確メタイト思ヒマス、
 山川政府委員

畢竟前ノコトヲ繰返スコトニナリマスガ、實際此案ニ付テ政府モ同意デアリ、内容ニ付テハ異議ガナイニ

モ拘ラズ提案シナイノハ今申上ゲタヤウニ、此際之ヲ出スコトハ適當デナイト認メテ居ルノデアリマス、
 是ハ横山君ニモ能ク御了解ヲ得タヤウニ承リマシタ、ソレデソレト同ジ理由ニ依テ此際政府デ提案スル
 志ト下ヲ適當デナイト認メルノデアリマスカラ、此際此案ニ付テ御同意ヲ表スルト云フコトヲ遺憾ナガラ
 政府トシテハ實行上御答申上ゲ兼ネルノデアリマス、

山谷委員

私が先刻政府ガ此案ヲ議會ニ御提出ニナラヌ理由ヲ御尋ネシタ所ガ、ソレニ對シテノ御答辯ハ極メテ簡
 單デ且ツ具體的デアリマセヌ、唯々考ヘル所ガアルカラト云フ御話デアツタ、私ハ第五十議會及第五十二
 議會ニ御提出ニナツタ此政府ガ、同ジ案ヲ此議會ニ御提出ニナラヌ理由ハ、定メシ對貴族院關係デアラウ
 山下推察致シマシタガ、ソレハ茲ニ深ク論ズル必要モナイ、併シ青木君ノ御質問ニ對シテ政府ハ此案ニ對シ
 テハ同意ガ出來ナイト御答辯ニナツタコトハ實ニ意外ニ考ヘルノデアリマス、既ニ此案ノ趣意ニハ御贊
 成デアル、而モ此案ハ第五十議會ノ第五十一議會ニ政府ガ提出サレタ案ト其内容ニ於テ何等異ナル所ガ
 ナイノデアリマス、サウスレバ政府ハ此議會ニ自ラ案ヲ御提出ニハナリマセヌデシタケレドモ、此案ニ對
 シテハ雙手ヲ舉ゲテ御贊成ニナラナケレバナラヌノデアリマス、ソレヲ此案ニハ反對ダト仰セラレル理
 由ハ、先刻來色々御質問ガアルガ、ドウモ要領ヲ得タ御答辯ガアリマセヌ、私ハ其理由ハ大概想像致シテ
 居リマス、併シソレデハ政府ノ御答辯トシテ甚ダ遺憾デアリマスカラ、モウ少シ具體的ニ趣意ガ贊成デア

ルケレドモ、此議員ノ提出案ニハ賛成ガ出來ナイ、其理由ハ政府ガ提出シナイノト同ジ理由ダト、前カス判然ト御答辯ニナラナイ理由ヲ以テ之ニ反對スル理由ニ御充テニナルノデアリマスカラ、益々私ハ其御趣意ヲ了解スルニ苦シムノデアリマス、若シ私共ガ想像スルガ如ク貴族院ニ對スル所ノ政略上、此案ハ本期議會ニハ政府ガ提案シナカッタ、ソレト同ジ趣意ヲ議員ノ方デ出シタ案ニ對シテモ同ジ理由デ賛成スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ明瞭ニ御答ニナレバ十分ニ私共了解出來マスガ、若シサウデナイトスレバ其他ノ理由ニ付テ今少シク具體的ニ要領ヲ得タ御答辯ヲ御願スルノデアリマス

山川政府委員

私ノ方デハ極ク明ニ其理由ハ申上ゲタ積リデアリマスガ、不幸ニシテマダ御了解ヲ得ナイノデ、今マデ申上ゲタ所ヲ繰返ス外途ガナイノデアリマス、詰リ政府ガ此案ヲ提案シタ趣意、又此案ガ既ニ二回提案シテ二回成立シナカッタ、此新シイ事態ニ鑑ミマシテ、此際再ビ之ヲ提案スルコトハ適當デナイト云フヤウニ政府ハ認メテ居ルノデアリマス、ソレデ先程カラ申上ゲタヤウニ此案ノ趣意ニハ一向異論ハアリマセヌ、併シ今日提案スルコトニハ御同意出來兼ネマス、極クハツキリ申上ゲタ積リデアリマス

志波委員

今長官ノ御意見ヲ承ツテ居レバ、詰リ直ニ今此處デ同意スルコトハ出來ナイト云フコトデアツタノハ、反對ナルガ故ニ同意出來ヌト云フ御意見デナク、此場合考慮スルノダト云フ意味デ御同意ガ出來ナイ、若シ

ヤ兩院ヲ通過シタ曉ニハ其時自分等ノ意見ヲ鮮明ニスルト云フ御意見デアルトスレバ、詰リ不明デアルト云フコトニ歸著シヤシナイカト思フノデアリマス、同意スルカセヌカ不明デアルト云フコトニ歸著スルノデアリマス、先刻來聽イテ居レバ同意致シ難イト云フコトハ、動モスレバ政府ハ本案ニ反對デアルカノ如ク聞エテ來ルノデアリマス、詰リ今之ヲ表明シナイト云フコトニ承ツテ宜シイノデアリマスカ、ソレナラバソレノヤウニ心得テ置キタイト思フ、同意シナイト云フコトハ反對ナルガ故ニ同意シナイノカ、今年提案シタノガ宜シクナイカラ反對スルノデナク、詰リ兩院ヲ通過シタ曉ニ自分等ノ意思ヲ表明スルト云フ御意見ト承ツテ宜シイカドウカ

山川政府委員

政府ノ方デハ兩院ヲ通過シタ後ニドウスルト云フヤウナ考ハ實ハ持つテ居ナイノデアリマス、初カラ申上ゲタ通りニ今日之ヲ提案スルコトハ、今マデノ沿革ニ徴シテ適當デナイト云フ風ニ政府ハ認メテ居ルノデアリマス、隨テ此案ヲ今直グ進メテ行クト云フコトニ付テ政府ガ御同意致シ兼ネルノデアリマス、唯併シ將來ニ於キマシテ萬一今青木君ノ先程ノ御尋ネノヤウニ、議會ヲ通過シタ場合ニハドウスルカト云フコトハサウ云フ新シイ事態ガ更ニ起ツテ來レバ政府トシテハ尙ホ考慮シナケレバナラヌ、是等ノコトヲ御話シタノデアリマス、今ノ所デ議會ヲ通過スレバ之ヲドウスルカト云フヤウナコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス

青木委員

大抵政府ノ腹ハ分ツテ居ル、趣意ニハ反對デナイ、贊成デアルカラシテ腹ハ分ツテ居リマス、衆議院トシテ吾々ハ今一步政府ノ所信ヲ突キ止メテ置キタイト思フ、即チ斯ウデハナイカト思フ政府ハ本年ハ此案ニ對シテハ政府自體カラ責任ヲ持チタクナイト、斯ウダラウト思フ、二回出シタクレドモ一回ハ兩院協議會デ折合ガ付カナカツタ、其次ニハ貴族院ニ於テ否決ヲシタ、今度ハ時代ニ鑑ミテ政府ハ提案シナカツタノデアアル、衆議院カラ提案ニナツタケレドモ政府ハ深入リシタ責任ヲ持チタクナイ、サウ云フ一種ノ方便ニ立ツテ居ラレルノデアアルト私ハ想像スルノデアリマス、ソコデ假定的ノ問題ダト云ツテ答辯ヲ拒マレシテ困ルノダガ、事實問題トシテ吾々ガ豫想スルニ貴族院ニ是ガ審議ニ懸ツタ時ニ、貴族院カラシテ政府ニ本案ニ同意カト質問セラレタ時ニ於テ、有耶無耶ノコトヲ政府ガ云ハレテ、本案ニ對シテ誠意ノナイヤウナコトヲ云ハレルト云フト、貴族院ニ對シテ此案ガ通過スル上ニ於テ非常ナ妨ダヲ來タシ、一種ノ貴族院ノ氣分ヲ 本案ノ通過ノ上ニ惡化サセルノデアリマス、其時ニ於テ趣旨ニハ贊成ダケレドモ云々ト云ツテ、所謂眞實論ノコトヲ云ハレルト云フト、本案ノ運命ニ影響スルコトガ大ナルモノデアリマスカラ、同様ノ質問ヲ貴族院ニ於テ浴セカケラレル場合ニ於テ、政府ハ如何ナル態度ヲ以テ本案ニ望マレル積リデアリマスカ、承ツテ置キタイ

山川政府委員

本案ニ付テノ政府ノ態度ハ一定シテ居リマス、今申上ゲタ通りデアリマス、ソレデ貴族院ニ此案ガ參リマシテ、貴族院デ説明致シマス時ニモ、同ジ答辯ヲ致スノデアリマス、是ハ變更致シマセヌ

黒住委員長

諸君ノ同意ヲ得マシテ此席カラ私が政府ニ質問致シタイ、委員諸君ノ御質問デ、御質問ノ方ノ趣旨ハ極メテ徹底ヲシテ居ル、然ルニ政府ノ答辯ガ甚ダ不徹底デアルノデアリマス、申スマズモナク是ハ憲法附屬ノ重大ナル法案ノ改正デアリマス、是ハ既ニ政府自ラ政府案トシテ二回御提案ニ相成リ、其通過ニ努力セラレタ、ソレハ非常ナ所信ノアツテノコトデアラウト考ヘルノデアリマス、然ルニ本年御出シニナラヌト云フコトガ、既ニ吾々ハ其態度ニ對シテ一ツノ疑惑ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、剩サハ委員諸君ノ質問ニ對シテ御答ニナルコトハ、趣意ニハ敢テ反對ハセヌガ、其後ノ情勢變化ニ依テ本年ハ出サヌ、加之政府ガ出サヌノミナラズ、議員ノ提案ニモ反對ダ、同意ヲセヌ、此言明ヲセラレル勇氣ニ至ツテハ一驚ヲ喫シタノデアリマス、若シサウ云フ御意見デアルト云フコトニナレバ、此重大ナル法案ノ改正ニ當ツテ、政府ハ政略的ニ仕事ヲナサレテ居ルト斷言ヲセラレテモ辯解ノ辭ハナカラウト思フ、所謂重大ナル法案提出ニ依テ、一ツノ策ヲ弄シテ居ル吾々ハ全ク憲法政治發達ノ向上ヲ期スルガ爲ニ、極メテ至純ト考ヘテ國民ノ憲政ヲ進メル上ニ於テ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ二度迄モ政府ガ御提出ニナツタモノト一言一句モ違ハスノデアリマス、其議員提出ノ案ニ對シマシテ、同意ハ出來ヌハ、先程横山委員

カテ御質問がアツタ如ク、若シ是ガ幸ヒ貴族院ヲ通過スレバ、自ラ是ハ別ダト云フ、責任内閣ノ態度トシテハ、私ハ今ノ御言葉ハ承服出来ヌノデアリマス、總理以下左様ナ御考ヲ持ツテ居ルノデアルカドウカ、今少シク考慮セラレテ、責任ノアル御答辯ヲ得タイ、若シ貴族院ニ參ツタ際ニ、只今同一ナル御答辯ヲ繰返スト云フ御話デアリマスガ、サウ云フコトニナリマス、責任内閣制ニ於ケル所謂大ナル問題ヲ突止メラレルコトニナルト思ヒマス、所信ノナイノニ政略的ニ新様ナ法案ヲ弄ンデ、ドウモ少シ都合ガ悪イヤウダカラ今年ハ少シ考ヘル、而モ不謹慎ニモ其後ノ情勢變化ト云ハレタ以上ハ、情勢變化ノ理由ヲ明白ニシナケレバ國民ガ承服シナイ、ドウカ今一ツ責任ノアル御答辯ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

山谷委員

私ハ山川長官ノ御答辯ニ對シマシテハ不満足ヲ感ジテ居ル、他ノ委員諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、此上ハ山川長官ニ御質問ヲ致シタ所ガ、到底吾々ノ満足スルヤウナ答辯ハ得ラレヌモノト考ヘマスカラ此際委員長ヨリ總理大臣ノ御出席ヲ御請求ニナリマシテ、十分責任アル現内閣ノ御答辯ヲ得タイト云フコトヲ希望致シマス

黒住委員長

御諮リ致シマス只今山谷君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

黒住委員長

ソレデハ左様ニ計ヒマス、更ニ御諮リ致シマスガ、此問題ハ總理大臣ノ出席ヲ待ツテ審議ヲ繼續スルコトニ致シマシテ、此程度デ此案ハ止メテ置き、別案ノ審議ニ移リタイト思ヒマスガ、御異存ゴザイマセヌカ

黒住委員長

然ラバ左様ニ致シマシス、即チ鷺野君外一名提案ニ係ル議院法中改正法律案ノ審議ニ掛リマス、提案者ノ提案ノ趣旨ヲ伺ヒマス

青木委員

最早十二時デスカラ本日ハ此程度デ休憩ナリ散會ナリニ御願ヒ致シタイ

黒住委員長

ソレデハ本日ハ此程度デ散會致シマス、後日ハ御知ラセ致シマス

二月二十五日

黒住委員長

第五十二回議會 小川 委員會

ソレゾレ前同ニ引續イテ會議ヲ開キマス、青木君
青木委員

只今議題トナツテ居リマス 小川平吉君外多數ノ各派聯合ニ依テ提出サレテ居ル議院法中ノ改正案ニ付テ、此機會ニ總理大臣ニ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、此法案ハ議院法ノ四十條ニ一項ヲ加ヘマシテ、貴族院ノ豫算ノ審査期間ヲ衆議院ト同様、二十一日以内ニ審査ヲサセルベシト云フコトヲ附加ヘル案デアリマシテ、前二回ノ議會ニ於キマシテハ、政府自ラガ重要ナル案トシテ提案ヲセラレタ所ノ案デアリマス、本案ハ近キ二回ノ議會ニ於キマシテ、重要ナル沿革ヲ持ツテ居ル案デアリマシテ、衆議院ノ院議トシテ最早動スベカラザル所ノモノガ定ツテ居ルノデアリマス、殊ニ昨年ハ吾々同志カラ本案ヲ提出致シ、次デ政府ハ前議會ノ案ヲ昨年再ビ議會ニ提出セラレ、同ジ案ガ委員會ニ付議セラレ、審議ノ結果、同一ノ案デアルカラト云フコトデ讓歩ヲ致シテ、議院提出ノ方ハ廢メテ、政府案ヲ可決致シテ貴族院ニ送ツタト云フコトニ相成ツテ居ル、ソレデ本案ハ今回ガ三回目デゴザイマス、本案通過ヲ圖ル上ニ於テ、本年ノ議會ト云フモノハ重要ナル機會デアルト思フ、三度目ニハ貴族院モ相當ニ考慮シナケレバナラヌ政治的ノ意義ガアルト思フノデアリマス、然ルニ本年ハ政府ハ如何ヤウナル御趣旨カ知リマセヌケレドモ、本案ヲ提出セラレナイ、二回ハカヲ入レテ提出サレタニモ拘ラズ、本年ニ相成ツテ政府ガ本案ヲ提出セラレナイト云フコトガ、ドウモ吾々ニハ了解ガ出來ナイノデアリマス、本議場ニ於テ内務大臣代理ハ、本年ハ考慮

スル所ガアツテ之ヲ提出シナイノデアルト云フヤウナコトヲ申サレマシタガ、吾々ハ本年コソ政府ガ更ニ同一案ヲ提出セラレテ、サウシテ貴族院ノ考慮ヲ促スト云フ風ニ致スベキガ當然デアルト思フノデアリマシテ、茲ニ政府ガ提案ヲ見合サレタト云フコトニナルト、貴族院ニ對シテ政府ガ屈服シタト云フヤウナ感ジヲ持タザルヲ得ナイノミナラズ、衆議院ノ院議ニ對シテ政黨内閣デアル所ノ現内閣ガ、之ヲ重ク御考ニナラナイト云フ點モ、吾々甚ダ遺憾ニ存ジマス、ソコデ何故ニ斯ノ如キ憲法附屬ノ重大法案ヲ、二回マデハ政府自ラガ提出セラレテ、本年ハ御提出ニナラナイノデアルカ、其理由ヲ伺ヒタイト同時ニ、政府ガ御提出ニナラナクテモ、衆議院各派一致ヲ以テ提出シタノデゴザイマスカラ、此案ニ對シテ政府ハ如何ナル態度ヲ持セラルルノデアルカ、前同ノ委員會ニ於テ山川法制局長官カラノ答辯ヲ顧ヒマシタケレドモ、政府ノ真意ヲ捕捉スルニ苦シンダノデアリマス、ソレデ本日ハ政府ノ本案ニ對スル態度ヲ明ニ御言明テ願ヒタイト云フノガ、特ニ總理大臣ノ御出席ヲ願ツタ所ノ主要ナル目的デゴザイマスカラ、此二點ニ付テ御言明ヲ仰ギタイトデアリマス

若槻國務大臣

議院法中ニハ衆議院ニ付テハ豫算審査ニ付テ期限ガ定メテアリマスガ、貴族院ニ付テハ其期限ガ定メテナイコトハ申上グルマデモナク御承知ノ通りデアリマス、貴族院ニ於テ豫算審査ノ期限ノ定メテナイコトガ、實際ニ於テドウ云フ不便ガアルカト申シマス、實際ノ便宜カラ云ヘバ、期限ノ定メガアリマシテ

モ、定メガアリマセヌデモ大シク私ハ相違ハナイト思フノデアリマス、併ナガラ今御尋ネニテリマス通
 リ、政府ハ二回モ此案ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、政府ガ此案ヲ提出シタ所以ノモノハ、同ジ議案ノ取
 扱ニ付テ、衆議院ニ於テハチヤント一定ノ期限ヲ定メテアル、貴族院ニ於テハ其期限ガ定メテナイト云フ
 事柄ハ、事實ニ於テハ便不便ハ無イトシテ見タ所ガ、形ニ於テ衆議院ト貴族院ガ別ナ取扱ニナツテ居ルト
 見エルコトハ甚ダ面白クナイ、矢張是ハ衆議院ニ於テ豫算ノ審査期限ガ定メテアルモノナラバ、貴族院ニ
 於テモ豫算ノ審査期限ヲ定メテ、兩院共成ベク斯ウ云フモノハ平等デアルト云フ形ノ方ガ、私ハ宜シイト
 思ウテ居ルノデアリマス、其意味ニ於テ政府ハ二回モ此議院法中改正法律案ヲ提出ヲ致シタノデアリマ
 ス、然ルニ不幸ニシテ第一回ハ貴族院ニ於テ審査ノ期限ガナカツタ爲ニ未了ニ終ツタノデアリマス、昨年
 ハ貴族院ニ於テ審査ヲセラレテ、サウシテ豫算審査期限ヲ定メル必要ナシト云フコトデ否決ヲセラレタ、其
 際政府ハ只今申上グル通りノ議論デ原案ヲ維持シテ居ツタノデアリマス、然ルニ拘ラズ貴族院デハ否決セ
 ラレタ、其二回ノ情勢ヲ見マシテ、又更ニ本年之ヲ提出スルカ否ヤト云フコトヲ考ヘマシタ時ニ、是ハ一
 度其考デアレバ繼續シテ出スト云フモノ一ツノ採ルベキ途デアラウトハ存ジマスガ、ソレト共ニドウモ
 貴族院ノ情勢ヲ見テ、本年提出致シタ所ガ容易ニ通過スベキ情勢アリト見ラレヌト思ヒマシタガ故ニ、ソ
 コデ今回ハ提出ヲ見合ハセテ居ルノデ、出サナイト云フ理由ハ唯ソレダケデアリマス、而シテ本案自體ニ
 付テハ、政府ハ少シモ反對ハアリマセヌ、政府自身ガ斯ウ云フ似寄ツタ法律案ヲ提出シタ位デアリマスカ

ラ、或ハ是ト同一デアツタカモ知レマセヌガ、但書ガアツタカ、其所ハ能ク記憶致シマセヌガ、趣旨ハ同一
 ノ法律案ヲ提出致シタ位ノモノデアリマス、今日モ兩院ノ間ノ取扱ガ平等デナケレバ、何トナク一方ノ方
 ハ特ニ法制上他ヨリモ劣ツタヤウニ見エル、事實ハサウデハアリマセヌケドモ、サウ見エルト云フコト
 ハ、甚ダ人ニ面白クナイ取ジヲ與ヘルコトト思フノデアリマスカラ、ソコデ矢張私ハ期限ヲ定メルコトガ
 必要ナリトスレバ、兩院共期限ヲ設ケタ方ガ宜シイト云フ意見デアリマスノデ、本案ノ内容ニ付テハ少シ
 モ反對ハアリマセヌ、唯提出シナカツタノハ、二回モ提出シテ通過スルコトガ出來ナカツタモノデアリマ
 スカラ、ソコデ本年提出致シタ所ガ果シテ通過スルヤ否ヤ、稍疑ハシクアリマシタ爲ニ、提出ヲ見合セタ
 ト云フ是ダケノ趣意デアリマス

青木委員

只今ノ總理ノ御説明ハ能ク分リマシタ、本意義ニ提案ノ際ニ、議員ノ質問ニ對シテ安達内務大臣代理カラ
 趣意ニ賛成デアルガ、直ニ此案ニ賛同致シ兼ネルト云フ御説明ガアリマシタノデ、吾々甚ダ不思議ニ思ッ
 タデアリマス、只今總理大臣ハ反對デハナイト云フ消極的ノ御説明デアリマスガ、進ンデ貴族院等ニ於
 テ政府ハ賛成カ、同意スルノカ否カト云フ時ニ、進ンデ政府ハ同意スルト云フコトヲ初カラ言明ニナル
 コトガ、當然ノ政府ノ責任デアルト思フノデアリマス、重ネテ此場合ニ於テ同意スルト云フ御言明ヲサ
 レルコトヲ私ハ欲スル、ソレガ尙ホ此案ノ進行ノ上ニモ非常ナル力アル言明デアルト思ヒマスカラシテ、

反對デナイト云ク上ニ、更ニ一步ヲ進メタ態度ノ御言明ガ欲シイト思ヒマス、
若槻國務大臣、唯言葉ノ差デアリマスガ、反對デナイト云フコトハ同意デアアル、賛成デアルト云フコトデアリマスニ、
永田委員、只今總理大臣ノ御言明ニ依リマシテ、本案ニ對シテハ政府ハ何所マデモ同意ヲシテ居ラレルト云フコト

ヲ明ニシテ、非常ニ吾々モ心強ク思ヒマス、過日來内務大臣代理竝ニ山川政府委員ノ本案ニ對スル御言葉
青ハ、反對ノ意思ガアルカニ承ツタノデアリマス、只今總理大臣ノ御言明ニ依リマシテ政府ハ同意ヲセラレ
ル、吾々ハ之ヲ院議ニ依テ決シマシテ貴族院ニ送付シマス場合ニ、貴族院ニ於テハ或ハ前通り反對ノ態度
ヲ執ラレルカモ知レマセヌガ、政府ハ其際ニ於カレマシテ、此案ノ通過スル爲ニ、何所マデモ本案ノ支持
ニ努メテ下サルコトヲ希望スル次第デアリマス

黒住委員長

一寸御諮リシマスガ、總理大臣ニ質問アリマセヌカ、大變多忙ノヤウデアリマスカラ、又別案ノ時ニハ更
ニ出席ヲ願フコトト致シマシテ宜シウゴザイマスカー——左様ニ致シマス
青木委員、最早政府ノ態度ガ明ニナツタ以上ハ、本案ハ質問應答ノ必要モ無イト思ヒマスカラ、質問ヲ此場合打切ツ

テ、直ニ討論ヲ用ヒズ、本案ノ決定ヲ告ゲタイト思ヒマス、此際動議ヲ提出致シマス

黒住委員長

只今青木君ノ動議ガ出マシタ、御承知ノ如ク二回モ本案ハ政府若クハ議院カラ提案ニナツテ居リマス、而
モ本案ハ各派一致ノ提案ニ屬スルノデアリマスカラ、質問ヲ打切り、ソレカラ討論モナイト思ヒマスカラ
ドウデスカ、討論ヲ用ヒズシテ即決可決シテ御異議アリマセヌカ

黒住委員長

左様ニ可決シマス、本案ハ確定致シマシタ、次ニ鷲野君外一名ノ提出ニ係ル議院法中改正法律案ヲ付議致
シマス、先ツ提案者ノ説明ヲ求メマス

鷲野米太郎君

本案ノ提出理由ニ付キマシテハ、先日本會議ニ於キマシテ、大體ニ於テ私ガ提案ヲ致シマシタ理由ノ要旨
ハ申述ベテアル筈デゴザイマスカラ、其説明ヲ御覽ヲ願ヒタイノデゴザイマス、ソレニ説キ及ンデ居ナイ
點、又説イテアリマシテモ説明ノ要旨等ノ點ハ、玆ニ重ネテ申上ゲタイト存ジマス、此繼續委員ニ關スル
議院法第二十五條ノ規定ハ、ドウモ運用上不都合ナリト云フ點カラ、度々衆議院ニ於テハ議論ニナツタ點
デアリマシテ、能クハ記憶ハ致シテ居リマセヌケレドモ、第一議會ト第二議會ニ於テ、高田早苗氏カラ第二

十五條ノ繼續委員ニ關スル規定ヲ中心ト致シマシテ、其他幾ツカノ條項ニ互ツテ議院法ノ改正法律案ヲ提出致シマシタガ一同モ、二同モ、共ニ衆議院ニ於テ未決ニナツタカ、握リ潰シユナツタ等デアリマス、其後又多分第五議會ト思ヒマスガ、加賀美氏外二名ノ名義ニ依テ提案ヲ爲シタケレドモ、又衆議院ハ通過致シマシタガ、貴族院ニ於テ未決ノ儘ニ終ツタノデゴザイマス、其後第八議會ト思ヒマスガ、今度ハ又高田早苗氏ガ提案者トナツテ、第二十五條ノ繼續委員ニ關係ノ事柄ヲ其他ノ事項ト共ニ提案ヲ致シマシタ所、衆議院ノ方ハ第五議會同様ニ通過致シマシタガ、貴族院ニ於テ不幸ニモ未決ノ儘ニ終リマシタ次第デアリマス、サウシテ其當時ノ政府ノ此第二十五條ノ、繼續委員ノ規定ヲ改正シヤウトスル衆議院ノ案ニ對スル態度ト云フモノハ、能ク分リマセヌケレドモ、政府ノ方カラ強ク反對ヲシテ居ツタヤウデアリマス、サウシテ其當時ノ第二十五條ノ改正ヲシヤウトスル趣旨ハ矢張繼續委員ヲ設置スルト云フコトニ付テ、政府ノ同意ヲ要スルト云フコトハ、政府ガ議院ニ及ボス權限ガ重イト云フ嫌ガアルカラ、之ヲ置クト置カナイトハ、議院ノ權能ニ屬セシムルガ至當デアルト云フコトガ、當時ノ提案者ノ主張ノ主眼點デアツタカト存ジマスル、其後議會ニ於テ第二十五條ノ繼續委員ノ問題ニ付テノ提案ト云フモノハ、見ヤセシナンダノデアリマシタガ、第四十九議會ニ於テ皆サン御承知ノ通り、武藤山治氏ガ、今回提案ヲシテ居ルト略同様ノ、第二十五條ノ改正法律案ヲ提出致シマシタガ、或ル言葉ノ使用ノ關係カラ、大體議院ニ於テ物議ヲ醸シマシ

テ、武藤山治氏ノ懲罰問題ヲ惹起シタヤウナ次第デアリマシタガ、ソレハ其關係デアツタカドウカハ存ジマセヌガ、議院ニ於ケル審議ヲ見ズシテ即決否決ノ運命ニ逢着致シタ次第デアリマス、其後私ハ色々考慮ヲ致シマシタガ、現在ノ議會ノ活動ノ情勢カラ考ヘマシテ、會期ガ三箇月ト云フコトハ非常ニ短イバカリデナク、而モ實際ニ於テ議會ノ活動シテ居ル所ノ活動時日ト云フモノハ、四十日乃至五十日シカナイヤウナ有様デハ、十分ニ衆議院デモ、又貴族院デモ活動スルコトガ出來ナイ、併ナガラ此三箇月ノ會期ト云フコトハ、憲法ニ於テ御欽定ニナツテ居ルコトデアルカラ、ドウシテモ之ヲ動スユトハ出來ナイ、併ナガラ英、米、佛、其他ノ諸國ニ於ケル議會ノ活動ノ實際ト、我國ノ議會ノ活動ノ有様ト比ベマシテ、ドウシテモ、本當ニ議院政治ヲ確立スルニハ、議會ノ活動ト云フコトヲ、モウ少シ多ク、十分ニスルヤウニシナケレバ、此目的ヲ達スルコトハ出來ナイカラ、ソレニ付テ憲法ノ改正トカ云フヤウナコトハ、吾々カ俄ニ論議スベキコトデアリマセヌ、此問題ハ差措キマシテモ、憲法ノ問題ニ觸レズシテ、議院法ノ改正ニ依テ一議會ノ活動ヲ増大スル所以ノ途ハ、他ニモアルカモ分リマセヌケレドモ、私ハ第二十五條ノ繼續委員ニ關スル現在ノ規定ヲ、改正案ガ要求シテ居ルヤウニ改正致シマスルナラバ、此目的ノ一端ヲ達スルコトガ出來ルト思フテ、再ビ茲ニ提案ヲ致シタ次第ゴザイマス、而シテ改正ノ骨子ハ、現在ノ規定ニ於テ繼續委員ヲ設置スル場合ハ、政府ノ要求ノアル場合ト、議院自ラガ發意シテ政府ノ同意ヲ得テ置ク場合ト、二ツニナツテ居ルノデアリマスルケレドモ、此「政府ノ要求ニ依リ又ハ其ノ同意ヲ經テ」ト云フ文句ヲ取ツテシマツテ、サウ

シテ各議院ハ、議會閉會ノ間、委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシムルコトヲ得ルヤウニ、議會ノ自由意思ニ依テ、繼續委員設置ガ出來ルヤウニ改正致サントスルノデアリマス、尙又ソレニ附加ヘマシテ、單ニ繼續中ノ議案ノ審査ノミナラス、各議院ガ議會閉會ノ間、各々必要トスル所ノ事柄ヲ、繼續委員ヲシテ調査研究セシメテ、サウシテ議院ノ機能ヲ發揮スルコトヲ得セシムル爲ニ、議院ノ職務權限ニ關スル事項ヲ處理セシムルコト云フ文句ヲ加ヘテ、第二十五條ノ改正ヲ致サントシタノデゴザイマス、之ニ付キマシテ、私ハ十分ニ研究ヲ致シタト云フ次第デアリマセヌケレドモ、亞米利加トカ、佛蘭西トカ、獨逸トカ、其他ノ憲法ノ規定、又ハ議院ノ活動ノ實際ヲ顧ミマシテモ、ドウシテモ先ヅ差當リ繼續委員ノ設置ト云フコトガ、議會ヲ必要デアラウト思ヒマスルシ、設置ヲスルノニハ議會自ラガ自由ニ出來ルヤウナ規定ヲシテ置カナイト、兎角政府ガ之ニ對シテ反對ヲスルノデ、繼續委員ヲ設置シヤウトシテモ出來ナイノデ、斯様ニ改正シタイト希望スル次第ゴザイマス、而シテ實際ノ問題トシマシテ只今宗教法案ノ如キモノガ、近ク衆議院ノ方ニ廻送サルルコトト存ジマスルガ、之ニ付キマシテハ、民間ニモ相當ナ議論ガアルヤウデゴザイマスルシ、宗教關係者ノ方ニモ、強イ反對ノ意見モアルヤウデアリマスルノデ、衆議院ト致シマシテハ、中々論議ガ交換セラルルモノト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ重大ナル法律案ガ、一朝ニシテ解決ガ出來ナイトスレバ、私ハ繼續委員ニ付議スルト云フコトガ、當然ノ事デアラウト存ジマス、又勞働法案ノ如キ、小作法案ノ如キモノモ直ニ政府ガ之ヲ提案シタカラト云ツテ、十日ヤ十五日ヲ其審議期間ニ費シテ丸吞、

丸吞ニ議會ガ十分ノ審議ヲセズシテ、一種ノ諮問ニ答ヘタヤウナ態度デ之ヲ通過セシムベキモノデハナイト存ジマス、サウ云フ意味カラ致シマシテモ、當面ノ問題ト致シマシテモ、繼續委員ノ活動ト云フコトハ非常ニ必要デアルト存ジマス、又民事訴訟法ノ改正ノ如キ、刑事訴訟法ノ改正ノ如キ、或ハ關稅定率法ノ改正ノ如キモノデモ、私ハ斯ウ言フト甚ダ生意氣ノヤウニ聞エマスケレドモ、是等ニ對シテ私ハ議會ガ十分ニ審議ヲシタト認メナイノデアリマス、斯ウ云フヤウチ關稅定率法ノ問題ノ如キハ、須ラク是ハ繼續委員ノ議ニ付シテ、一年デモ一年デモ審議ヲ十分ニ盡シテ、サウシテヤラナケレバナラス問題ト存ジマス、實際ニ於テ亞米利加ナドノ實例ヲ見マシテモ、英國ノ實例ヲ見マシテモ、佛蘭西ノ實例ヲ見マシテモ、關稅ノ改正ナント云フ問題ハ、數年ヲ費シテ始メテ是ガ決定ヲ見ルノデアリマスガ、日本ニ於テ關稅定率法ノ改正ト云フコトハ、非常ニ重要ナ問題デアリマシタケレドモ、ソレガツト十分ノ審議ヲ盡サレズシテ議會ヲ通過致シマシタ、其爲ニ非常ナ非難ガ今起ツテ居ルデアリマセヌカ、斯ウ云フ風ニ單ニ關稅定率法ノ問題ニ限りマセヌ、將來現レル所ノ、例ヘバ宗教法案ノ如キ、勞働法案ノ如キ、小作法案ノ如キ、又其他重要ナル法案ニ付テ、議會ノ審議ヲ十分ニ盡サウト思フナラバ、ドウシテモ繼續委員ノ活動ヲ俟タナケレバナラスト思ヒマス、然ラズンバ丸吞ニシテ通スカ、否決スルヨリ外ニ途ハナイト思フノデアリマス、私ハドウシテモ繼續委員ヲ有效ニ働カスト云フコトガ、目下最モ必要ナ事ト思ヒマス、サウシテ議院ノ職務權限ニ關スル事項ト云フ文句ヲ加ヘマシタガ、之ニ付キマシテハ私ガ申サナクトモ、皆サン能ク御承知

ハ、多クハ徒勞ニ屬スルヤウナコトガ多カラント私共ハ思ウテ居ルノデアリマス、憲野君ハ議案ハ審査ガ不十分デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、議案ノ審査ガ必ズシモ萬能のニ能ク行届イテ居ルトハ私共モ申スコトハ出來マセヌケレドモ、恐ラクハ其議會々々ニ於ケル審査ハ大過ナキヲ私ハ得テ居ルト從來思ウテ居ルノデアリマス、先程ノ例ニ御引ニナリマシタガ、或ハ宗教法案トカ勞働組合法案トカ云フモノヲ審査委員ニ付スルト云フヤウナコトハ、一應道理デモゴザイマスケレドモ、其最モ爭點トナル所ノモノハ全ク一ニ過ギナイモノデアツテ、其點ニ付テハ、寧ロ其審査ヲ要スルト云フコトヨリモ、意見ハ相違デアルト云フコトガ、多クノ場合ニ於テ然リデアルト私ハ思フノデアリマス、現ニ貴族院ニ繼續シテ居ル所ノ宗教法案ノ如キモ、是ハ案ノ内容ヲ茲ニ審査ガ不行届デアルト云フヤウナコトヨリモ、寧ロ其意見ヲ相違デアル憲法上ノ解釋ヲ異ニシテ居ルト云フヤウナコトガ多クデアリマス、勞働組合法ニシタ所カ其通り、勞働組合法ニ致シマシタ所ガ全ク其中ノ眼目トスル所ハ數項ニ過ギナイ、ソレ等ノ如キモ 審査ヲ俟ツテ初メテ明瞭ニスベキ事デナクシテ、既ニ審査ハ十分デアツテ、而シテ其意見ガ異ツテ居ルト云フニ過ギナイ、ソレヲハ審査ヲ繼續委員ニ付シテ、而シテ其意見マデモ一定ノ審査會ニ於テ議論ノ結果ヲ見ヤウト云フコトハ、是ハ木ニ縁リテ魚ヲ求ムルガ如キモノデナイカト私ハ思フノデアアル、現ニ近來ハ法典ノ編纂、即チ法典ノ改正ノ時機モ到來ヲ致シテ居リマスルガ、民法ノ如キハ親族會ノ如キ其他改正ヲ要スベキコトハ實ニ多クデアリマス、故ニ其審査委員ナルモノヲ設ケテ、之ニ其審査ヲ付託スルト云フコトモ一ツ

ノ方法デアリマセウケレドモ、是ハ到底其繼續委員ト云フモノデハ中々困難ナモノデアツテ、且ツ本當ノ真相ヲ得ラレルモノデハナイノデアアル、デアリマスカラ私共ノ考デハ、提案者ガ即チ議會ノ能率ヲ増進スルト云フ意味デ御提出ニナツタコトハ、却ツテ能率ヲ阻害スル、又法案ノ審議ガ其時代ト伴ハナイモノガ、却ツテ出來上ルト云フヤウナ處ガアルト思ウテ居リマスガ、提案者ニ於キマシテハ、只今御説明ニナツタヤウナコトデ、唯案ノ内容ヲ調査スルト云フヤウナコトニナリマス云フト、多クハ其問題ヲ解決スルコトノ出來ナイ、意見ノ相違ヲ來シタ時ニハ、悉ク此繼續委員ニ付託スルト云フ例ヲ開イテ、寧ロ議員ノ權能ヲ回避スルト云フヤウナコトガ、多ク起ツテ來ハセヌカト私共ハ思ツテ居ル、能ク々々必要ノアル場合ニ於テハ、政府モ恐ラク之ニ對シテ、現今ニ於テモ反對スル筈モナイ、現行法ニ於テ寧ロ是ハ出來得ルコトデアリマスガ、唯々法律ノ改正ヲスルノミニ止メルノデアリマスガ、若クハ全ク此繼續委員ニ付スルト云フコトガ、最モ必要デアルト云フ御信念ニ基イタノデアルカトドウカト云フコトヲ一應伺ツテ置キタイ

憲野米太郎君

御答致シマス、誠園サンハ少シ廣ク御取ノヤウデアリマスガ、繼續委員會ノ性質トシテ、次ノ會期迄シカ繼續委員ハ繼續審査スル權限ガアリマセヌ、例ヘバ茲ニ宗教法案ガ繼續委員ニ議會閉會ト共ニ付託セラレタト致シマシテモ、次ノ議會ガ開カレタナラバ、直ニ其經過ノ模様ヲ報告シナケレバナリマセヌカ

ラ、ソレト共ニ繼續委員ハ、其事項ニ付テノ審査ノ權能ハ消滅スベキ筈デアリマスカラ、永久ニ其付託セラレタ案件ヲ弄ブト云フ虞ハ絶對ニナイノデアルト云フコトヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ間違ハナイ所ノ法律ノ解釋論デアリマス、ソレカラ審査ノ期間ヲ二年モ四年モ引張ルト云フト、時勢が變ツテ來ルカラト云フ御話デアリマスケレドモ、左様ニ議會ニ審査ノ經過ヲ報告セズニ數年ヲ經過スルト云フコトハ、事實無イモノト致シマスナラバ、藏園サンノ今述ベラレタヤウナ心配ハ無イモノト存ジマス、ソレカラ宗教法案ノ如キ其爭點ガ或ル重要ナル點ノ意見相違デアリマセウガ、サウ云フモノモアリマセウケレドモ、其意見ノ相違其モノヲ審査研究スルト云フコトハ、非常ニ必要ナル事ト思ヒマスガ、其問題ハ別ト致シマシテモ、關稅定率法ノ如キ、アノヤウナ複雑多様ナル法律案ノ改正ノ際ハ、當然繼續委員ニ之ヲ付託シテ、一箇年之ヲ審議シテ、次ノ議會ニ於テソレヲ報告セシメテ決定スルヤウナ方法ヲ執ルノガ、最モ私ハ適當ナル手段デアツタカト存ジマス、藏園サンハ最モ法案トシテ岐レル所ノモノハ意見ノ違ヒデアルト云フヤウナ御話デゴザイマシタケレドモ、意見ノ違ヒモアリマセウガ、特ニ各般ニ亙ツテ調査研究ヲ遂ゲナケレバナラヌ場合モアルダラウト思ヒマスカラ、今ノ藏園サンノ御意見ダケデハ、私ハ本案ノ提案者トシテ、直ニ自分ノ考ガ間違アルノダト云フコトハ申上ダ兼ネルノデアリマス、寧ろ藏園サンガ尙ホ御研究下サツタナラバ、本案提出ノ理由ト云フモノハ能ク御分リ下サルコトト存ジマス、他ニ何カマダ御尋ネノ點ガゴザイマシタラウカ、尙ホ御分リニナラヌ點ガアリマスレバ御問ヲ願ヒマス、且、本會

藏園委員

私ハ私等ニ於テ此本案ノ最モ必要デアルト云フコトヲ研究スルヨリモ、寧ろ提案者ニ於テ今一層切實ニ繼續委員ヲ設定スルコトノ急務デアルト云フコトヲ御示シ下サランコトヲ却テ希望致ス次第デアリマス、只今御説明ノ如クデゴザイマスト云フト、ドウシテモ一年ヲ以テ繼續委員ガ消滅スルト云フ解釋ヲ執ラレルト云フ仰セデアリマシタガ、ドウモ一年デ若シ審議ガ未了デアツタナラバ、矢張是ハ繼續スルコトニナルデアリマセウ、又サウデナケレバ、ソナハ大法案ヲ繼續委員ニ付託シテ、ソレガ一年デ審査ガ出來タト云フ風ナコトナラバ、寧ろ短期日ニ於テ最モ勉勵ヲシテ、熱心ニ研究シタ方ガ却テ其能率ヲ舉ゲ易イノデアリマス、ダラノ、ダラノ、繼續委員會ナゾデヤツテ居ルト云フコトハ、兎角機宜ヲ失シ、又提案ノ精心ヲ没却スルコトガ比々皆然リデアラウト私ハ思ウテ居ルノデゴザイマスカラ、此貴方ノ折角議會ノ能率ヲ舉ゲルト云フノニ三箇月デハ到底足ラヌ、會期ガ餘リニ短期ニシテ、到底大法案ノ審査ガ不行届デアルト云フコトハ、是ハ寔ニ私共モ同感デアリマスケレドモ、寧ろ此審査審査ヲ重ネテ、審査委員ノ報告ニ對シテ更ニ各派ガ態度ヲ決スル爲ニ審査スルト云フコトハ免レヌコトデアラウト思フ、實際議院ノ狀態ヲ見マスルト云フト、繼續委員ナドニ之ヲ付託シテ置イテ、其繼續委員ノ其調査ノ結果ナドニ盲從スルコトノ出來ル鹽梅デアリマセヌ、仍テ私ハ現法律ニ於テモ審査委員ヲ設ケルコトハ、政府ノ同意ヲ得サヘスレバ直ニ出來ルノデアツテ、而モ大法案トシテ繼續委員ノ調査ヲ必要トスルト云フナラバ、政府カラ

恐クハ之ニ反對ヲスルヤウナコトハナカラウト思フ、今政府ニ向ツテ五十有一回ニ互ル所ノ議會ニ於テ、果シテ繼續委員ノ要求ガアツタカドウカ、繼續委員ノ要求ガアツタガ、ソレニ對スル政府ノ態度ガドウデアツタカト云フコトノ質問ヲシマシタケレドモ、マダ御調査ガ出來テ居ラヌサウデアリマスケレドモ、恐クハ之ニ對シテ議會ノ議ヲ以テカラニ、繼續委員ノ設置ヲ要求スルナラバ、政府ハ何ヲ以テ之ヲ拒ムコトガアリマセウ、ソレハ私ハチツトモ現在ノ議院法ニ於テ能率ノ向上スル上ニ於テ何等ノ差支ナイト思ツテ居ル、唯々政府ノ同意、政府ノ要求ヲ待ツテ繼續委員ヲ設ケルト云フ此法案ガ氣ニ入ラヌ、此條文ガ氣ニ入ラヌト云フコトデアリマヌナラバ、ソレハ別ニ考慮ヲ要スル餘地モアルカモ知レマセヌガ、現在ノ所ニ於テ貴方ノ御意見ヲ達スル上ニ於テ、何等ノ支障モ無ササウニ私ハ思ツテ居ル、專ロサウ云フ端ヲ啓ケバ却テ重大ナル案若クハ困ル議案ガ轉換シタ場合ニ於テハ、悉ク繼續委員ニ付シテ、議會ノ權能ヲ全ク無視スル、斯ウ云フヤウナコトガ出來テ、專ロ此能率ヲ阻止スルト云フヤウナ結果ヲ來スコトヲ私ハ慮レルノデアリマス、是ハ意見ニモナリマセウケレドモ、尙ホ一層提案者ニ於テ、切實ナル例及切實ナル必要ヲ、御示シ下サランケレバナルマイト私ハ思ツテ居リマス、
鷺野米太郎君

藏園委員

マアソレハ大シテ要求ハ致シマセヌ

鷺野米太郎君

私ハ藏園サント全ク反對ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今日ノ議會ノ情勢カラ云ツタナラバ、私ハ會期ヲドウシテモ長クセナケレバナラヌモノデアラウト存ジマスルケレドモ、是ガ爲ニハ、前申上ゲタヤウニ憲法ノ改正ト云フ問題ニ觸レナケレバナラヌノデ、吾々ガ此處デ論議ヲ挟ムベキモノデナイト思ヒマス、今日ノ三箇月ノ會期ハ恐クハ、ドナタモ私ハ十分ナル會期デアルト御認メニナラヌト思ヒマス、其三箇月ノ短イ會期デ、活動ノ期間ガ僅カ四十日乃至五十日シカナイ所ノ議會ヲシテ、會期ガ短キガ爲ニ十分ニ活動ガ出來ナイト云フ不便ヲ取除クニハ、憲法ノ改正問題ニ觸レズシテ此問題ノ解決ヲ爲スノニハ、二十五條ノ繼續委員ヲ十分ニ活用サセルヨリ外ニ途ガナイ、繼續委員ヲ十分ニ活用セシメヤウト思フナラバ、繼續委員ニ關スル規定ヲ改正シテ、議院自ラガ自由ニ是ガ活用ノ出來ルヤウニ規定ヲ改正スル必要ガアルト云フ趣旨カラ、本案ノ改正ヲ要求シ次第デアリマス、勿論或ル場合ニ政府ハ議會ノ要求ニ依テ、繼續委員ヲ設置スルコトニ同意スルデアリマセウケレドモ、議會ノ意思ト政府ノ意思ト相反スルトキニ、政府ガ同意シナカツタナラバ、繼續委員ノ設置ガ出來ナイヤウナ規定ノ儘デアルト云フコトハ、議會ガ政府ノ爲ニ始終拘束ヲ受ケルヤウナ關係ニ立ツノデサウ云フ見地カラ見マシテモ、此政府ノ同意ガナクツ

テハ繼續委員ノ設置ガ出來ナイト云フ規定ハ、改正シテ置ク必要ガ大ニアルト云フノデゴザイマス、兩面カラ私ハ考ヘタノデゴザイマス、ソレカラ又議院ノ職務權限ニ關係アル事項ハ、今ノ議院デアッタナラバ處理セシムルト云フコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ或ハ外交問題ニ付テ建議ヲスル必要ガアルカモ分ラヌ、或ハ又何カ重要ナル立法事項ニ付、施設ナリ或ハ行政組織ノ改善デアルトカ、地方制度ノ改革デアルトカ云フヤウナコトデ、議會ガ政府ニ對シテ建議ヲスルト云フヤウナ必要ニ迫ラレオヤウナ場合デアリヤシテモ、直ニ叱咤ニ議會ガ其意見ヲ轉メルヤウナコトガ出來ナイ際ニ、ソレニ付テ繼續委員ヲ設ケテ調査研究セシメテ、其繼續委員ノ報告ヲ次ノ議會ニヤツテ、ソレニ基イテ政府ニ建議ヲスルト云フヤウナ必要ガ、私無イコトハナイト思フデアリマス、ソレヤ此レヤ考ヘテ見マシテモ、現在ノ規定ヲ改正シテ、自由ニ繼續委員ノ設置ガ出來ルヤウニスルト共ニ、尙ホ議院ノ職務權限ニ關スル事項ヲ、閉會中ニ繼續委員ヲシテ調査研究セシムルト云フコトハ、目下ノ情勢カラ見テ私ハ非常ニ必要ナコトト思ヒマス、亞米利加ノ例ヲ取ツテ申シマスルト、亞米利加ノ憲法ノ性質ハ日本ノ憲法ト違ヒヤスルカラ、隨テ議會政治ノ運用ガ日本ノ議會政治ノ運用ト違フノデゴザイマス、ソレヲ持ツテ來テ直ニ日本ノ議會ノ活動情勢ヲ批評スルト云フコトハ、當ラヌ事モアリマスケレドモ、亞米利加ノ議會ガ五十五ノ大委員會ニ分レテ、或ハ外交委員會デアルトカ、決算委員會デアルトカ、歳入委員會デアルトカ、歳出委員會デアルトカ、海軍委員會デアルトカ、陸軍委員會デアルトカ云フヤウナ五十五ニ分レマシテ、始終活動シテ

居ル所ノ實際ナドカラ見マシテモ、日本ノ議會ト云フモノガ本當ニ活動ノ範圍ガ狭クテ、恰モ政府ノ豫算案及其他ノ法律案ニ對シテ、一ツノ諮問ヲスル機關ニ過ギナイヤウナ状態ガ私ハ非常ニ遺憾デアリマスカラ、此點カラ見マシテ繼續委員ノ活躍ト云フコトハ、將來憲法ノ改正ヲ見ナイ限りハ、一番重要ナ事ト思ハレマス、其爲ニハ二十五條ノ議院法ヲ改正シテ、自由ニ繼續委員ノ設置ガ出來ルヤウニシテ、且ツ議案ノ審査ノミナラズ、議院ノ職務權限ニ關スル所ノ處理ガ閉會中ニ出來ルト云フコトガ、最モ緊要ナ問題ト存ジマシテ、提案ヲ致シ次第デアリマス

志波委員

本案ハ議會ノ延長トモナリ、又政府ノ要求ヲ俟タズシテ、繼續委員會ヲ開クコトモ出來ルト云フ方カラ云ヘバ、吾々議員ノ權限ノ擴張トモ云フベキコトデ、非常ニ喜バシイ事デアルト思フデアリマス、大體ニ於テハ吾々異存ハ無イヤウニ思ヒマスケレドモ、モウ少シ此案ノ可否ヲ決シマスルニ付テハ、提案者ノ御意見ノ在ル所ヲ承ツテ置キタイコトガアルノデアリマス、ト云フノハ此繼續委員會ヲ設置スルト云フコトガ、單ニ議會ニ代ツテ諸案ヲ審査スル、サウシテ本會ニ報告ヲシテ決スル、慎重ニ慎重ヲ重ネテヤルト云フノガ目的デアルト思ヒマス、府縣ニ於ケル府縣會ニ代ル府縣參事會ト云フガ如キ、代決ヲスベキ性質ノモノトハ違フノデアリマシテ、詰リ審査ヲ過タナイヤウニ、短兵急ニ三箇月ノ間ニ決スルノハ過チヲ來スカラヤルト云フノガ最モ主タルモノデアラウト思フ、デアリマスレバ、現在ノ吾々ノ議會ニ於テ適切ニ

今直ニ繼續委員ノ必要ヲ感ズル點ガ、何レニ在ルカト云フコトヲ承ラナケレバ、單ナル將來ニ備ヘル爲メ
ノ此案デアルト云フコトダケデハ、少シク私等ハ考ヘルノデアリマス、提案者ノ趣旨ハ、今ハ左程必要ハ
ナイケレドモ、將來ニ備ヘル爲ニ此案ヲ出シタト云フ御意見デアリヤ、又今直ニ此繼續委員ヲ設ケナケレ
バ吾々ハ困ルト云フ趣旨カラ出タノヤラ、若シ左様ナ次第トスルナラバ、如何ナル點ガ現實ニ斯様ナ點ガ
困ツテ居ルデハナイカト云フ點ヲ、確ニ吾々ノ合點ノ行クヤウニ御話ヲ願ヒタイ、吾々ノ議會ニハ各政黨
ガ在ツテ其政黨ハ本部ヲ設ケテ本部ヨリ始終人ヲ派遣シテ、非公式デアリマスケレドモ、繼續委員ニ代
ルベキヤウナ事柄ヲ政府ニ對シテハ調査ヲシツツアルノデアリマス、ソレデハ不満足デアル、公式ニ繼續
委員ヲ設ケテ矢張調査シナケレバ満足ノ調査ガ出來ナイノミナラズ、此委員會デ調査シタ事柄ハ必ず各
政黨共ニ其調査ヲ満足シテ調査ノ趣旨ニ依テ政黨々々ハ各意見ヲ決スベキ、圓滑ニ行クベキ現在ノ事情
ガアルヤ否ヤ、或ハ此爲ニ紛糾シテ參ツテ、理想ハ宜シイガ實際ノ上ニ於テハ困難ナコトガ生ズル所ガ出
來ヤシナイカト云フヤウナコトヲ、色々憂慮スルノデゴザイマス、サウ云フ點ノ御考ヲ少シク承リタイト
思フ、要スルニ現在必要ガアルカ、將來ニ備ヘルノデアルカ、アルトスレバ是ハドウ云フ風ニナツテ行ク
カ、詰リ實際此頃ノ有様ヲ見テ、果シテ今日ヨリ備ヘル必要ガ實際何所ニ在ルカト云フコトヲ、的確ニ一ツ
御示ヲ願ヒタイ

警野米太郎君

志波サンニ御答申シマス、志波サンノ御話ノ通り縣參事會、又ハ市參事會ノヤウナ繼續委員ハ代決機關デ
アリマセヌ、若シ繼續委員ガ代決機關ト致シマスレバ、繼續委員ハ議會閉會中議會ニ對シテ意見ヲ決定シ
テ、ソレガ直ニ議會ノ意見トナルノデアリマスケレドモ、繼續委員ハ單ニ調査研究ヲシテ議會ニ報告ヲス
ルニ過ギナイノデアリマスルカラ、全ク代決ノ權能ハ無イノデゴザイマス、サウシテ私ハ將來ニモ特ニ備
ヘナケレバナラヌケレドモ、將來ノ必要ニ備ヘルダケデハナクテ、現在ノ情勢カラ參ツテ繼續委員ヲ活用ス
ルト云フコトノ大イニ必要ガアルト信ジテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ適切ニ例ヲ以テ述ベテ見ヨト仰
セラレマスルガ、ソレハ如何ヤウニモ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、例ヘバ茲ニ勞働法案ガ本議會ニ
提出セラレルサウデアリマスケレドモ、恐クハ私ハ議會ノ會期ガ、半バ過ギタ今日ニ勞働法案ガ衆議院
ニ提出ヲ見マシテモ、假ニ衆議院ニ於テハ可決致シマシテモ、貴族院ニ廻送セラレタナラバ、貴族院デハ
私ハ審議未了ニ終ツテ、其法案ノ運命タルヤ推シテ知ルベキデアラウト思ヒマス、若シ繼續委員ノ設置ト
云フコトガ自由ニ出來ルナラバ、貴族院ハ之ヲ繼續委員ニ付託シテ其審議ヲ十分ニセシムルコトガ出來
ルデアリマセウガ、政府ハ早ク議案ヲ通過セシメルト云フ所ノ必要カラ、貴族院ガ繼續委員ニ付託セシメ
ヤウトシテモ、政府デハ一氣呵成ニ其可決ヲ懇願ヲシテ、繼續委員設置ト云フコトニ恐ラク反對スルダラ
ウト思ヒマス、或ハ賛成スルカモ、分ラヌケレドモ、反對スル場合ガ多イダラウト存ジマス、サウスルト又
次ノ年ニ其案ヲ衆議院ニ提出シテ、又貴族院ニ廻付シナケレバナラヌヤウニナルノデアリマス、斯ウ云フ

實例が幾多モ前ニモアツタコト存ジマス、又將來モ起ルコト存ジマス、サウスルト繼續委員ニ之ヲ付託ガ出來ルナラバ、衆議院ノ手ハ一日通ツタモノデアルカラ、貴族院ノ繼續委員ニ付託シテソレヲ研究セシメテ、次ノ議會ニ於テ之ヲ報告セシメテ、サウシテ適當ニ之ヲ處理スルト云フコトガ出來ルナラバ、非常ナ私ハ議會ノ能率増進ニナルト存ジマス、關稅定率法ノ改正ヲ又例ニ取ツテ申シマスガ、關稅定率法ノ改正ハ實ニ杜撰極マル所ノ關稅定率法ガ出來タモノト存ジマスルガ、是ガ繼續委員ニ付託セラレテ一年間研究ヲ遂ゲタナラバ、私ハ今ノヤウナ各方面ニ非難ノアル所ノ關稅定率法ト云フモノハ出來ナカツタト存ジマス、又普選法ト致シマシテモ、アノ時ノ内外ノ情勢カラ云ヒマシタナラバ、有ユル犠牲ヲ拂ウテサウシテ曲リナリニモ普選法ノ成立ヲ見ナケレバナラス所ノ情勢デアリマシタカラ、アレヲ急イデ可決スルノガ當然デアツタト存ジマスルガ、若シサウ云フ情勢デナクテ、一步進ンデ、普選法ノ完成ト云フモノヲ期シマシテ、アレヲ貴族院ノ繼續委員ニ付託スルト云フコトヲ政府ガ同意致シマシテ、十分ナ審議ヲ遂ゲタナラバ、今諸君ノ間ニ於テ疑義ヲ挾ンデ居ルヤウナ疑義ハナクテ、完全ナル選舉法ト云フモノガ成立致シタト存ジマス、其他例ヲ申シテ述ベヨト云フナラバ幾多モアルノデアリマス、併シ法律案ノヤウナモノハ緊急ト云ヒマシテモ、サウ外交問題ノ處理デアルトカ、突發的ニ起ツタ所ノ色々ノ行政問題ノ處理ト云フヤウニ、サウ緊急ト云ヒマシテモ刻一刻ヲ爭フヤウナ緊急ナモノデハアリマセヌカラ、志波サンノ御話ノ緊急ノ必要ガ何レニ在リヤト云フ點ガ、若シ左様ナ外交問題ノ處理デアルトカ、サウ云フヤウナ政

治問題、行政問題ノ處理ノヤウナ緊急ナ問題デハナイノデアリマスルケレドモ、繼續委員ニ付託スルト云フ必要ノ場合ハ幾ラデモアルダラウト存ジマス、若シ私ノ申上ゲタ點ガ足りナイト思召スナラバ、尙ホ重ネテ御質シテ御願申上ゲマス

青木委員

先ヅ政府ニ私ハ伺ヒタイノデスガ、議院法二十五條ノ繼續委員ニ關スル規定ニ對シテ、政府ノ要求又ハ同意ヲ經テ云々トアルノデゴザイマスルガ、政府ハ此法律ヲ運用スル上ニ於テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、今迄此箇條ハ運用サレタコトガナイノデアルケレドモ、今後必要ナル場合ニ於テ、例ヘバ今提案者ノ説明ノ中ニ引例セラレテ居ル所ノ衆議院議員選舉法トカ、或ハ勞働組合法トカ云フヤウナコトデ、政府ハ必要ト認メタ場合ニ於テハ、同意又ハ要求ヲ爲サル御意思ガ有ルカ無イカト云フコトヲ伺ヒタイ

山川政府委員

御答シマスガ、議院法ノ二十五條ニ於キマシテ、繼續委員ヲ設ケ得ルト云フ規定ニナツテ居リマス、無論政府ノ同意又ハ政府ノ提案ニ依ルト云フコトデアリマスガ、其事ニ付テ假ニ或ル法案ニ付テ繼續委員ヲ設ケタイト云フ議員ノ御希望ガアリマシタ時ニ、政府ハソレニ同意スルカドウカ、ドウ云フヤウニ考ヘルカト云フ御質問ノヤウニ拜承致シマシタ、此二十五條ノ規定ガアリマスカラ、必要ナ場合ニハ無論繼續委

員ヲ置クト云フコトモ起ルベキコトデアルト思ヒマス、唯各個々ノ問題ニ付キマシテ、其法律案ナラ法律案ノ審査ノ上カラ之ヲ繼續委員ニ付議スル必要ガアル、或ハ之ヲ付議スル方ガ有利デアルト云フ其認メ方ヲ各個々ノ法案ニ付テ見ネバ、一寸抽象的ニ茲ニ御話スル譯ニハ參リ兼ねマス、其場合ニ迫リマシテ、是非共是ヲ繼續委員ニ付議スル方ガ宜シイ、或ハ其必要ガアルト云フコトニナリマスレバ、政府ハ之ニ同意シナイト云フコトハ無論ナイト思ヒマス、併シ豫メ斯ウ云フ問題ニ付テ繼續委員ヲ開クカモ知レナイガ、其時ニ同意スルカト云フ抽象的ノ質問デアリマス、只今トシテハソレハ御答ヲ致シ兼ねル次第デアリマス、全ク其場合ニ付テ研究ヲシテ見ナケレバナルマイト考ヘテ居リマス

青木委員

提案者ニ御尋ねスルノデアリマスガ、此改正案ハ二十五條ニ於テ「政府ノ要求又ハ其同意ヲ經テ」ト云フコトヲ削除ヲ致シテ、議院ガ自由ニ出來ルヤウニ改正シタイト云フノガ目的ノヤウニ見受ケラレマス、サウシマスト成程議院ガ繼續委員會ヲ開クト云フコトガ自由ニナリマスレバ、多數ヲ以テ此案モ重要ダカラ繼續委員、此案モ重要ダカラ繼續委員ニ付託スルト云フヤウニナツタナラバ、事實ノ會期三箇月ト云フコトガ破ラレテ、一年中議會ニ於テ委員會ヲ開クト云フヤウナコトニ陥ラヌトモ限ラヌノデアリマス、サウシタナラバ收拾ガ付カナイコトニナリハセヌカト思フ、繼續委員ト云フコトハ、今日マデモ之ヲ用ヒタコトガナイ位デアツテ、餘程重要ナ事項デナケレバ用ヒルコトハ爲シ得ザルモノト私モ信ズルノデアリ

マスガ、會期ガ短イカラシテ、ソレヲ補フ意味ニ於テ云々ト云フ提案者ノ御説明ハ、ドウモ此二十五條ノ上ニ解釋セラルルコトニ於テハ、聊カ諒解シ難イ點ガアルノデアリマス、サウ議員ガ自由ニ之ヲ開クト云フコトガ私ハ如何ト思フ、ソレニ伴フ豫算關係等モアリ、政府トノ交渉關係等モアツテ、議員ガ此箇條ヲ改正シテ、議員ガ自由ニ開キ得ルト云フヤウニスルト云フコトハ、ドウモ少シ勝手ナ改正案デハナイカト思フノデゴザイマスガ、ドノ程度マデ提案者ハ此繼續委員ト云フコトヲ實質ニ於テ活用シヤウト云フ御考デアルノデアリマスガ、其點モモウ少シ、ハツキリ御説明ヲ御願ヒシタイノデアリマス

鷺野米太郎君

青木サンニ御答致シマス、私ノ考ハ間違ツテ居ルカモ分リマセヌガ、恐ラクハ間違ナイト思ヒマス、常任委員ニ付議シナケレバナラヌ又關係ノ豫算案其他ノモノハ、勿論青木サンモ御承知下サルコトデアリマセウガ、繼續委員ニ付議スベキモノデハアリマセヌ、又豫算案ノ如キハ事ノ性質上カラ致シマシテ、審議期間モ決ツテ居リマス關係カラ、繼續委員會ニ付託スベキモノデハナイノデアリマス、其他ニモ案其モノノ性質カラ致シマシテ、常任委員ニ付託セラルベキモノハ、全部繼續委員ニ付託ハ出來ナイノデゴザイマスカラ、ソレデ繼續委員ニ付託スベキモノハ、特別委員ニ付託ノ出來ル關係ノ案件ノミデゴザイマス、サウシテ又其中デモ青木サンノ申サレタヤウニ、最モ重要ナ審議ガ容易ニ出來ナイヤウナ關係ノモノデナケレバ、私ハ繼續委員ニ付託ハ出來ナイコトト思ヒマス、ソウ致シマスカラ、一年中ブツ通シテ議會ガ開カレタヤウ

ナ状態ニアリハセヌカト申サレタノデアリマスガ、ソレ程ノコトハ私ハナイト思ヒマス、併ナガラ私ノ理想ヲ申上ゲマスナラバ、議會政治ト云フモノハ、青木サンヤ其他政友會ノ方々ハ非常ニ努力シテ、本當ノ議會政治ノ運用ヲセヤウト御努力ヲナサツテ居ラルト思ハレマスガ、サウ云フ意味カラ致シマスレバ、私ハ英國ヤ亞米利加ヤ其他ノ諸國ト同様ニ、少クトモ一年中半分ハ議會ガ開カレタヤウナ状態ニナツテ、議會ハ自由ニ活動ノ出來ルヤウナ状態ニアルト云フコトヲ、私個人トシテハ希望シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ私ハ三箇月ノ會期ハ動かスコトハ出來ナイケレドモ、出來ルナラバ成ベク多クノ仕事ヲ繼續委員會ニ與ヘ、サウシテ繼續委員ニナル所ノ方々ハ、各派ヲ代表シテ居ル優秀ノ人ガ之ニ當ツテ、サウシテ各派ノ政務調査會カラ持寄ツテ來テ、議院ノ意見トシテ重要ナ案件ニ對スル意見ヲ議會閉會中ニ決定スル所マデ行ツテモ私ハ善イコトト思ツテ居リマス、併ナガラ此點ハ此繼續委員ノ運用ノ問題ニナリマスカラ、私ガ斯ウセナケレバナラヌトカ、アアセナケレバナラヌト云フコトダケデ、是ガ決定セラルベキモノデナイト思ヒマス、私ノ提案ノ理由ヲ説明スルニ方リマシテハ、私ハ主トシテ憲法及議院法ノ運用關係ノ法律問題ダケデ私ガ申上ゲテ居ルコトデアリマスケレドモ、事實議會ノ活動ハ、一年中活動スル必要ガアルノデアリマス、外交問題ニ付テモ、其他ノ問題ニ付テモ、議會ガモツト意見ヲ決メテ、政府ニ對シテ指導ノ立場ニ立チ、政府ヲ鞭撻スル立場ニ立タナケレバナラヌト云フ意見ガ國民ノ方ニ起リ、議會ノ方ニ起ツテ參リマスレバ、今ノ議會ノ狀態デハ私ハイケナイト思ヒマス、繼續委員ノヤウナモノヲ活用セナケレバ、各

問題ニ付テ徹底的ノ意見ヲ立テルコトガ出來ナイノデアリマス、サウシテ議會ハ議會ノ立場カラ、國民輿論ヲ反射スル立場カラ、相當ノ研究ヲ要スルモノデハナイカト思ヒマス、最近新聞紙上ノ論說ナンカニモ議會ガ外交問題ニ付テ非常ニ閉却シテ居ルヤウナ鞭撻的ノ意見ヲ、相當幾ツカノ新聞で見タノデゴザイマスガ、私ハ直ニ繼續委員ニ外交問題ノ調査ヲ付議スルノガ必要デアルトハ申シマセヌケレドモ、相當ニ考ヘラレル所ノ餘地ガアリハセヌカト思ヒマス、併ナガラ此問題ハ私ガ本案ノ提出ノ理由ノ説明ノ材料ニ致スノデハアリマセヌガ、繼續委員ノ設置ガ自由ニ出來ルヤウニ致シテ置イタナラバ、將來繼續委員ノ活用に云フモノガ議會ニ自由ニ出來テ宜クハナイカト云フ説明ノ材料ニハナルダラウト思ヒマス

青木委員

ドウモ提案者ノ御説明ガ、此改正案ト離レテ御考ヘニナツテ居ルヤウデ、改正案ニモ委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシメル、繼續委員ヲ開クカラニハ、一定ノ議案ニ依テ繼續委員ガ組織セラルベキ筈ノモノデアルト私ハ思フノデアリマス、然ルニ外交ノ問題等ト云フコトヲ類ニ力説セラレマスケレドモ、貴方ハドウモ政務調査ト云フヤウナコトト、繼續委員ト云フヤウナコトヲ混同シテ御考ヘニナツテ居ラレルノデハナイカト思フ、言フマデモナク各政黨ニ於テハ常時政務調査會ヲ開イテ、政府カラ材料モ出來ルダケ取ルヤウニシ、其他ノ方法ヲ以テ材料ヲ集メテ、サウシテ内治、外交、軍事、總テノ調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、其意味ト繼續委員ノ意味トハ全ク違フト思フ、特定ノ議案ニ付テ繼續委員會ヲ開イテ審査ヲスルト云フ

コトガ、此改正案ノ改正條項ニ現ハレテ居ルノデゴザイマスカラ、サウ理想的ナ豫算委員會ヲ始終開イテ居ルヤウナ意味デ、政務百般ニ付テ審査スルト云フヤウニ御考ヘニナルノデハ、此繼續委員ト云フモノノ性質ト離レハセスカト思フ、其點ヲ重ネテ御尋ネ致シマス

鷺野米太郎君

御答致シマス、ソレハ「又ハ議院ノ職務權限ニ關係アル事項」ト云フ所ノ説明ニナルノデアリマスカラ、ドウゾ議案ニ付テ御目ヲ通サレンコトヲ願ヒマス

青木委員

是ハ新シク提案者ガ此ニ入レタル改正案デゴザイマスガ、「議院ノ職務權限ニ關係アル事項」ヲ處理セシム「サウシテ其提案ノ理由書ヲ見ルト云フト、建議事項、質問事項、立法事項、色々ナ事ヲ此ニ羅列シテ説明サレテ居ルノデアリマス、全クソレデハ政務調査ノ性質ニナツテシマフノデアリマス、サウシテ議院法來議院規則ニ於テモ、建議ノコト、質問ノコト、上奏ノコト、法律案提出ノコト、總テ規定サレテ居ルノデアツテ、ソレ等ノ改正案デモ拵ヘル一ツノ機關ノヤウニモ此理由書デハ讀マレルノデアリマス、ドウモ私ハ「又ハ議院ノ職務權限ニ關係アル事項」ヲ處理セシムル」ト云フコトガ、法律ノ條文トシテ私ハドウシテモ解シ兼ねルノデアリマスガ、貴方ハドウモ非常ニ大キナ期待ト理想ヲ繼續委員ニ持タシテ居ルヤウデアリマスケレドモ、ソレニハ改正案ト云フモノハ意ヲ盡シテ居ナイト思ヒマス

鷺野米太郎君

御答シテ宜イカドウカ知リマセスケレドモ、御答致シマス、私ハ自分ノ意見ガ總テ眞理デアルトハ申シマセヌ、ソレデ教ヲ垂レテ下サレルナラバ喜ンデ御受ケ致シマスガ、青木サンノ先程ノ御質問ニ對シテ申上ゲタコトハ、實ハ議案審査ニ付テデハナクシテ、私ガ外交問題ト假ニ申シタノハ、議員ノ職務權限ニ關係アル事項ト云フ中デ申シタノデアリマスカラ、ソレデ議案ノ御覽ヲ願ヒタイト申シタノデアリマス、サウシテ實ハ議院ノ職務權限ニ關係アル事項ヲ處理セシムルト云フコトハ、随分廣イコトニナルノデアリマス、併ナガラ繼續委員ガ實際ニ於テ活動スル場合ハ、議會ガ或ル特定ノ事項ヲ定メテ、此事項ニ付テ處理セヨト云フコトヲ決定シナケレバ、繼續委員ハ勝手ニ議院職務權限ニ關スル事項ナレバ何デモ調査研究ヲスルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ繼續委員ノ性質カラ、當然廣クドンナ範圍ニデモ互ルコトハ出來ナイノデアリマス、但シ今度置クベキ所ノ繼續委員ニ外交問題或ハ内政問題ノ總テニ互ツテ、ドシナ事デモ勝手ニ調査研究セヨト云フ權限ヲ決定シテ與ヘタナラバ、其與ヘタ範圍内ニ於テハ何處マデデモ廣ク行ヘルモノデアリマス、斯様ニシタノハ、活用ガ自由自在ニ出來ルト云フコトヲ希望致シタノデ斯様ニ致シタノデゴザイマス、其實際ニ設置サレタ繼續委員ガドノ範圍マデヤルカハ、議院ノ決定ニ依ツテ爲スベキモノデアルト云フコトハ、本會議デ提案理由説明ノ際ニモ申上ゲテ置イタ筈デゴザイマス、此文句ハ實ハ相當ニ人ノ意見モ聽キマシタシ、或ル議員ノ意見モ求メマシタシ、學者ノ意見モ求メマシタ、文句

ハ市參事會對市會ノ關係ニアル所ノ、市會ノ職務權限ニ屬スル事項ヲ市參事會ガ代決スル所ノ文句ヲ用語トシテハ取ツテ參ツタノデアリマシテ、決シテ不當ノ文句デモゴザイマセヌ、ソレカラ青木サンノヤウニ御考ヘ下サツテ、色々ト教ヘテ下サルノハ甚ダ結構デゴザイマスガ、實ハ私ノ意見ガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、私ハ本當ニ議會ガ中心トナツテ、國民ノ意見ヤ理想ヲ反映シテサウシテヤツテ行クモ、ドウシテモ議會ノ働ク範圍ト働ク力ガ廣クナケレバナラヌト思ヒマス、勿論是ハ現在ノ憲法ノ範圍内ニ於テ、考ヘテ居ルノデアリマスガ、其現在ノ憲法ノ條章ノ範圍ニ於テ、議會ノカラ擴ゲラレルダケ擴ゲルヤウニシテ、拘束ニナル所ノ規定ガアルナラバ、總テ其拘束ヲ解クト云フコトガ私ノ考デゴザイマスカラ、サウ云フ意味カラ此議院法第二十五條モ改正案ノ如ク改正シテ置クト云フコトガ、現在ノ事情カラ云ツテモ、亦將來ノ必要カラ申シテモ緊要デアルト思考致シマス、ソレカラ先日佛蘭西ト亞米利加ノ例ヲ取ツテ申上ゲマシタガ、佛蘭西デハ改選ニナリマシタ議會ノ劈頭ニ於テ、十九ノ常任大委員會ヲ選舉スルノデゴザイマス、ソレハ行政委員、外交委員、農事委員、陸軍委員、豫算委員、商工委員、其他サウ云フヤウナ十九ノ大委員會ニ分レテ、是ガ議會ノ活動ノ根幹ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ亞米利加ノ例ヲ先日モ申上ゲ、只今モ申上ゲマシタガ、ソレモ矢張改選後ノ議會ノ劈頭ニ於テ五十五ノ委員會ヲ設ケマス、是ハ外交委員會、陸軍委員會、海軍委員會、歳入委員會、歳出委員會、司法委員會、銀行委員會、商船委員會其他ノ澤山ノ委員會ニ分レテ居ルノデアリマス、私ハ亞米利加ヤ佛蘭西ノ例ヲ持ツテ來テ、直ニ日本デ

モ斯ウ云フ風ニヤラナケレバナラヌト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、國ノ性質ト憲法ノ根本問題ガ違ツテ居リマスカラ、直ニ之ヲ持ツテ來テヤレト云フコトハ申シマセヌ、亞米利加トカ佛蘭西ハ議會ガ總テノ政治ノ中心デアツテ、憲法ガサウナツテ居ルノデ斯様ニナツテ居ルノデアリマスガ、然シ多少ナリトモサウ云フコトヲ參酌シテ、議會ノ活動ノ範圍ヲ擴メラレルダケ擴メルト云フコトガ、日本ノ現状カラ見テ必要デアラウト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルノデ、斯様ニ提案ヲシテ居ル次第デアリマス、又私共ノ同僚ノ武藤山治氏モ、多少私ノ考トハ違フノデアリマスガ、議會ノ能率ヲ増進スル上カラ云ツテ、繼續委員ノ設置運用ヲ見ルコトノ必要ヲ痛切ニ感ゼラレテ居ルヤウデアリマス、此點ハ尙ホ非常ニ研究ヲ要スル問題デアリマス、私ハ外交問題ト云ヒマシタケレドモ、外交問題ヲ直ニ繼續委員ヲシテ調査審議セシムル爲ニ、議院ガ決議シテ付託セヨト言フノデアリマセヌ、議會ノ職務權限ニ關係アル事項ト云フ中ニハ、外交問題ニ付テ議會ガ上奏ナリ或ハ政府ニ建議スル必要ガアルカモ分ラナイ、サウ云フ時ニ直ニ立案スルコトガ出來ナイ、直ニ立案シヨウト思ツテモ意見ガ定ラヌノデ、次ノ議會ヲ待タナケレバナラヌ、ソレデ對支問題、對米問題、對露問題、其他ノ問題ニ付テ繼續委員ニ意見ヲ決定セシメテ、サウシテ次ノ議會ニ於テ、政府ニ建議スルト致シマシテ、サウ云フ際ニハ之ヲ活用セシムルガ一番善イ、ソレデ斯ウ云フヤウニ議院ノ職務權限ニ關係アル事項ト云フコトヲ新ニ加ヘテ、繼續委員ノ活動ノ範圍ヲ常非ニ擴メルヤウナ改正案ヲ要求シタノデアリマス、勿論是ハ非常ニ研究ヲ要スル問題デアル、議院ノ職務權限ニ關係アル事項ヲ處理

セシムルト云フコトが何處マデモ合理的デアツテハモウ間違ナイ上私ハ申シマセヌ、皆ウシガ改良イ制
考ガアツテ、此二十五條ノ規定ヲ完全ニシテ職クコトガ出來ルナラバ御研究下サツテ、私ノ提案ノ文句ガ
惡イナラバ修正ヲシテ戴イテ、此二十五條ノ完璧ヲ期セラレルヤウニ私ハ御願申ス次第デゴザイマス、

高木委員

衆議院デ可決シテ、貴族院ニ案ガ渡ツテ、會期満了ノ爲ニ途ニ其法律ガ出來上ラナイモノガアル、又是
反對ニ貴族院ノ方カラ衆議院ノ方ニ案ガ廻リマシテ、矢張會期ガ無イ爲ニ途ニ可決ニナラズモノガアリ
マス、其件數ヲ御示シテ願ヒタイ、是ハ例ヘバ數日前ニ可決ニナリマシタ會計士、名前ハ今度ハ變ツテ居リ
マスガ、世間デハ會計士ト云ツテ居ルハ此會計士ニ關スル法律案ヲ知キハ、七回吾ガ提案ヲシテ、漸ク今
回政府ガ政府案トシテ提出シテ衆議院ハ通ツタ、此御提案ノ趣意ハ、矢張能率増進ニアルノデアリマス、
今日ノ時代ハ議員ベカリデハナイ、總テ勉強シナケレバナラヌ時代デアル、其勉強シタ結果ヲ成ベク有效
ニ利用スルト云フコトガ當然デアルノニ、國民ノ聲ト云フモノガ、衆議院ニ案ヲ急、法律案ナラ法律案ニナ
ツテ、衆議院ダケヲ通ツタカラ續シヤト想マト云フト、貴族院へ行ツテ虐殺サレテシマフハ何デアルカト
云ヘバ、會期満了ノ爲デアル、コンナ馬鹿氣々事ガアルモノデハナイ、只今提案者カラ御話ニナツタ亞米
利加ナリ佛蘭西ナリ其他ノ議會ノ有様カラ見ルト、實ニ遺憾ナ事デアル、勿論議員其者トシテハ身命ヲ賭
スル位ニ、山口君ノ如キ勉強シテヤツテ居ル、世間カラ彼是レ評スルケレドモ、局ニ當ツタ者トシテハ、

十分ニ精カラ盡シテカ、ツテ居ル、ケレドモ周圍ノ制度ガ惡イ爲ニ、マルデ身體ヲ持ツテ行ツテ巖石ニ打
突ケルヤウナ工合ニ何ニモナラヌヤウナコトガ多イ、之ヲモウ少シ有效ニセシムルト云フコトニ付テハ、
餘程議員ハ考ヘナケレバナラヌ、ソコデ此條文ニ「議院ノ職務權限ニ關係アル事項ヲ處理セシムルコトヲ
得」ト書イテアツテ、處理スルト云フコトニナルト、非常ニ權限ガ廣ク見エマスケレドモ、要スルニ御提案
ノ趣意ヲ能ク伺ツテ見ルト、下調ベラスル、下審査ラスルノデアル、斯ウ云フノデアリマスカラ、是ハ議案
ノ成立ノ上ニ宜イ事デアラウト私ハ思フ、ドウカ斯ウ云フヤウナ事ハ一刻モ早く成立セシメタイト思フ
ノデアリマスガ、ソレニ付キマシテ國民ノ代表機關タル衆議院デ可決シタモノガ、貴族院ニ行ツテ成立セ
ズニシマフ、或ハ偶、貴族院ノ方カラ衆議院ニ送ツタモノガ、遂ニ會期満了ノ爲ニ審査未了ニナルト云フ實
例ヲ二十三年以來ノ統計ヲ一ツ出シテ見タイ、是ト政府ノ方カラ出シタモノハ百分ノ中ノ九十幾ツマデ
ハ通ル、民間カラ出シマシタモノハ百分ノ中九十幾ツマデハ通ラナイ、是ハ官民ノ間ニ色々ノ衝突ヲ起シ
テ、餘程立憲政治ノ上ニ於テ面白クナイ事デアラウト思ヒマスカラ、兩方カラ統計ヲ取ツテ戴イテ、政府
ノ出シタモノハドノ位通り、民間カラ出シタモノハドノ位通ラナカッタカ、或ハ通ツタカト云フヤウナ表
ヲ御提出アランコトヲ望ミマス

横山委員

繼續委員會ヲ議會開會以來幾回開イタコトガアルカ、サウシテ繼續委員會ト云フモノハ政府ノ要求ニ依ツ

タモント、議院カラ政府ノ同意ヲ得タモノト、之ヲ區別シテ御示ヲ願ヒタイ、ソレカラ序ニ政府ヲ要求シ
謝々場合ハ別デゴザイマスガ、議院カラ要求ヲサレテ不同意ヲ唱ヘタ場合ニ、繼續委員會ガ成立シナカッタ
ルガアルカ

山川政府委員

只今ノ調査ノコトハ、第一點ハ政府提出ノ法律案ガ一院ヲ通過シテ他院デ留ツタモノガアルカ無イカ、ソ
レヲ調べル、ソレカラ議院ノ方カラ御提出ニナツタ法律案ガ、一院ヲ通過シテ他院ヲ通過シナカッタ、其
數ヲ調べロ、斯ウ云フ風ニ諒解シテ宜シウゴザイマスカー、ソレカラ横山君ノ御申出ハ繼續委員ハ今マ
デ私ノ記憶デハ設置ガ無カッタト思ヒマス、唯、先程藏園君ノ御話ノ通り、繼續委員設置ノ請求ガアツタ
場合ニ、政府ガ拒絕シタヤウナ事例ハ無イカ、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ調べテ後デ差上ゲルコ
トニ致シマス

黒住委員長

十二時ヲ越シマシタカラ、今日ハ此程度ニ致シマス、一寸御語り致シマスガ、今高木サン、横山サン、藏園
サンノ三名カラ御要求ニナツタ事モアリ、政府モ御調べニナラナケレバナラヌト思ヒマス、午後ハ開カズ
ニ、其材料ガ來テカラ進行スルコトニ致シタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス

三月一日

黒住委員長

今ヨリ開會シマス、鷲野君外一名提出ニ係ル議院法中改正法律案委員會ノ續キヲ開キマス

藏園委員

本案ノ議事ヲ進ムル上ニ於キマシテ、書記官長ノ出席ヲ求め、而シテ本案ニ付テハ、貴衆兩院ノ事務局ニ
於テ審査ノ上相當成案ノアルコトヲ承ツテ居リマスカラ、之ヲ當委員會ニ於テ一應説明ヲ承ツテ見タイ
ト思ヒマス

黒住委員長

出席ヲ求めルノハ衆議院書記官長デセウネ

藏園委員

サウデス

黒住委員長

藏園君ノ要求ハ如何デスカ

黒住委員長

左様計ラヒマス、早速衆議院書記官長ノ出席ヲ求メマス、書記官長出席ノ上質疑應答ハ御ヤリニナルデア
リヤセウガ、其間本案ニ關シテ提案者ニ對スル質問ハアリマセヌカ

藏國委員

改正法律案中二十五條ノ「又ハ議院ノ職務權限ニ關係アル事項ヲ處理セシムルコトヲ得」此問題ハ從來
ノ議院法中ニ未ダナイ、新ニ挿入サレタル改正案デアリマス、提案者タル鷺野君ノ御説明ヲ承リマス、
外國ノ事例ヲ大分詳細ニ御引用ニナリマシテ、外交或ハ其他議院ニ關スル事項ヲ研究シ、調査シ、又處
理スルト云フ意味デアルヤウニ承ツテ居リマス、所ガ外國ノ憲法ハ、御承知ノ通り議院ハ自主的權能ヲ有
スルモノデアルカラシテ、サウ云フ常設的ノコトモ出來ヤウト思ヒマス、併ナガラ我國ノ議會ハ不繼續ヲ
以テ原則ト致シテ居リマスカラ、繼續中ニ於テノ議院職務權限ト云フモノハアルモノト思ハナケレバ
ナラス、然ルニ此議院ノ職務權限ニ關係スル事項ヲ、常設的ニ處理スルト云フコトハ、我國ノ憲法ノ上カ
ラ見テ、ドウシテモ穩カナラヌ條項デアルヤウニ一應考ヘラル、次第デアリマスガ、政府委員ノ御考ヲ承ツ
テ見タイト思ヒマス

山川政府委員

御質問ニ御答致シマスガ、鷺野君ノ御提案ノ二十五條ノ後段ノ方ノコトニ付キマシテ、私ニハマダ能ク御
提案ノ趣意ヲ吞込メナイ點モアルヤウデアリマスガ、此文章ヲ拜見致シマス、非常ニ廣イ意味ノコトヲ

御規定ニナルヤウニ思ハレルデアリマス、或ハ普通ノ議會以外ニ、特ニ小サナ議會見タヤウナモノヲ御
造リニナルト云フヤウナコトヲナリハシナイカト思ハレルヤウナ、廣イ文句ノヤウニ拜見サレルノデア
リマス、先日御説明ヲ承リマス、或ハ其處マデ御定メニナルト云フ御趣意デナイカトモ思ハレル、ソレ
カラモウ少シ外交上ノ問題等ニ付テ、議會ガ閉會中ニ、斯ウ云フ特別ノモノヲ造ツテ、政府ヲ監督スルト
云フヤウナ御意味御趣意ノヤウニモ拜聽致シマシタ、若シサウ云フヤウナ意味ニナリマス、是ハ大分問
題デヤナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ憲法ニ於キマシテハ、外國ト違ヒマシ
テ、會期不繼續ト云フ制度ヲ採ツテ居ル、サウシテ唯極メテ少イ例外ト致シマシテ、議案ノ審査ノ繼續委員
ヲ設ケテ、閉會中ニ行ハシメ得ルト云フコトダケヲ今認メテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテ、會期
ハ不繼續ト云フ原則デアリマス、佛蘭西其他サウ云フ大陸ノ國デハ、會期不繼續ト云フコトハナクシテ、
會期ハ繼續スルト云フ主義デ進ンデ居ルヤウニモ承ツテ居リマスガ、國ニ依テ是ハ色々違ツテ居リマス
カラ、一概ニ外國ノ例ヲ直グ持ツテ來ル譯ニハ參リマセヌケレドモ、若シ此提案ニアルヤウナ意味ニ致シ
マスレバ、ドウモ議會閉會中ニ、議會ニ代ルベキ職務權限ヲ行ハシムル一ツノ組織ヲ造ル、サウスルト議
會ノ外ニ小サナ議會ヲ常設的ニ設ケルト云フヤウナ御趣意ニナリハシナイカ、サウスレバ一寸議院法ダ
ケノ改正ノ問題ニ止マラヌノデハナイカト云フ風ニモ考ヘテ居ル次第デアリマス

藏國委員

提案者ニ一應承リマスガ、今ノ法制局長官ノ御意見ト私共ハ略同様ナ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サ
ウシマスト云フト、日本ノ此議會不繼續ノ原則トスルト云フ上カラ言フト、如何ニモ是ハ不穩當デアルト
思フノデアリマスガ、併ナガラ假ニ其範圍内デ爲シ得ルコトトシマスト云フト、本當ニモウ現在事務局デ
取扱ツテ居ルヤウナ、事務的處理ノ外ハ不可能カト思ツテ居リマス、此點ニ關シテ尙ホ今書記官長モ御見
ユニナラウト思ヒマスカラ、ソレマデノ間ニモウ一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

監野米太郎君

御答申上ゲマス、會期ノ繼續不繼續ノ問題ハ、日本ニ於テハ議論ハナイノデゴザイマス、議院法ノ第三十五
條デ「帝國議會閉會ノ場合ニ於テ議案建議請願ノ議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス」ト規定シテアリ
マスカラ問題ハナイノデアリマス、唯但書ノ「第二十五條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス」デ、繼續委員ヲ
シテ議案ヲ審査セシムル場合ニ限ツテ議案ガ始メテ繼續スルノデゴザイマス、先程山川長官ノ御話モゴザ
イマシタガ、職務權限ニ關スル事項ヲ處理セシムルトアリマスケレドモ、左様ニ廣汎ナ、而モ決定的ノ權限
ヲ持ツテ居ルモノヲ置クト云フ考デアリマセヌ、志波君ノ御質問ニ對シテデアリマシタカ、其時ニモ申
シマシタガ、又本會議ニ於ケル説明ノ際ニモ、明ニ左様ナ廣イモノデナク、又意思ノ決定ヲ爲ス所ノ性質
ノモノデハナイト云フコトヲ申上ゲタ考デアリマス、從テ意思ノ決定ヲ爲ス所ノ權限ガナイトシマシタ
ナラバ、事實上ハ兎モ角トシテ、法律的ニ之ガ政府ヲ監督スルノ地位ニ立ツコトハ決シテ出來ナイト思ヒ

マス、ソレカラ又佛蘭西其他大陸ノ憲法ノコトハ、私ハ餘リ詳シクハ存ジマセヌケレドモ、大體大陸ノ憲
法ノ議論トシテハ、定説トシテハ——新シイ今ノ憲法ニ依テハドウカ知レマセヌケレドモ、古イ憲法ノ定
説トシテハ、會期ハ不繼續ノモノダト云フ原則ノ下ニ學者ガ説明シテ居ツタヤウデアリマス、唯會期ハ不
繼續ダト云フコトハ、ソレナラバ何方理窟ガアルカト言ヒマシタナラバ、ソレハ多分豫算ノ審議ト云フコ
トガ事實何時マデモ引延ベテヤルコトガ出來ナイカラ、——議會ト云フモノハ豫算審議ノ爲ニ最初起ツ
タモノデアルカラ、會期ガ不繼續ト云フヤウナ原則ハ、其處カラ現ハレテ來タモノデハナイカト思ヒマ
ス、特別ノ規定ガナイ限りハ、會期ハ繼續スルヤラ不繼續スルヤラ實ハ分ラヌモノデゴザイマスケレド
モ、日本デハモウ先程申上ゲマシタヤウニ、會期ハ不繼續ノモノデアリマス、此會期不繼續ノ原則ノ範圍ノ
内ニ於テ、二十五條ヲ修正シテ、會期ハ不繼續デアルケレドモ、二十五條ヲ修正シテ、今ノ二十五條ノ規定
ヨリモ尙ホ廣イ範圍ニ於テ議院ノ活動ヲ延長シヤウト云フノガ此案ノ提案ノ骨子デアリマス、第一段ノ
所デハ、政府ノ要求ニ依リ又ハ同意ヲ經テト云フ文句ヲ除キマシテ、第二段デ職務權限ニ關スル事項ヲ處
理セシムルコトヲ得トシテ、新ニ繼續委員ニ對スル權限ヲ法律ノ改正ニ依テ與ヘヤウトシテ居ルハデア
リマス、皆様ハ先日來私ガ申上ゲマシテモ、色々ト先入主ニナツタ御考ヲ持ツテ居ラル、カラ、能ク御諒
解下サラナイヤウニ考ヘラレマスルガ、私ノ職務權限ニ關スル事項ト書イテアルノハ、憲法ノ解釋ノ本ヲ
御覽下サツタナラバ明ニ分ルノデ、皆様御承知ノコトデアルカラ繰返シテハ申シマセヌデゴザイマシタ

が、能クモウ私ガ申サナクテモ御分リノコトヲラエト存ジマス、サウ云フヤウナ事柄ガ申サテクテモ宜ト
 ト思フテ今日マデ詳シクハ申上ゲマセヌデシタガ、職務権限ニ關スル事項ノ中ニ藏園氏ハ今實際問題ト
 シテ、繼續委員ト爲シ得ルモノハ事務局ヲ爲ス事務的ノ處理以外ノコトハ出來ナイトノ御話デアリヤシ
 タケレドモ、是ハ誤解デアリマセウ、繼續委員ト云フモノハ議院ノ事務的處理ヲ爲スベキ性質オモノデハ
 斷ジテアリマセヌ、勿論事務的處理ニ關スル或ル規程ヲ作ル爲ニ繼續委員ヲ置イテ、ソレモ或ル特定ノ審
 査ヲ爲サシムルト云フコトハ勿論出來ルコトデアリマスケレドモ、議院内ノ事務ノ處理ヲ繼續委員ニサ
 セルモノデアリマセヌ、上奏、建議、或ハ立法事項ノ審査立案アルトガ、サウ云フヤウナ議會ノ意思ノ
 決定ニテハ所ノ下議ナリ、其他ノ處理ヲセシムルト云フコトガ目的デアリマス、處理ト云フ文句ガ非常ニ
 廣クアリマシテ、場合ニ依テハ處理ノ中ニ審査研究以外ニ決定ト云フ意義ガ含まレテ居ルノデアリマシ
 テ、市會對市參事會ノ關係ニ於テ市會ノ職務権限ニ關スルコトヲ市參事會ガ處理スルト同様ニ、サウ云フ
 場合ニ代決ノ意味ヲ以テ處理スル場合ガアルケレドモ、此處理ト云フコトハ、意思ヲ決定シテ代決スルト
 云フ意味ノ處理デハアリマセヌ、又審査ト云フ文句ヲ使フト、多少狭クナルカテ、ソレヨリモ廣イ意味デ、
 處理ト云フコトニシテノデアリマス、ソレカラ又職務権限ニ關スル事項ヲ處理セシムルト云フト廣イヤウ
 デアリマスケレドモ、院議テモツテ此職務権限ニ關スル事項ノ範圍ヲ伸縮自在ニ決定シテ、其決定ヲシテ
 所ノ範圍内ノ事項ヲ繼續委員ガ處理スルノデアリマスカラ、廣汎ニ涉ツテ何デモヤツテ、議會ノ閉會中ニ

議會ニ代ル所ノ小議會ガ出來ルト云フ意味ノモノデハナイノデアリマスカラ、此點ヲ能ク御諒承ヲ

御願致シタイノデアリマス、（以下略）

藏園委員 要末ニテハ、最早十二月初ニ議會ヲ召集スルベシ、各派共ニ一ノ聯合會ニヤトマシタ

モウ一ツ簡單ニ御答ヲ願ヒタイ、是ハ議院トアリマスガ「ハウス」ダケデアリマスカ、（以下略）

アリマスカ、（以下略）

鷺野米太郎君 （以下略）

勿論「メンバー」ハ含ンデ居リマセヌ、（以下略）

青木委員 （以下略）

此繼續委員ニ關スル問題ニ關係ヲ致シマシテ政府ニ質問ヲ致シタクウゴザイマス、重大問題デアリマスカ
 一、法制局長官ガ單獨ニ此所ニ於テ御答辯ヲ爲サラヌデモ、後デ能ク御相談ヲナスウテ御答辯ヲナサツテ
 モ宜シウゴザイマスガ、一體此來議院ノ議會ノ會期三箇月ト云フモノハ既ニ今日ノ状態デハ非常ニ短カ
 過ギテ居ルト云フコトハ一般ニ異議ノナイコトデアツテ、二十三年初期議會ノ時ノ八千萬圓内外ノ豫算
 ガ、今日デハ十七億圓ヲ超過スルト云フコトデアツテ、殆ド豫算ダケデモ二十倍ノ膨大ヲ來シテ居ルノデ
 アリマス、其他總テノ議案ガ非常ニ多クナツテ居ル場合ニ於テ、依然トシテ三箇月ト云フコトデハ非常
 ニ會期ガ短カ過ギルノデ、之ヲ吾々ハ何カカシナケレバナラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル、是ニ於テ之ガ運

用ノ手段トシテ繼續委員ヲ設ケルト云フコトガ、度々議會ニ於テ公式或ハ非公式ノ間ニ論議セラレルノデアリマス、サウシテ其他議院法等ニ付テモ、改正ヲ要スベキ點ガ少ナクナイト思フ、是ニ於テ議院法全體ニ對シテ十分改正ヲ致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此議會ニ於テハ最早會期三分ノ一ニナツテ居リマスカラ、如何トモ仕様ハナイケレドモ、此議院法ノ改正、就中繼續委員ト云フコトニ付テハ慎重ナル攻究ヲ經テ之ヲ實行スル域ニ進メタイト云フ希望ヲ吾々ハ強ク持ツテ居ルノデアリマス、(仍テ議院法改正ノ建議案ヲ提出致シテ、先ヅ之ヲ繼續委員デ審議ヲ致シテ、適當ナル改正案ヲ生ミ出シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此議院法改正ノ建議案ヲ審議スルニハ會期ガ最早足リヌノデアリマスカラ、繼續委員ニ附シテ審議ヲ進メテ、來議會マデニ成案ヲ得タイ、斯ウ云フ考ヲ以テ居リマス、ソレデ此繼續委員會ヲ開クコトニ政府ハ御同意ナサルノガ當然ト思ヒマスガ、唯假定ノ問題トシテ當局カラ御述ベニナツテハ困リマス、次ノ委員會マデニ政府ノ議ヲ一定セラレテ、責任アル答辯ヲ法制局長官ナリ、總理大臣ナリ、與ヘテ戴キタイノデアリマス、是ダケノ質問ヲ兼テ要求ヲ申上ゲテ置キマス、次ニ今日來議院書記官長ノ出席ヲ求メテ、只今議題ニナツテ居ル問題ニ付テ質問應答ヲ致ス答テ、委員會ノ要求ニナツタノデアリマスガ、最早十二時モ過ギマシテ、各派共ソレソレ都合ガゴザイマセウカラ、是ハ次ノ機會ニ於テ書記官長ノ御出席ヲ仰ギタイト思ヒマス、サウシテ審議ヲ進メタイト思ヒマス、是ハ動議デアリマス

黒住委員長

ソレデハ青木君ノ動議ノ如ク決シテ、此程度ニ於テ今日ハ是デ散會致シマス

委員會ハ小川平吉君外二十六名提出案ニ付二月二十五日原案ヲ可決スヘキモノト決シ報告書ヲ提出ス

翌二十六日右議案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長黒住成章君ハ左ノ報告ヲ爲ス

付託ニナリマシタ法律案ノ中デ、小川平吉君外二十六名提案ニ係ル議院法中改正法律案ノ委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、本案ハ貴族院ニモ衆議院同様、豫算ノ審査期間ヲ定メントスル法案デアリマス、而シテ此法案ハ既ニ本院ヲ二回通過ヲ致シテ居リマスルノミナラズ、此度ノ提案ハ各派聯合ノ提案ニ係ルノデゴザリマシテ、隨テ案自體ニハ質疑應答ハナイノデアリマス、殆ド審議ハ今迄ニ盡サレテ居リマス、唯、委員中ヨリ政府委員ニ對シテ質問ガアリマシテ、既ニ二回此法案ガ御提案ニナリ、而シテ此支持ニ努メラレテ居ルニ拘ラズ、今期議會ニ於テ此御提案ガ無イノハ如何ナル理由デアルカ、又此案ガ貴族院ニ廻ツタ場合ニハ政府ノ意見ヲ求メラレタ時ニハ、如何ナル意見ヲ有シテ居ルカ、是ガ委員諸君ヨリ出マシタル質問デアルノデアリマスルガ、政府委員法制局長官ノ答辯ニ徹底ヲ缺ク憾ミガアリマシタノデ、更ニ總理大臣ノ出席ヲ求メタ次第デアリマス、而シテ總理大臣ニ對シ、委員青木精一君ヨリ前法制局長官ニ對スル同様ノ質疑

ガアリマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、今期議會ニ提案ヲセヌノハ當初ニ於テ審議未了ニ終リ、後ニ否決ニナ
 ウタノデ、今期議會ニハ見合セタノデアアル、本案ニ對シテノ豫テ提案ヲ致シテ居ル精神趣旨ト云フモノハ
 少シモ變ラヌノデアアル、斯様ナ御答辯デアリマシタ、更ニ委員ヨリ然ラバ貴族院ニ本案ガ廻ツタ時ニ、政
 府ハ如何ナル態度ヲ執ルカ、之ニ對シテ總理大臣ハ固ヨリ反對デナイ、贊成デアアル、同意ヲ致スト明瞭ニ御
 答辯ガアツタノデアリマス、之ヲ以テマシテ質問ハ打切り、如上述ベマスル通りノ案デゴザリマスルカラ、討
 論ヲ用ヒズ直ニ採決ニ入りマシタ、即チ本案ヲ委員會ハ滿場一致ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス中
 出スニ、（小字及一ハ貴族院修正）
 次テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ原案ヲ可決シ即日貴族院ニ提
 出スニ、（小字及一ハ貴族院修正）
 同院ハ三月二十二日修正議決シ（左記貴族院ニ於ケル議事ノ經過書）本院ニ回付ス

（貴族院回付案）

議院法中左ノ通改正ス
 第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ
 終リ議院ニ報告スヘシ

各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ルコト
 ヲ得ス

翌二十三日本院ハ之ヲ院議ニ付ス

山口義一君ハ左ノ如ク貴族院ノ修正ニ同意ノ意見ヲ述フ

貴族院ニ於キマシテハ、吾々ガ數年來主張ヲ致シテ居リマスル貴族院改革ノ一部デアリマス所ノ、即チ貴
 衆兩院ニ於テ其豫算審査期間ヲ平等ニスルト云フ原則ヲ遂ニ認メルニ至ツタノデアリマス、多少ノ修正
 ハゴザイマスケレドモ、斯ノ如キ修正ハ此平等ノ精神ニ矛盾スルモノデハナイノデゴザイマスカラ、即チ
 吾々ノ主張ガ茲ニ貫徹サレタノデゴザイマスカラ、此貴族院ノ修正ニ對シテ同意ノ意思ヲ表明スルノデ
 アリマス

採決ノ結果貴族院ノ修正ニ同意スルニ決シ即日裁可ヲ奉請シ昭和二年五月二日法律第五十三號ヲ以テ公布
 セラル

貴族院ニ於ケル議事ノ經過

昭和二年二月二十八日本案ノ第一讀會ヲ開キ高橋琢也君、中村純九郎君及小野塚喜平次君ハ質疑ヲ爲シ若槻内閣總理大臣、林豫算委員長及徳川議長之ニ應答ス

高橋琢也君ノ質疑

唯今日程ニ上リマシタ議院法中ノ改正法律案、御承知ノ如ク本案ハ衆議院ノ提出ニ係リマシテ、本院ヘ廻リマシタモノデゴザイマス、豫算ノ審査期間ヲ衆議院ト同一ノ二十一日間デ貴族院デモ豫算ヲ審議スルヤウニシタイ、斯ウ云フ極簡單ナル法案デゴザリマス、案ハ極メテ簡單デゴザイマスルケレドモ、是マデ確カニ同ト思ヒマスル、衆議院デ此案ガ出マシテ、貴族院ヘ廻シテ參リマシタケレドモ、貴族院ニ於キマシテハ是マデハ通過イタシマセナンダヤウデゴザイマス、ドウ云フ理由カラ是ガ通過イタシマセナンダノカ、私詳シイコトヲ存ジマセヌガ、此點ニ付キマシテハ尙ホ豫算審議ノコトニ付テ御熟練ノ方ニ伺フコトモアラウト思ヒマスガ、先以テ政府ノ御所見ヲ私ハ伺ヒタイ、先般衆議院ニ於テ此案ガ出マシタ時分ニ、委員會デゴザイマシタカ、若槻總理大臣ハ御賛成ノ意ヲ表明ナサツタト云フコトデアル、勿論、政府ト

シテハ御不便ナナイコトデアラウト存ジマス、故ニ之ヘ御賛成ナサツタト云フコトハ當然ノ事デアラウト存ジマスル、併シ議院法ノ第四十條ニ依リマスルト、衆議院ヘ豫算ヲ提出シタ場合、衆議院ノ委員ガ、衆議院ノ豫算委員ガ之ヲ受取リタル日ヨリ二十一日間ニ此審議ヲ終ツテ議會ニ報告スルヤウニト云フコトハゴザイマス、殊更ニ此明記ガアルニ拘ラズ、貴族院ノコトハ何等ノ制限ガゴザイマセヌハデ當初、議院法ガ制定セラレマスル場合ニ、ドウ云フ意味デ貴族院ノ方ダケハ豫算ノ審査期限ガ無制限ニナツテ居リマシタモノデゴザイマシタカ、私ハ此意味ヲ能ク存ジマセヌ、之ヲ無制限ニシテアルノニハ、何カ無制限ニシナケレバナラヌト此法律ヲ定メル場合ニ十分ナル熟慮ヲシテ斯ノ如ク無制限ニセラレタモノデアラウカト存ジマス、サスレバ是ハ政府ノ便否ニ關係スルカ、或ハ貴族院ノ審議上ノ便否ニ關係ヲ致シマスルカ、何カアルダラウト存ジマスルガ、其邊、一向不案内デゴザイマス、政府ノ本案ニ對シマスル御所見ヲ改メテ伺ヒマスルト同時ニ、今一ツハ法ノ精神ニ付キマシテ政府ノ御覽ニナツテ居ル所ヲ承リタイト存ジマス、又今一ツハ政府ハ衆議院ニ於テ賛成ハ爲サツタケレドモ、併シ是マデ實際ハ貴族院デ二十一日デ報告セラレタモノハ少イ、稀デアアル、斯ウ云フ結果ニナツチャ居ラヌカト存ジマスルガ、ソレニハ果シテ貴族院側一方デ之ヲ早ク審議シ能ハナカウタト云フ理由デゴザイマスカ、政府ニモ何カ是ガ爲ニ便利ニナルコトガアツテ、兩方ノ意思ノ疏通シタ上カラ或ハ延ビテ居ルト云フヤウナ事實デゴザイマスルカ、又此一方ニ於テハ貴族院ノ豫算審議ノ上ニ何事カラウト存ジマスルガ、是ハ別ニ私ハ御尋ネ致ス積リデゴザイマス、

先づ以テ右ノ三點ハ總理大臣ヨリ御答ヲ戴キマスレバ最モ結構デアリマス、ソレカラ豫算委員長ヲ永ラ
タ御擔當ニナツテ居ラレマスル林伯爵ニ御尋ヲ致シタイト存ジマス、豫算委員長トシテ御答ヘ下サルト云
ウコトハ或ハ御迷惑ナコトデアラウト存ジマス、之ガ御差支ゴザイマスルナラバ、御一己ノ御所見ホシテ
御答ヲ戴キマスレバ最モ結構デゴザイマスガ、併シ事柄ガ貴族院全體ニ關係シマスルコトデゴザイマス
ルカラ、或ハオムツカシカラウト存ジマスガ、一應申上グテ見マスル、今回ノ總豫算委員ノ總會ハ既ニ去ヌ
四月二十六日ヲ以テ終了シマシテ、遂ニ追加豫算マデモ此間ニ於テ議了ニナツタト云フ位デアリマス、流石
ニ名豫算委員長ノ御手際ニ誠ニ敬服ヲ致シテ居ルノデアリマス、此位ニ出來得マスルノデゴザイマスルカ
ラ、殊更ニ衆議院ヨリ之ヲ延バサニヤナラヌト云フコトハ無イヤウニ詰リ考ヘラレマスルガ、ソレハ私等
ノヤウナ單純ナ頭デ考ヘマスルコトデ、實際ハナカク、サウハ參ラヌト云フコトガアルカモ存ジマセヌ、
併シ今回ノ御手際ヲ拜見致シマシテモ、サノミニ二十一日デ之ヲ議了スルコトハ出來得ナイ、議會ニ報告ス
ルコトハムツカシイト云フヤウニ思ハレマセヌ、ソレ故ニ從來ドウ云フ譯デアノヤウニ永ク掛リマシタ
モノデゴザイマスルカ、是ハヤリ方デ縮メレバ矢張り縮メ得ラレルモノデハナイカ知ラヌト私ナドハ思
ヒマスルノデスカ、林伯爵ニハ如何ニ御考ヘ遊バシマスカ、又是マデ二回モ通過イタシマセナンダ其理由
ハ何レニゴザイマセウカ、或ハ斯ウデハナカツタラウカト云フヤウナ點デモ御氣付ノ慶ガゴザイマシタナラ
バ伺ヒタイト存ジマス、是モ或ハオムツカシイトトハ存ジマスル、若シ御答ヲ得マスルコトガ出來レバ

之ニ増シタルコトハゴザイマセヌ、一體、衆議院デ議了シ得ルモノ、衆議院議員ハ貴族院議員ヨリモ別ノ
頭ヲ持ツテ居ル譯デハナイ、違ヒハナイ、矢張り同ジ人間ガシテ居ル、貴族院議員ハ衆議院議員ノ頭ヨリ劣
ツテ居ルカ、決シテ劣ツテ居ナイ、寧ろ私ハ優ツテ居リハセヌカト思ヒマス、是ハ最良目デゴザイマス、先ヅ
ドツチモ同ジヤウニ、人間トシテ同ジヤウナ頭ヲ持ツテ居ル、ソレトシテ見テモ、貴族院ノ方ニハ段々政府
ノ仕事ニ永ラク關係シテ居ツタ人ガ居ラレル、多ク而モ居ラレマス、豫算ナルモノハ如何ナルモノ位ナコト
ハ四百ノ貴族院議員一人モ分ラヌ御方ハ無イ位ニ私ハ思ツテ居ル、ソレ故ニ衆議院ヨリモ時日ガマダ少
トモ審議ニ差支ナイデハナカラウカ、今一點ハ衆議院デ既ニ二十一日間審議ヲシテ居ル、其間ニ貴族院示
以テ十分ニ豫算ヲ研究スルコトガ出來ルト思ヒマスル、或場合ニハ、其各派ノ所ヘ政府カラ太藏省ノ豫算
ノ關係ノ人ニ出テ貰ツテ話ヲシテ貰フト云フコトモ、イト易イコトデアラウト思ヒマス、サウシマスルト
衆議院ヨリハ兎ニ角、四十一日間長ク、コチラデハ研究ガ出來得ルノデゴザイマス、此點カラ見テモ、矢張り
二十一日間、四十一日間ハ間違ヒマシタ、二十一日間ヨリ長イ時間ヲ要シナイデアアルマイカト思ヒマス
ル、之ニ付テハ政府デハ私ハ早イ程、御便利デアラウカト思ヒマスルガ、若シサウデアラナラバ政府ハ早ク貴族
院ノ方ノ議員ニ豫算案ノ豫算ヲ請求スル説明書、參考書類ヲ十分ニ御廻シニナツテ居ツテ研究シテ貰ツテ
居レバ、決シテ衆議院ヨリ餘計ノ時日ヲ費サナケレバナラヌト云フコトモナカラウ、是ハ以前ノコトハ存
ジマセヌガ、時勢モ段々變ツテ參リマシテ、國民ノ頭モ餘程進歩シテ來テ居リマス以上ハ、貴族院ヘ行ツタラ

豫算ハ何時デモ長イ間掛ルト、斯ウ云フヤウナコトニナリマスルト、色々ノソコニ疑ガ起ラウカト思ヒマスル、其疑ヲ起サセルト云フコトハ、誠ニ貴族院トシテモ不利益ノ話デ、今日ノ貴族院ノ議員諸公ハ最も品性ノ高潔ノ方バカマデ、斯ウ云フ高潔ノ方々デアルカラ、少シモ豫算審議等ニ付テ國民ガ疑ヲ挾ムヤウナコトノアラウ道理ハゴザイマセヌケレドモ、ドウカスルト地方ノ議會ナドニハ豫算ヲ質ニ取ツテ置イテ、其間ニ色々ノ難題ヲ持出シタリ、當局者ヲ困ラシタリ、或ハイジメタリスルト云フヤウナコトガアル、帝國議會等ニハ未ダ會テ斯様ナ不都合ナ事ノ有ツタコトヲ聞キモ致シマセヌガ、又有ツテ濟ム譯ノモノデナイ、此點ハ申ス迄モアリマセヌケレドモ、長ク掛カレバ色々國民ニ疑惑ガ起ツテ參ラウカト存ジマス、デ私ハ矢張り衆議院ト同ジヤウナ時日ヲ以テ之ヲ審議シテ出ス方ガ餘計ナ疑惑ヲ國民ノ頭ニ起サセヌ點ニ於テモ利益デアラウ、政府モ亦一日モ早ク審議シテ貰ツタ方ガ都合ガ宜カラウト思ヒマス、唯豫算ニ關係シタ法律案ガ何時デモ衆議院ニ先キニ出マスル、是ハ豫算ガ衆議院ニ先キニ出ル以上ハ當然ナ話デアラウト思ヒマスル、然ルニ關係ノ法案ガ衆議院デ遲々トシテ審査ガ進ミマセヌ、是ハ衆議院ノ色々ナ事情ガゴザリマセヌカラ、貴族院ニ於テモ何トモ言フコトハ出來モセズ、又私モ之ヲ彼レ此レ言フモノデハゴザリマセヌガ、政府ハ十分ニ衆議院ノ豫算委員ノ方々ニ諒解ヲシテ貰ツテ、早く此法案ノ決定ヲシマシテ貴族院ヘ廻ルヤウナ手筈ヲ御執リニナルコトヲ私ハ希望スルヲデ、サウスレバ貴族院デモ豫算ヲ審議スル場合ニモ安心ヲシテ審議セラレヤウト思ヒマスル、從來ノ例ニ依ルト、法律ガ何時デモ後カラ廻ツテ來

ル、貴族院トシテハ完全無缺ニ之ヲ審議シヤウト云フノニハ、マダ衆議院ニ斯ウ云フ案ガ残ツテ居ルカラ、此案ガ廻ツテ來テカラデモ宜イデヤナイカ、別ニ制限ハナイカラト、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘル人モナイニモ限ラナイ、會テハ或人ガ今晚ノ十二時ヲ過ギレバモウ豫算ハ不成立ニナル、俺ハソレマデ待ツテ質問ヲスルヨト、オドケヲ言ツタ人ガアリマシタコトヲ私ハ覺エテ居ル、是ハオドケダカラ宜シウゴザイマセガ、眞ニサウ云フ人ガ出來たらバ是ハ非常ナ……政府デヤナイ、國民マデモ迷惑スルコトニナラウト思ヒマスル、サウ云フヤウナコトマデモスレバ出來ルト云フ餘地ヲ與ヘテ置クヨリハ、シテモ出來ナイト云フヤウニシテ置イタ方ガ、私ナゾハ宜カラウト斯ウ思ヒマスル、之ニ依ツテ私ハドウカ是マデノ事情ハドウ云フコトガアツテ、之ヲ一回マデモ本院ヲ通過シナカッタカ存ジマセヌガ、今回ハドウカ是ガ通過シテ、貴族院モ衆議院ト同一ナ期間ヲ以テ審議ガ出來ルト云フヤウニナリタイモンダト思ヒマスル、之ニ付キマシテ、私ハ議長閣下ニ一ツ願ヒタイコトガゴザイマス、此議案ニハ限りマセヌ、從來本院デ出シマシタ法案ガ衆議院ニ行ツタ場合、衆議院デ出シマシタ法案ガ本院ヘ來タ場合ニ、誰モ之ヲ擔當シテ説明スル人ガ無い、法ノ精神ヲ聽カウト思ウテモ、質問ヲスル當テガナイ、是ハ兩院トモ不便デアラウ、此機關ノ缺ケテアルコトハ如何ニモ審議上雙方ノ便宜ヲ缺クコトト思ヒマスルデ、此點ニ付キマシテ、本院ト衆議院……是等ノ説明ヲ擔當スル人ヲ、本院トシテハ衆議院ノ何方適當ノ人ヘ依頼ヲスル、衆議院ハ本院ノ議員ノ中デ向フノ好ム所ノ人ニ擔當セシムルト云フヤウナ手段ヲ御執リニナルコトハ出來得ナイモノ

デゴザイマセウカ、何か議院法デモ改正シナケレバ出来ヌカ、改正スレバ斯ウ云フ方法ガ出来ヤット云フヤウナコトヲ、御考ヘニナツテ居ルコトガゴザリマセヌデセウカ、私ハ雙方ノ便宜ノ爲ニ、何か此間ニ政府ノ外ニ之ヲ、法案ヲ出シマシタ方ノ質問應答ノ出来ルヤウナ資格ヲ備ヘル人ヲ、所謂「ツ」ノ機關ヲ拵ヘル上云フコトガ出来ハ致シマスマイカ、何か茲ニ又本院ハ本院限リデ、簡便ニ斯ウシタラ宜カラウト云フヤウナコトハゴザイマスマイカ、之ヲ伺フコトガ出来マズルナラバ、議長閣下ニ伺ヒタイト存ジマス、又縱シ伺フコトガ出来マセヌト致シマシテモ、私ハ何か斯ウ云フ事ノ出来マズルコトヲ希望イタシテ居リマスルカラ、併セテ自分ノ希望モ申上ゲテ置キマス、私ハ是デ終リマス

若槻内閣總理大臣ノ應答

只今議題ニナツテ居リマス議院法中改正法律案ハ衆議院ノ提出デアリマス、是ト同様ナ法律案ヲ政府ハ一昨年、竝ニ昨年ノ議會ニ提出イタシマシタデアリマス、只今高橋君ノ御述ベニナリマシタ通り、一昨年ハ貴族院ニ於テ審議セラレツ、アル間ニ會期ガ終了イタシマシテ、議了ニナラナカツタデアリマス、昨年ハ貴族院ニ於テ政府ノ提出シタル法律案ハ否決セラレタデアリマス、今回衆議院ノ提出ニ係リマス此法案ハ、當時政府ノ提出イタシマシタモノト内容ハ全ク同様デアルト私ハ思ウテ居リマス、現行法ノ通りデアリマシテハ、豫算ノ審議ノ上ニ政府ガ困ルコトガアルカト云フコトノ御尋モアツタセウデアリマスガ、

政府ハ現行法ノ通りデモ、一向困リマセヌデアリマス、政府ガ便宜ヲ得タイ爲ニ此法律案ヲ提出スルト云フ趣旨デアリマセヌノデ、現行法ノ通りデ豫算ノ審議ノ上ニ於テハ一向不便ハ感ジマセヌケレドモ、衆議院ト貴族院トノ間ニ於テ、同じク豫算ヲ審議セラル、ノニ、衆議院ノ方ニハ一定ノ日限ノ制限ガ有リ、貴族院ノ方ニハ是ガ無イト云フノハ何トナク兩院ノ間ニ差別ガアルヤウニ見エルデアリマス、是ハ人間ノ感ジデアリマセウケレドモ、兩院ノ間、成ルベク總テノ事ガ平等ニアリタイト思フノガ、一般ノ人情デアラウト思ヒマシタ故ニ、兩院ノ間ニ、其間、違ツテ居ルト云フノデハ、何トナク衆議院ニ於テノミ制限ヲ受ケテ居ルヤウナ感ジガ致スコトニ相成ルノデアリマスカラ、其間ヲ同一ノ取扱ニナルノガ相當デアラウト云フノガ、政府ノ提案シタ所以デアリマシテ、今日モ亦政府ハ其考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、審議ノ上ニ不便ヲ感ズルト云フ意味デアリマセヌ、ソレ故ニ政府ニ向ツテ、此案ニ對シテドウ云フ意見カト云フ質問ヲ衆議院デ受ケマシタカラ、政府ハ一昨年モ本案ト同様ナ法律案ヲ提出シ、昨年モ亦同様ナ案ヲ提出シタ位デアリマス故ニ、固ヨリ此法案ニ付テ、反對スベキ理由ハ無イノデ、政府ハ賛成シテ居ル、斯ウ云フ答辯ヲ致シタノデアリマス、高橋君ハ現行法制定ノ理由ヲ御尋ニナリマシタ、現行法ハ衆議院ノミニ制限ガ有ツテ、貴族院ニハ日限ノ無イノハ、ドウ云フ譯カ、私ハ立法當時ノ事由ハ能ク承知イタシマセヌ、併シ私ハ議院法ヲ讀ンデ理解シテ居ル所ハ、豫算ハ衆議院ニ先ヅ提出セヌケレバナラスコトニナツテ居ル、其先ニ審議ヲセラル、衆議院ニ於テ、永ク審査ヲシテ居ラル、ト云フコトハ貴族院ニ於テ審議ヲセ

ラル、期間が大變短クナル虞レガアル、ツレ故ニ先キニ議セラル、衆議院ニ於テ、一定ノ期間内ニ豫算委員會ヲ終ラレ、ヤウニシテ、豫算ノ審議ヲ兩院トモ相當ニ慎重審議ナサルヤウニスルト云フノガ、議院法今日ノ規定ノ精神デアアルノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、併シ立法當時ノ考ガ如何ニナツテ居リマシタカ、私ハ能ク承知イタシマセヌ、政府ニ御尋ニナツタ點ニ付テハ是ダケ御答ヘ致シマス、
林豫算委員長ノ應答

只今豫算委員會ノ會期ノ點ニ付テ高橋君ヨリ御質問ガアリマシタガ、豫算委員長デナク個人トシテモ御答ヲ願ヒタイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ豫算委員長トシテ關聯シタ點ヲ御答ヘ致シテ、委員長ヲ離レタ個人トシテノ御答ハ先例モ無イコトデアリマスカラ致シマセヌ積リテ居リマス、豫算委員會ノ會期ノ整理ハ委員長ノ責任デアリマスカラ之ニ關シタコトハ御答ヘシナケレバナラヌト考ヘマス、即チ總會モヤリ方ニ依ツテハ伸縮自在デハナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、是ハ伸縮自在デハナイト私ハ考ヘマス、又現ニ豫算委員長トシテ責任ヲ取ツテ致シテ居リマス以上、強ヒテ之ヲ延バシ、強ヒテ縮メルト云フヤウナコトハ、私ハ致シテ居リマセヌ積リテゴザイマスハ是ガ延ビマスノモ延ビマセヌノモ、慎重審議ノ經過如何ニ依ルモノデゴザイマシテ、又延バス場合ニハ必ズ豫算委員會ノ總會ニ御諮リテ致シマシテ其決ヲ俟ツテ審議ヲ延バシテ居リマスノデ、委員長ノ獨斷ニ依ツタコトハナホト考ヘル次第デゴザ

イマス、又二十一日間ニ之ヲ議了スルト云フコトニ決メテアルノデハナイコトハ、此今回ノ只今上程シマシタ議院法改正ガ、審査期限ノ改正ガ出テ居リマスノデ分ツテ居リマスノデアリマスガ、イツモ延ビルカト云フト、必シモサウデナイヤウデアリマス、帝國議會開ケテカラ大分貴族院ニ於テ期限ヲ付セズ審議シタ場合モアリ、又期限以内ニ之ヲ審議シ終ツタコトモアルノデゴザイマス、必ズ延ビルノガ例デアルト云フヤウナ譯ニハナツテ居ラナイノデアリマス、例ヘバ第三十議會ニ於テハ期限ヲ付セズシテ、豫算ノ會議ヲ開イテ居ツタ例モアルノデアリマス、大體此二十一日ニナツタト云フコトハ、第四十議會以來ノコトニ屬シテ居リマシテ、其以前ニハ或ハ十七日、或ハ二十日、二十三日ト云フ風ナコトモアリマシタノデアリマス、是ハ大體無期限デ以テ審議スルト云フコトハイカスト云フノデ、委員長ハ慣例ヲ以テ二十一日間トシテ審議シタイト云フコトデ動議ヲ出シマシテ、是モ委員長ノ獨斷デハナク貴族院ノ諸君ニ御諮リマシテ、本議場ニ於テ二十一日ト云フコトニ大體決ツテ豫算委員ニ審議ガ廻ツテ居ル次第デゴザイマス、ソレガ其慎重審議ノ結果延ビル場合ハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、是モ同様、大體、先程總理大臣ヨリモ、高橋君ヨリモ御説明ガアリマシタ如ク、此豫算審議ト云フモノガ衆議院デ二十一日デアレバ、貴族院ニ於テモ二十一日デアツテ宜カラウデヤナイカト云フコトハ、是ハ一ツハ時期ニモ關係スルト思フノデアリマス、即チ豫算ガ前ニ廻ルノト後ニ廻ルノトハ、大體ニ於テ三箇月ノ議案審議ノ期間ガアリマスノデ、期限ガ極ツテ居リマスカラ、是ハ大變ナ違ヒデアルト思フノデアリマス、二月ヲ一月ニスル譯ニハ行カナイ

ノデアリマス二月ニナツテ始メテ是ガ豫算委員會ニ移ツテ參ルノデアリマスカラシテ、議院ガ段々忙シクナリマシテ、豫算ニ關聯シタル重要ナル案ノ如キハ、往々ニシテ此最後ニ廻ツテ付議サレテ來ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、第一ニハ總會ニ於ケル慎重審議ノ結果已ムラ得ズ延ビル場合ト、第二ニハ時期ノ前後ニ依リマシテ、此貴族院ノ豫算審議ガ後ニ廻サレテ居ル爲ニ、且又衆議院ヨリ送付サレル豫算ニ關聯シタル案ガ期限ノ迫ラテ居ル時期ニ廻ツテ來ルト云フヤウナ場合ガアリマス、其爲ニ已ムラ得ズ今日マデ遅レテ居ルヤウナ次第デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ニツノ理由ニ依ツテ、二十一日間デハ最近ニ於テハ審議ガ出來テ居ラナイコトト考ヘルノデアリマス、一ツハ我國ノ豫算ガ、今回ニ於キマシテハ御承知ノ如ク十七億ニモナツテ居ル次第デアリマシテ、政治モ複雑ニナリ、從テ豫算モ複雑ニナツテ居リマスノデ、サウ簡單ニ、衆議院ニ於テハ二十一日デアルカラ、其時期如何ヲ顧ミズ貴族院ニ於テモ二十一日デヲ議了スベシト云フ譯ニハ或ハ行カナイノデアラウト考ヘル次第デアリマス、大體御質問ノ御趣旨ニ對シマシテハ御答辯ハ是デ終リタイト考ヘマス

德川議長ノ應答
 高橋塚也君ニ議長ハ伺ツテ見タイト存ジマス、只今高橋君ノ演壇ニ於テ御述ベニナツタコトハ、各院ノ提出議案ノ説明ニ關スル何カ便利ノ方法ハナイカト云フコトヲ議長ノ意見ヲ御尋ネニナツタト了解シテ宜シウゴザイマスカ、然ラバ議長ハ高橋君ニ御答ヘ致シマス、現在ノ法規ノ上カラ申シマシテハ、各院ノ議員諸君ノ相互ノ御申合せニ依リマシテ、議場ニ於テノ説明者ヲ便宜御引受ケニ相成ルヨリ外ニ途ハナイト考ヘマス、左様御了承ヲ請ヒマス

高橋塚也君ノ再質疑
 若先刻若槻總理大臣ノ御答ハ大體了承イタシマシタガ、其中デ議院法ノ制定ニナツタ時ノコトハ知ラナイ、其精神ガ何レニ在ルカソレハ分ラヌト仰シヤルヤウナ意味デゴザイマシタガ、既ニ第五十議會デモ第五十一議會デモ政府ガ御提案ニナツタト同一ノ本日ノ議案デゴザイマスト云フコトハ、既ニ若槻總理大臣モ御述ベニナツテ居ルハ、サスレバ此御提案ニナリマスル前、而モ五十議會デ否決ニナツタカラ、五十一議會デハ殊更ニ慎重ナル御調査ヲナスツテ御提出ニナツタト云フコトハ當然ノコトト存ジマス、一回マデモ政府デ法案ヲ御出シニナツテ御改正ニナラウト云フノニハ、元ノ法律ノ出來タ精神ハドウ云フコトデアルカ、即チ現在ノ議院法ノ精神ナルモノハ此所ニ在ルノデアルト云フヤウナコトハ、政府デ篤ト御調べニナツタ答デナイカト存ジマスガ、先刻ノ御答辯デハ、ドウモ其邊ガ私ハ少シ了解シ兼ネマスノデ、今一應御答辯ヲ煩シタイ、ソレカラ林伯爵ハ、個人デナク豫算委員長トシテ御答辯ヲ下スツタト云フコトハ、誠ニ私ハ満足イタシマシタ、就キマシテハ法案ガ段々日時ガ遅レルト、同時ニ貴族院ニ幅渡シテ來ル、幅渡シテ來

レ以テ從テ法案ノ方ノ委員會ガアルカラ、豫算委員ノ方ニモ自然影響スルト仰シヤルヤウナ意味ノ御答デアツタヤウニ拜承イタシマスル、是ハ尤モ千萬ナコトデゴザイマシテ、私等モ其點ヲ考ヘヌズハゴザイマセズ、議員ノ職責上致シマシテ、或ハ時間ヲ延バシ、或ハ土曜日ハ終日ヤツテ日曜日ハ半日ヤル位ニ、豫算委員會ノアル間位ハ特別ナ皆様ノ御勉勵ヲ頂クト云フコトモ、是ハ出來易イコトト存ジマスノデ、出來得ル限リ議員諸君ノ御勉勵ニ依リテ、成ルタケ期日ヲ定メテ其期日内ニヤリ付ケルト云フ御覺悟アラムコトヲ、私ハ茲ニ希望イタシテ置キマス、ソレカラ議長閣下ノ只今ノ御答モ誠ニ私ハ満足イタシマシタ、尙ホ此上兩院ノ提出案ニ對シマスハ説明者並ニ答辯ヲ爲ス資格ノアルモノニ付キマシテ、便宜ナ方法ガゴザイマシタラ御取計ラセテ願ヒタイ、是ハ希望ヲ申上ダテ置キマス、

若槻内閣總理大臣ノ應答 本閣下本トモ、其中所議諸君ノ陳言ヲ考ヘ、御答ニ付キマシテ、

高橋君ハ議院立法ノ理由ヲ御尋ネニナツタヤウニ思ヒマスノデ、私ハ當時ハ關係シテ居リマセヌカラ、ソレ故ニ先程ノ御答ヲ致シタノデアリマス、併シ政府ガ議院法ノ精神トシテ解釋シテ居ル所ハ何處ニ在ルカト云フコトハ、先程申上ダテ通りデアリマス、即チ衆議院ニ先ヅ豫算案ヲ提出スルコトニナツテ居ルハ、先ヅ豫算ヲ審議スル所デ長ク審査ヲセラレテハ、貴族院ノ審査ニ十分ナ期間ヲナイヤウニナツタンデハ宜シクナイト云フ趣旨ニ於テ、衆議院ノ審査ニ期間ヲ付シタモノデアラウ、斯ウ私ハ議院法ノ精神ヲ解

釋シテ居ルノデアリマス、

德川議長ノ應答 於テ將來便宜ヲ計ルト云フヤウナ御言葉ガアツタト存ジマスガ、議長ニ於テハ現在高橋君也君ガ、議長ニ於テ何カ御話デモゴザイマシタラバ、成ルベク御便利ヲ計リタイト考ヘテ居リマス、

又法規ノ許ス範圍内ニ於テ何カ御話デモゴザイマシタラバ、成ルベク御便利ヲ計リタイト考ヘテ居リマス、

中村純九郎君ノ質疑 貴族院ノ議院法第四十條ノ現行法ノ審査期間二十一日ヲ延長セラル、ノ意思ハナキヤト云フコトヲ御尋ネ致シマシタ、本來私ノ理想カラ申シマスルト、此議院法第四十條ト云フモノハ、餘リ憲法上カラ良イ法律デハナイト信ジテ居リマス、御承知ノ通り憲法ノ議會ニ與ヘラレテ居ル大政參贊權ト云フモノハ、容易ニ是ガ線上ゲラレタリ、短縮セラレタリスベキモノデナイ、停會ヲ解散カニ依ツテ初メテ此議權ヲ失フヤウナ譯デ、此性質論ト云フモノハ餘程議會、議院トシテハ大切ナモノデアル、此議會開會中ト云フモノハ銘々貴衆兩院諸君ハ格別ナル保護ヲ得テ居ル、現行犯ニ非ザレバ逮捕監禁モサレナイ、又議院内ニ於ケル言動モ、外ニ發スルコトヲ除クノ外ハ是モ亦勝手ニ勝手ニト云フト少シ語弊ガアリマスケレド

モ、随分自由ナル發言權ヲ憲法ハ保護シテアリマス、大切ナル權限ヲ與ヘラレテアリマス、ソレヲ法律デ以テ參贊權ヲ縮小スルト云フコトハ、憲法上餘程避ケベキコトデアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、憲法上……違憲デハナイカト云フ感ジモアリマス、唯斯ウ書イテアラマス、豫算委員ノ審査權ヲバ二十一日ニスルト云フノデスカラ、豫算委員ト云ヒマスレバ六十三名ノ豫算委員デスカラ、其豫算委員ノ審査スルノハ申サバマア下審査、下審査ト云フヤウナモノデ、本審査デハナイノデアルカラシテ、僅ニ……憲法上違反ノ法律デハナイト云フコトガ僅ニ言ヘルカモ申セセ、何レノ國……外國ノ例ヲ見マシテモ、何レノ國ノ例ニモ、此審査期間ヲ設ケタモノハ蓋シ無イト存ジマス、有ルベキコトデハナイノデス、十分ニ議會開會中ニ豫算ヲ審議スルノ權ヲ持ツテ居ル、大體ニ於テカラ申シマスルト、此議會政治ト云フモノハ、豫算ニ始マツテ豫算ニ終ルトモ云フベキ、豫算ノ審議ト云フモノハ議會ノ骨子デゴザイマス、之ヲ縮小スルト云フコトハ、言ヒ換ヘテ見ルト議員ニ對スル箝口法ト云フコトニモナリマセウ、何故ニ衆議院及政府ハ之ニ期間ヲ設クルコトヲセラルルカ、只今總理大臣ノ御答辯ニ依ルト、感ジガ、……感ジガ惡イ、衆議院ニ二十一日ノ制限ヲシテアルノニ、貴族院ニ二十一日ノ制限ヲ置カナイト云フノハ、何ンカ感ジガ……公平ナ立場カラ感ジガ惡イヤウデアル、妙ナ御答デアルト私ハ存ジマス、即チ不自由ヲ銘々ニツニ分ケテ、其不自由ヲ折半シタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ話、總理大臣ハ豫算審査ニ付テハ政府ニハ一向不便宜ナコトハナイ、二十一日デ宜シイ、サウデゴザイマセウ、是ハ政府ノスルコト

デナイ、豫算ヲバ議會ガ審議スル、審査スルコトデスカラ……、所ガ非常ニ議會ハ此審査ノ期限ノ短キノニ不自由ヲ感ジテ居ルノデス、不自由ヲ感ジテ居ルカラ、衆議院ハ停會中ハ豫算審査期限ニ入レナイトカ、或ハ停會後ハ豫算ヲ撤回シテ、モウ一遍出シ直シテ吳レト云フヤウナ譯デ、即チ二十一日ノ審査期限ヲ成ルベク用キヤウト云フ所カラ、大變不自由ヲ感ジテ居ル、貴族院モ只今委員長カラ報告セラレタ通りニ、大抵此二十一日ト云フ、衆議院ノ先議權ノ二十一日ト云フ日限ヲ尊敬シテ、矢張り二十一日ニヤツテ居ラレセ、ソレデ衆議院ガ三十日ニ改正ニナツテ延長セラレテ、衆議院ガ三十日ニ御決メニナルナラバ、貴族院ハ豫算審議ヲスルノニ、誠ニ緩ククニナツテ宜シイ、四十日ニナレバ尙ホ宜シイ、尙ホソレニシテモ會期ガ九十日間ノ期間ハアリマス、四十日デ例ヘバ同ジヤウニ、貴族院モ衆議院ノ通り同ジヤウナ日子ヲ要シタトシマシテモ、八十日デアリマス、先程申シマシタ通りニ、是ハ此議院法四十條ト云フモノハ豫算委員會デ豫算ノ仕事ヲスルノ便宜ノヤウナモノデ是ハゴザイマスカラシテ、矢張り貴族院ノ豫算議定細則ト云エモノガアルガ、アレガ誠ニ賢明ナル……貴族院規則デアルト私ハ信ジマス、矢張りアア云フモノニ依ツテ、サウシテ各議院々々各、自カラ自己ノ内規トシテ取決メルノハ宜シウゴザイマスガ、之ヲ法律ヲ以テヤルト云フコトハ聊カ……政府ノ今ノ感ジノ、即チ不自由ヲ折半スルト云フヤウナ御意見ハ、甚ダ私ニハ了解ニ苦ム所デゴザイマシテ、又政府ニ御尋ネシマスノハ、專口之ヲ延長セラレルカ、少クトモ……此議院法四十條ヲ全廢セラレルカ、少クトモ二十一日ヲ延長セラレテハドウデアラウカト云フコトノ

御意見ヲ政府ニ伺ヒマス、モウ一ツ今延長カ若クハ廢止セラレルコトヲ希望イタシマスルノハ、只今此現
 行法ノ二十一日ト云フノハ豫算ノ總額ガヤダ種々少小時分ニ決メラレタモノデゴザイマシテ、今ヤ本年
 度ノ豫算ハ十七億三千萬圓ト云フモノヲ突破シテ居ル、尙ホ特別會計ノ計數ヲ入レマスト三十三億萬圓
 以上カラニナリマス、斯ウ云フヤウナ尤大ナ金額ヲ見積ラレマスト、從テ其事務モ複雑又審査ノ期間ヲ要
 スルト云フコトハ當然ナコトデゴザイマス、ソレヲ何時マデモ二十一日デ之ヲ喰ヒ止メルト云フコトハ、
 豫算ノ審議ヲシテ粗漏ナラシムルト云フヤウナコトニ陥ル外ハナシ、人間ノ能力トシテハ、八千萬圓臺ノ
 審査ヲ行ツテ居ツタ人ガ、今日八十倍、百倍ニ近イ計數ヲ審査スルト云フコトハ、到底人間ノ能力デハ出來
 ナイト云フコトハ結論ニナリマス、故ニ私ハソレニ持ツテ來テ、
 ナウシテ貴族院ヲモ亦其不自由ヲ感ゼシメテ貴族院ニ於テ迄モ其期限ヲ設ケムト欲スルト云フコトハ何
 ノ理由デアルカト云フコトヲ私ハ重テ政府ニ伺ヒマス、
 若槻内閣總理大臣ノ應答

憲法ニ依リマスト云フト議會ノ通常會ハ三箇月ト云フコトガ期限ニナツテ居リマス、而シテ豫算ノ通常議
 會ニ於テ審議セラレルト云フコトヲナツテ居リマスカテ、議會ノ會期ニ限リガアリマス以上ハハ豫算ノ審
 査ニ於テモ凡ソ限リガアリマセスト云フト、三箇月ノ期間ニ兩院トモ慎重ニ審議ヲサレルコトガ出來ナ
 イデアラウト存ジマス、此意味ニ於テ政府ハ豫算審査ノ此議院法ノ規定ヲ廢止スルト云フ考ハ持タナイ
 ノデアリマス、又當初ハ是ガ二週間デアリマシタモノガ、今日ハ三週間ニナツテ居リマス、是ガ短イ故ニ延
 シ少シ長クシタラドウカト云フ中村君ノ御意見ノヤウデアリマスガ、今日迄ノ實際ノ經驗ニ依リマシテ
 二十一日間ガ短クテ審議ガ盡セナイト云フ事情ニナツテ居ルト存ジマセヌ故ニ、只今政府ニ於テ此期間ヲ
 延長スル考ヲ持タヌノデアリマス、衆議院ガ貴族院ニ於テモ審査期間ヲ設ケムトスルコトハ政府ハ同意
 シタノハドウ云フ譯デアルカト云フ御質問ニ對シテハ、先程高橋君ニ答ヘマシタ通り、兩院ノ間、同以取
 扱ヒナツテ居ルト云フコトガ宜シカラウ、其間ニ差別ガアルト云フヤウナ考ヲ懷カシムルコトハ宜シタ
 ナカラウ、斯ウ云フ總旨ニ依リテ政府ハ賛成ヲシテ居ルノデアリマス

小野塚喜平次君ノ質疑
 此問題ニ付テノ貴族院ノ態度ハ、昨年ノ態度ハ衷心シナイト思ヒマス、何トナレバ一昨年ト其態度ヲ異
 シテ居ルカラデアリマス、其理由ヲ明カニセズシテ異ニシテ居ルト云フ點ニ於テハ、貴族院ノ態度ハイケン
 イト思ヒマス、併シ貴族院ノ主張ハソレ自身審査期限ヲ政府及衆議院ノ言フガ如クニ制限スルノハイケ
 ナイト云フ内容ノ理由、ソレハ相當ニ尊重スベキ理由ヲ有ツテ居ルト思ヒマス、然ラバ之ニ反對スル所
 ノ衆議院及政府ノ言フ所ハ無理デアルカト申シマスト云フト、私ハソレニモ相當ノ理由ガアル、謂ハシ五

分五分デアラウト思フゾデアリマス、而シテ此問題ソレ自身ガ左様ニ重要デアラウトハ思ヒヤセヌ、併シ三度其問題ガ衆議院ガ全會ニ致テ可決シテ此方ニ廻ラテ來ル、ソレヲ如何ニスベキカト云フ點ニ於テ、此問題ノ重要ガ非常ニ増シテ來ルト思フゾデアリマス、其點ニ付キマシテ貴族院ノ諸君ガ善ク、眞ニ深甚ナル考慮ヲ以テ此問題ヲ如何ニスベキカト云フコトヲ御考ヘニナルノガ必要デアリ、又ソレハ御考ヘニナルデアラウト思フゾデアリマス、デ私ハ其諸君ガ御考ヘニナッタ結果ガドウナルカト云フコトハ少シモ分リマセヌガ、假ニ斯ウナル、斯ウナルトシタナレバ政府ハドウ云フ御考デアラウカト云フコトヲ質スコトハ私ガ此問題ニ對シテ態度ヲ決メルコトニ非常ニ關係ガアルカラ總理大臣ニ御尋ラシタイノデアリマス、假ニ貴族院ガ但書ヲ附ケテ、貴族院ノ決議ニ依ッテ幾ラカ延バスコトガ出來ル、一昨年ハ、一週間以内ト云フ但書ヲ付ケテヤウデアリマスガ、是ガ二週間モ、三週間モト云フコトニナリマス、別ノ問題ニナリマスガ、例ヘバ三日トカ、五日トカ云フコトヲ限ツテ、原則トシテハ原案デ宜シイ、但シ特別ノ事情アリト貴族院ガ認メタキニ於テハ其決議ヲ以テ一週間以内ノ間ニ於テハソレハ正確ニハ決議ノ時ニ決マリマセウガ、ソレトナノ期日ヲ延バスコトガ出來ルト云フコトニ致シマシテ、同時ニソレト同ジヤウナ規定ヲ此議院法四十條ニ加ヘマシテ、衆議院ニ於テモ矢張り同ジヤウナ特別ノ事情アリトシタトキハ衆議院ノ決議ヲ以テ貴族院ト同ジ期間、例ヘバ五日ナラ五日ト云フモノヲ延バスコトガ出來ルト云フ修正ヲ假ニ貴族院ガ可決致シタト致シマス、其場合ニ付テニソノコトヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ハチウ云ウ修正

ニ政府ハ御賛成デアリマセウカ、サウ云フコトガ假ニ可決ニナツタトシタトキニ…第一ニハ…第一ニ單ニ御賛成デアリマセウカ、同意サレルノデアリマセウカト云フコトデアルガ、第二ニ御尋ネシタイコトハ其同意ガ消極的ニサウナレバ仕方ガナイ、ソレデモ宜イト云フコトニ止マラズシテ政府ハ更ニ一層積極的ニ此問題ヲ何時マデモ此儘ニシテ放置シテ置クト云フコトハ面白クナイカラシテ何トカシテ總ヲヤ、謂ハバ妥協シテ圓滿解決ヲ付ケヤウト云フ御考ヲ持ツテ、全力ヲ盡シテ、衆議院ヲシテ貴族院ノ修正ニ同意セシムルコトニ積極的努力ノ態度ヲ執ラレルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカト云フコトガ第二ノ點デアリマス、第二ノ點ハ積極的態度ヲ執ラレルト致シマシテ、即チ第一ノ問ヲ肯定サレマシテ其次ニ起ル御問デアリマスガ、政府ハ全力ヲ盡シテ御盡力ナサレマシタ結果衆議院ハソレニ同意セラレルデアリマセウカ、ソレハ衆議院ノコトデアリマスカラシテ總理大臣ト雖モ、今カラシテ御確答ハムツカシイコトデアラウト思ハレマスガ、只今總理大臣ノ御考ニ於テハ、非常ニ色々ノ事情ガ錯綜シタリ、新ナル事件ガ起ルト云フヤウナコトニナレバ、是ハ別問題デアルガ、只今ノ事情ノ下ニ於テ今ノ政府ノ考デア、政府ハ全力ヲ盡シテ何トカ妥協的ニ解決シヤウ、貴族院ハ幸ヒ、サウ云フ態度ニ出タト云フ時ニ於テハ、全力ヲ盡サレマシタトシテ衆議院ハソレニ同意スルデアリマセウカ、ソレトモ衆議院ハ尙ホ「ト云フ風ナ態度ヲ執ツテ行クデアリマセウカト云フ總理大臣ノ只今ノ御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス

此何の實際今年ノ如キハ行ハレナイヤウナコトデゴザイマスカラ、今日ノ事實ガ既ニ此法案ヲ否決シテ居ルヤウニ思フノデスケレドモ、斯ウ云フ場合ニハドウスルト云フ御考デゴザイマスカ

國務大臣(若槻禮次郎君)

是ハ豫算ノ審査ノコトニ付テハ、豫算委員會ニ於テハ豫算委員會デ御決メニナツテ、サウシテ豫算トシテハ離レテ御議決ニナツテモ宜シカラウト思ツテ居リマスケレドモ、併シ成ルベク法律ト一致セシメルト云フコトユスル方ガソレハ形ノ上ニ於テハ誠ニ結構サコトデアリマスカラ、サウナラバ又ト云フレバ豫算委員會ノ決定ノ後ニ本會議ノ議事ヲ御延シニナツテ居ツテ、其本會議ニ豫算ヲ掛タツ時ニアラ法律案ノ運命ガ豫期セラレタ通りニ行キマセテサウナラバ、其時ニ本議場デソレニ應ジテ修正ヲセラレルト云フコトニナリマシタナラバ、期限ガ定メラレテモ實際ニ於テハ豫算ト法律ト一致セシメルト云フ意味ノ趣旨モ行ハレ得ル下斯ウ思ヒマス、併シ場合ニ依ツテ豫算ト法律トハ別ニナツテ居リマシテモ、ソレガ法律ガナケラネバ豫算ノ實行ガ出来ヌモノナラバ豫算ニアリマシタ所ガソレハ成立セヌト云フコトニナリマスカラ、御考次第ニ依ツテサウ云フヤウニ御考モ出来ヌコトハナカラウト思ツテ居リマス

男爵阪谷芳郎君

此法文ヲ見マスト云フト豫算委員ハ其院ニ於テ受取ラタルデアリマスカラ二十一日、二十二日ト云ツテモ近年ノヤウニ大體ノ質問ガ本會議ヲ一週間モ掛ツテ居リマスカラ、豫算委員ニ付託セラレルト云フコトニナルト云フト、二十一日ハ矢張り貴族院ガ受取ツタ日カラ計算スルコトニナルト、二十一日ノ審査期限ト云フモノハ半減サレルコトニナルヤウデスガ、矢張りサウ云フ意味ナシデセウガ、非常ニサウスルト無理ノコトニナルヤウニ思ヒマスガ

國務大臣(若槻禮次郎君) 其點ハ豫算ノ提出ハ兩院トモ豫算ハ直ダ豫算委員會ニ、常任委員タル豫算委員會ニ掛ルコトニナツテ居リマスノデ、衆議院モ矢張り同様デアアルノデアリマス、ソレデ事實ハ御承知ノ通り衆議院ニ於テハ本會議ノ質問ノ多イト云フト、大抵相當ノ日數ノ所デ質問ヲ打切ツテ豫算總會デヤツテ居リマスガ、是ハドウセカケレバナラヌト云フコトハ私ハ申シタノデアリマスガ、衆議院ニ於テハ矢張り同様デアアルカラ本會議ト豫算總會デ調和サセテ、二十一日間デ審査サセテ居ルト云フコトニナル現狀デアリマス、ドウシテモ日限ガ定メラレタナラバ自ラ何處カ相當ナル所デ本會議ノ日限ヲ切ラレテ、豫算總會トノ調和ヲ計ルコトニナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、私ハサウシナケレバナラヌト云フノデアリマスガ、衆議院ニ於テハサウ云フヤウニシテ調和ガ取レテ居ルヤウデゴザイマス

男爵阪谷芳郎君

貴族院デハ御承知ノ通りニ初期ノ議會デ決メタ豫算案議定細則ト云フモノガアツテ、豫算委員長ガ貴族院本會議デ審査期限ヲ何日ト決メルト云フコトヲ發議シナケレバ、審査ニ掛ルコトガ出来ナイノデアリ

ハ今御述ベニナリマシタヤウニ衆議院ハ其議長ノ許可ヲ得ヌデモ、議場ノ許可ヲ得ヌデモ、直グ豫算
 ハ當然豫算委員ノ手ニアルト解釋ヲシテ居ルカ知レヌガ、貴族院ノ方ハサウナツテ居ラス、サウスルト二
 十一日ト云フモノハ非常ニ無理デ、十五日位デ豫算ヲ決議シヤウト云ツテモソレハ出來ヌコトニナリマ
 シテ、毎年紛議ガ起リハセヌカト思ヒマス、デ今總理大臣ガ仰シヤルノハ貴族院ノ慣例ヲ改メロ、又豫算
 案議定細則ヲ改メロト云フコトヲ御強ヒニナルヤウニ聞キマスルケレドモ、貴族院ハ貴族院ノ權限ヲ決
 メタモノデアルカラ、サウ政府ノ御示シ通りニ規則ヲ變ヘルコトハ出來ヌコトデアラウト思フノデスガ、
 サウナレバ根柢ニ於テ豫算委員ガ受取ツタ日ヨリト云フコトニナツタナラバ宜イカ知ラヌガ、本院ガ受
 取ツタ日カラト云フコトハ到底ドウモ貴族院デハ成立チマセヌヤウニ思ヒマスガ、
 國務大臣(若槻禮次郎君) 大抵御意ハ日邊ノ趣ニ御聞キ、貴族院ハ豫算委員會ヲサマシメ、
 唯今ノ所デハ貴族院ハ豫算審査期限ガアリマセヌカラ、從ツテ豫算委員長ガ審査期限ヲ議場ヲ定メラレ
 テ、ソレニ基イテ豫算委員會ノ審査期限ガ定メラレタデアリマスガ、法律ヲ改正オタシマスト衆議院ト同様ニ
 國ナルヨラウト思ヒマス、衆議院ノ方ハ直グ常任委員タル豫算委員ニ掛ケル、貴族院デハサウデハナイト云
 フコトニ法律ガ改正ニナルトサウハ行クマイト思ヒマス、サウナツテ後ニドウ御前ハ考ヘルカト云フ御
 意デスリマスカラ、ソレデ申上ゲマシタ、決シテ貴族院ヲシテドウ云フ風ニシテ慣例ト調和ヲ左様ニナサ
 ル方ガ宜イイト云フコトヲ私ハ申スノデアリマセヌケレドモ、私ガドウ見ルカト云フコトデアスヤウシ

タカラ一應申上ゲタ次第アリマス

男爵阪谷芳郎君

貴族院モ衆議院モ是ハ一ツニナツテ帝國議會ト云フモノニナルノデアアル、デ帝國議會トシテ今豫算ノ審
 査ノ上ニ於テハ、衆議院ハ先議權ヲ持ツテ居ルニ依ツテ二十一日ニ制限セラレテ居ル、貴族院ハ制限ヲ受
 ケテ居ラスノデアリマスガ、之ヲ今色々先刻來質問シタヤウニ無理ナコトガアツテモ、マア衆議院ト貴族
 院ト見タ所ガ不平等ダカラト云フヤウナコトデ、審査ノ期限ヲ極メルト云フコトニナレバ、帝國議會ノ豫
 算審査ノ權限ト云フモノハ、法律ニ依ツテ非常ニ束縛ヲ受ケルヤウニナルト思フノデス、是ハ由々敷大事
 ダラウト本員ハ思フノデス、ソレモ必要ガアレバ議院自ラ議院ノ權限ヲ縮少シテモ宜イケレドモ、今日ノ
 日本ノ憲法ト云フモノハ、會期モ九十日ニ制限セラレテ、モウ會期ニ付テハ貴族院ハ少シモ、ソレヲ延バ
 ス權能ハ持ツテ居ナイ、デ總テノコトガ憲法ト法律ニ依ツテ轉バラレテ居ル、此九十日間デ豫算ノ如キ重
 大ナルモノハ十分ニ審議シナケレバナラス、其間ニ於テ色々變化ガ起ツテ來ル、政治問題モ起ルデアラ
 ウ、ケレドモ兎ニ角貴族院ノ方デ十分ニ審査ノ期限ヲ持ツテ居ルト云フ上カラ見レバ、ソレダケ帝國議
 會ノ權限ガ認めラレテ居ルノガ、殊更ニ縛ルト云フコトハチヨット憲法政治ノ發達ノ上カラ見ルト、逆轉
 ノヤウニ見エマスケレドモ、ソレハドウデアリマスカ、

國務大臣(若槻禮次郎君) 第五十二回議會 衆議院案 貴族院委員會

チカツタ理由ハ分リマシタガ、御賛成ナレタ経路、度々反對ヲ唱ヘラレテ居ツテ最後ニ至ツテ御賛成ノ意ヲ表セラレタ所以ガ了解シ登ネマスノデ、分リ易ク一ツ打解ケテ御説明ヲ願ヒタイ、

國務大臣(若槻禮次郎君) 出来...

誠ニ御尤ナ御質問デアリマス、衆議院ニ於テ政府ノ答辯ハ前後少シ矛盾シテ居ルノデアリマス、ソレデモリマスカラ從テ唯今御尋ネニナルヤウナコトハ誠ニ御尤ナ御質問デアリマス、内務大臣代理ガ言ハレタノハ丁度其處ニアリマス通り、ソレカラ又法制局長官カラ答辯シタノモ其通りデアリマス、當時私ハ議場ニ出テ居リマセヌデ、其答辯ヲ承知シナカツタノデアリマス、後カラ報告ヲ受ケマシテサウシテ政府デハ其答辯ノ趣旨ヲ考慮イタシテ、ドウモサウ云フヤウナ答辯ヲスルト云フコトハ政府ノ立場トシテ許サヌコトダト、斯ウ考ヘマシタ、サウシテ私ハ最後ニ唯今此處デ申上ゲルト同ジ意見ヲ衆議院ノ委員會デ述べタノデアリマス、即チ政府ガ二度モ提案シテ居ルノデアリマスカラ案ノ成立ヲ希望セヌト云フ譯ニハ參リマセヌ、唯政府ハ當院ニ於テ容レラレルコトニ付テハ見込ガ立タナカツタノデアリマス、ソレデ提案シナカツタノデアリマス、併シ案自體ニ不同意ヲ述べルト云フコトハ、政府ガ二回モ提出シテ居ル案ニ於テ出来ウベキコトデナイノデ、是ハ政府ニ於テ十分議ヲ盡シマシタ上ニ誠ニ今御指摘ニナルヤウナ工合ニ前後矛盾シテ面白クアリマセヌケレドモ、私ハ二回提出シタ趣旨ヲ以テ、趣意ニハ固ヨリ同意スル次第デアリマス、趣意ニ同意スル以上本案ノ成立ニ反對スルト云フ譯ニハイカヌノデアリマス、矢張本案ノ成立スルト云フコトハ政府ハ望ム所デアアル、斯ウ衆議院ノ委員會デ申シマシタ...

男爵阪谷芳郎君

私ハ古イコトヲ少シ申サウデアリマスケレドモ、唯今ノ議院法ニアリマスル衆議院ノ豫算審査期限ヲ定メマシタノハ私ガ其當時筆ヲ執リマシタノデス、ソレガ容レラレテ... 大藏省デ筆ヲ執リマシタノガ容レラレテ其議院法ノ中へ入りマシタ、其始メハ二週間デアリマシタ、二週間デアリマシタノガ後ニ森本某ト云フ人ガ衆議院デ三週間ニ延バシタイト云フコトヲ提案シテ、ソレガ何度モノ、貴族院ノ方ニ廻ツテ今日ノ三週間ト云フコトニナツタ、ソレデ其當時何故大藏省カラ豫算ノ審査期限ヲ付ケルト云フコトヲ法律ニ入レテ貰ツタカト申シマス、當時ノ日本ノ民權論ハ豫算ヲ押ヘテ政府ニ色々ナ事ヲ迫ラウト云フ歐羅巴ノ豫算制度ノ發達ヲ論據トシテ居ツタノデス、然ルニ日本ノ憲法デハ他ノ憲法ニ例ノナイ九十日ト云フ期間ヲ定メルト云フコトニナツテ居ルノデスカラ、ソレデ大藏省デ其上ニ此豫算ヲ衆議院ニ先議權ヲ與ヘルト云フコトデアルト甚ダ此豫算ノ成立ニ困難ヲ來スデアラウ、殊ニ當時ノ民權論ハマダ甚ダ淺薄ナル民權論デアツテ面白クナイカラト云フノガ論據デアリマシテ、ソレデ此二週間ト云フコトノ審査期限ヲ衆議院ニ於テ定メ、ソレガ後ニ今日ノ三週間ニナツタノデアリマス、私ガ考ヘマスノニ今日ハ既ニ憲法政治ガ多年布カレテ能ク豫算ト云フモノニ付テモ衆議院モ貴族院モ熟シテ參リ、毎年々々ヤルコトデアリマスカラ... 又政黨政治ト云フヤウナコトモ段々發達シテ豫算ヲ抵當ニ取ツテ政府ヲ脅迫スルト

云フヤウナコトハ、マア今日ハ豫想セラレヌヤウデア、サウシテ見レバ貴衆兩院トモ各々最善ヲ盡スト云フ今日ノ氣運ニ向ツテ居ル以上ハ、他ノ國ニ餘リ例ナク議院法ニ衆議院ノ豫算審査期限ヲ入レルト云フヤウナコトハ事口御改メニナツテハドウデアラウカ、審査期限ヲ法律デ極メルト云フコトハ貴族院モ衆議院モドツチニモナイ、サウシテ政府ハ即チ多數ヲ有ツタ政府ガ内閣ニ居ルノデスカラ如何ヤウニデモ豫算ノ進行ヲ圖ラレテ貴族院ノ方ヘ御廻ハシニナルハ、又或ハ今貴族院ガヤツテ居ルヤウニ審査期限ヲ御定メニナル、是ハ一番公平ナ便利ナ方法デナイカ、若シ政府ガ兩院ノ間ニ審査期限ノ間ニ法律上ノ差異ガアツテ誤解ガアルト云フナラバ、事口其誤解ヲ解クニハ衆議院ノ豫算審査期限ヲ御取リニナツタ方ガハツキリシヤセスカト本員ハ思フノデアリマス、其點ニ付テ政府ハドウ御考ヘニナリマスカ

國務大臣(若槻禮次郎君)

御質問ノ通り衆議院ノ審査期限ヲ止メマシテ衆議院モ審査ノ期限ハナイ、衆議院モ審査ノ期限ハナイト云フコトニナレバ、是ハ平等ニナリマスカラ、ソレモ私ノ申上ゲマシタ國民ノ眼ニ兩院ノ間ニ差別ノアルヤウニ映ラセナイト云フ上カラハ一應ハ御尤モノヤウデアリマスガ、何分日本ノ議會ハ通常議會ニ於テ豫算ハ審議シナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、又豫算ガ成立シナケレバ前年度ノ豫算ヲ執行スルト云フコトニナツテ居ル、而シテ其通常議會ト云フモノハ三箇月デ終ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、衆議院ノ豫算ノ審査ヲ非常ニ遅クセラレマス、ソレニ貴族院ニ於ケル審査ノ期間ハ

非常ニ短クナラウト思ヒマス、ソレデ矢張り通常議會ガ三箇月ト云フコトニ制限セラレテ居リ、豫算ノ不成立ノ場合ニハ前年度ノ豫算ガ執行サレルト云フ今日ノ制度ガアリマス以上ハ、矢張り衆議院ノ豫算ノ審査ノ期間ノ定マツテ居リマスコトガ、是等ノ事情ト調和スル上ニ大變ニ便利ダト思フノデアリマス、又衆議院ノ此二十一日間ノ期間ノ在ルコトハ、期間ノ無イヨリモ幾ラカ制限ヲ受ケテ居リマスカラ不便カモ知レマセヌガ、是ガ不便デアツテイケスト云フ議論ハ、今日ハ未ダ衆議院ニ起ツテハ居ラヌノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、幸ニ、斯ウ云フ通常議會ノ會期ガ定マツテ居リ、前年度豫算施行ト云フ制度ガアリ、サウシテ唯今ノ所、先議權ヲ有ツテ居ル衆議院ハ一定ノ期間デ別ニ不便ヲ感ジテ居ナイト云フノデアリマスカラ、ソレヲ今改正スルト云フコトハ如何カト思フノデアリマス

委員長(公府近衛文磨君)

速記ヲ止メテ、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマシテ引續イテ懇談ニ移リマス

三月二十二日

委員長(公府近衛文磨君)

開會イタシマス、大體御質問モ終ツタヤウデアリマスカラ、討論ニ入りマス

男爵阪谷芳郎君

本員ハ本案ハ否決スベシト云フ考デゴザイマス、委シイ理由ハ質問ノ際ニモ申述ベク通リデゴザイマス、本員ノ考ヘマスルニハ憲法ハ勿論ノ事デアリマスガ、憲法附屬ノ其議院法ノ如キ議會ノ機能ニ關スル重要ナ法案ト云フモノハ餘程重大ナ理由ガナケレバ之ヲ輕々ニ修正スベキモノデヤナイト思フノデアリマス、然ルニ先日總理大臣ノ御答辯ニ依ツテ見マシテモ、何等重大ノ理由ト云フモノハナイ、唯、衆議院ト貴族院ト同ジヤウニシタ方ガ國民モ疑ハヌデアラウト云フヤウナ甚ダドウモ總理大臣ノ御言葉トシテハ私ハ分ラナイ、非常ニ國民ヲ幼稚ナモノト見ラレテ居ルヤウニ考ヘテ居ルソデアリマス、ドウモ總理大臣ノ辯明ニ依ツテ、何等根據ハナイ、ドウシテモ改正シナケレバナラヌト云フ根據ガナイ、是ニ反シテ本員ガ質問シタ現在貴族院ガ今審査期限ガ足ラナクテ困ツテ居ルデヤナイカ、是ヲドウ爲サルカト云フコトニ對シテハ、何トカ豫算ノ議定概則ト云フヤウナモノデモ少シ貴族院デ變ヘテ貴族院ヲドウカナルマ、イカト云フ話ナンデスガ、ソレハ議定概則ト云フモノハ貴族院デ決メタモノデアアルカラ變ヘラレヌコトモアリマスマイケレドモ、是亦多年ノ殆ド議院アツテ以來歴史ヲ成シテ居ル、慣例ヲ成シテ居ル、サウ云フモノヲ是亦重大ノ理由ナシニ變ヘテ見ヤウデヤナイカト云フコトハ、是モ子供ダマシノヤウナ話デ、貴族院ノ態度トシテハ如何デアリマセウカ、面白クナイコトト私ハ思フノデス、ソレニ貴族院、衆議院ヲ合シテ是ハ帝國議會ト云フノデアツテ、其帝國議會ト云フ上カラ見レバ、貴族院ノ權限ヲ拘束スルノモ、衆議院ノ權限ヲ拘束スルノモ、矢張り帝國議會ノ詰リ權限ガ拘束セラレルノデアルハ、ソレハ成ルベク帝國

議會トシテ其權限ハ拘束セラレヌノガ正當ノ道理デアラウト思フノデス、貴族院……衆議院ハ豫算ノ審査ニ付テハ先議權ヲ持チ、貴族院ハ豫算ノ審査並ニ法律案トノ關係ヲ取捕ヘテ審査スルト云フガ爲ニ審査期限ヲ附シテナイ、是ハ誠ニ尤モナコトデアアル、サウ云フ尤モナコト、又事實現在ニ於テ差支ヘテ居ル、ソレニモ拘ラズ重大ナル議院法ト云フモノヲ、唯、國民ガ變ニ思フ、變ニ思フト云フヤウナコトハ理由ニナラナイ、サウ云フ理由ノナイ修正ト云フモノハ、專ラ世ノ中ノ一部ノ誤レル議論ニ迎合スルト云フコトニナル、我々貴族院議員トシテノ職責ハ世ノ中ノ誤レルコトヲ正シテ、國政ト云フモノヲ正當ナル基礎ト上ニ置クト云フコトガ、貴族院議員ノ職責デアラネバナラヌ、然ルニ唯一部ノ人ノ言フコトヲ迎合スルト云フヤウナ薄弱ナル根據ヲ以テ議院法ヲ修正スルト云フコトハ、私ハ斷ジテ宜シクナイト思ヒマス、ソレ故ニ前年モ此法案ヲ否決イタシマシタ、此度モ矢張り前年通り否決ニナランコトヲ希望イタシマス、

小野塚喜平次君

諸先輩ガ澤山居ラレマスノニ、私ガ起ツノハ甚ダ僭越ノヤウデアリマスガ、私ハ此コトニ付テ前ニ本會議ニ於テ發言シタヤウナ關係モアリマスシ、私ノ意見ガ非常ニ好イ、阪谷男爵ノ御意見ガイケナイト徹頭徹尾思ウテ居ルト云フ譯デアリマセヌガ、丁度少數ノ委員會デアリマスカラ、私ノ意見ガ間違ツテ居タラ他ノ方カラ訂正シテ戴キタイ、私ハ一人一黨デ何等此問題ニ對シテ天下ニ意見ヲ公表シタコトモナシ、極メテ自由ナ立場デアリマスカラ、私ガ今思ツテ居ルコトガ間違デアルナラバ、今デモ直チニ之ヲ變ヘルト云フ

ヤウト態度デ居ルノデアリマス、ガ併シ今マデ一應此問題ヲ考ヘテ見、又貴衆兩院ノ本會議及委員會ノ速記録ナドヲ一通リ拜見イタシマシタガ、ソレヲ材料トシテ考ヘテ見タ上ニ、唯今阪谷男爵ノ仰ツシヤウタヤウナ結論ハ、ドウモ不幸ニシテ意見ガ違フコトニナルノデアリマス、阪谷男爵ノヤウナ、此議院法制定ニモ關係ヲナツタヤ、其後色々ノ關係ニ於テ議員生活トカ、政治ノ實際トカ、豫算トカ云フモノニ付テノ私ノ先生様デアアル阪谷男爵ニ反對スルコトハ其ダ苦シイ譯デアリマスルケレドモ、少シ講義メクカモ知レマ小モ、諸君ニ教ヲ乞フト云フ意味ニ於テ述ベテ見タイト思ヒマス、此問題自身ガ、大キイ問題カ小サイ問題カト云フナラバ、普通ニハ貴族院豫算審査期限ノ問題ト云ハレテ居リマスケレドモ、實ハ御存知ノ通りヤウデハナクシテ、豫算委員會ガ其委員ニ於テ受取ツタ日ヨリ本會議ニ報告スル日數、豫算委員會ノ審査期限ト云フ問題デアリマシテ、無論ソレハ本會議ノ審査期限ト云フコトト幾ラカ關係イタシテ居リマスケレドモ、此問題ヲ例ヘバ衆議院ノ言フヤウニシタ所ガ、貴族院ナルモノノ豫算審査期限ガ極マツテ仕舞ウ、イツマデト必ズ極マツテ仕舞ハナケレバナラヌト云フ拘束ヲ受ケルコトデハナイト云フコトハ一ツノ重要ナル點ト思フノデアリマス、其見方カラ見ルト、單ニ豫算委員會ノ審査期限デスカラ割合ニ小サイ問題ニナルト思ヒマス、小サイ問題ニナルト云フコトハ一方カラ見ルト、ソナニ争ハヌデモ宜イト云フコトニモナリマスシ、争ツテモ亦宜イト云フコトニモ見様ニ依ツテハナリマスガ、兎ニ角問題トシテハ小サイト云フコトデアリマス、私ハ此小サイ問題トシテ争ツテ見ヤウト云フ意味デハナクシテ、寧ろ此問題ガ見様

ニ依ツテハ大キイ問題ト私ハ考ヘルノデアリマス、其大キイ問題トシテ見ルト云フト何トカ解決スル方ガ宜イ、之ヲ解決シナイト云フコトハ禍ヲ次ニ遺スモノデアルト云フ考デス、ドウ云フ風ニ大キイ問題ト見ルカト云フト、是ハ色々政府トカ人々ニ依ツテハ色々言ヒマスケレドモ、實際ニ於テハ矢張り所謂貴族院改革ノ一部トシテ此問題ガ起ツテ來テ、今マデ解決ヲ見ナイ問題デアルト思フノデアリマス、又貴族院改革ト云フ問題ハ早晚何レ發生スルダラウト思フノデアリマス、其發生スル前ニ此問題ヲ打ツチヤツテ置ク方ガ宜イカ、又ハ處分シテ仕舞ウ方ガ宜イカト云フナラバ、色々ノ點カラ兎ニ角相當ノ解決ヲ付ケ得ルモノナラバ、此問題ハ此問題トシテ早ク解決シテ行ク方ガ宜イト思フノデアリマス、殊ニ三遍、兎ニ角衆議院ノ方カラ廻ツテ來テ居ル初メノ二遍ハ政府ノ提出デアルシ、殊ニ昨年ノ如キハ衆議院ノ在野黨デアリマシタカ、政府ト提出ノ競争ラスルト云フヤウナ妙ナ現象ヲ見タノデアリマス、兎ニ角衆議院ヲ通過シテ三遍來テ居ルノラドウスルカト云フ問題デアリマスカラ、尙ホ此コト自身ガ小サクテモ其影響ガ大キイ、若シ否決スルト云フコトニナルト、可ナリ影響ガ大キイ、ト云フコトヲ覺悟セネバナラヌ、斯ウ思フノデアリマス此點ハ申上ゲル迄モナク、尙ホ色々内外多事デ具體的ニ解決ヲ要スベキ問題ガ澤山アルノデアリマス、其際ニ割合ニ小サイ問題ニ付テ、ソレヲ大キクシテ兩院ガイツマデモ反目スルト云フ風ナ状態ニアルト云フコトハ好マシクナイト思フノデアリマス、ソレデアアルカラ此問題其物ダケヲ見テ、局限シテ見ルト云フト、貴族院ノ理由、阪谷男爵ノ仰ツシヤルコトニ頗ル尤モノ點ガアルト思ヒマスガ、稍廣ク見テ大局

カラ見テ考ヘルト云フト、此問題ヲ何トカシテ解決ヲ早クスルコトが必要ナル、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、廣ク見ルトカ、大局カラ見ルトカ云フコトハ、詰リ世間一般ガ此問題ヲ何ト考ヘルカト云フコトト、將來ニ於テ子孫ガ何ト考ヘルカト云フ風ニ廣ク此問題ヲ考ヘタイノデアリマス、サウ云フ風ニシテ考ヘタイノデアリマスガ、其考ヘ方ノ道筋ヲ辿リマシテ、謂ハハ本論ニデモ這入ツテ見タイト思ヒマス、ソレハ第一ニ申上ゲタイコトハ、本案ヲ 阪谷男爵ノ御意見ノヤウニ否決スルト云フコトハ形式論カラ見テ不當ナル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレハドウ云フ意味カト申シマス、貴族院ニドウ云フ内部ノ事情ガアリ、又各人ハ色々御意見ノ差ガアツタデアリマセウガ、兎ニ角發表セラレタル確ナ事實ニ照シテ見マスト云フト、曩ニ一度ハ原則ハ承諾シ、但シ書ヲ附ケタト云フコトガアル、五十議會ニ於テソレハ決議ニモ現ハレテ居リマス、又阪谷男爵ノ御反對ハ其時モ「委員會ニ於テハ自分ハ反對デアツタガ」云々と仰ツシヤイマシテ、結局「本員ハ其原案ニ賛成ノ意味ヲ一言、即チ委員長報告ノ通リト云フ意味ヲ一言述べテ置キマス」ト云フコト一番終ヒノ文句デアリマスガ、兎ニ角阪谷男爵ハ始終説ヲ變ヘラレナイデ、此案ハ不當デアルト云フ御意見デアツタヤウニ見エマスガ、併シ五十議會ニ於テハ色々ソコニ説明ガアリマスガ、マア但シ書ヲ附ケルナラハ是デ我慢シヤウト云フコトハ、阪谷男爵ト雖モ讓歩ナスツテサウ云フコトヲ明言セラレテ居ル、速記録ニアルノデアリマス、又岡野敬次郎博士ハ大正十四年三月二十七日デアリマスガ、兩院協議會ニ於テ、是ハ大分長イノデアリマシテ且ツ餘程阪谷男爵ヨリハ穩カト云ヒマスガ、原則ハ確ニソレデ結構デアル、唯已ムラ得ザル事由アルトキハ一週間ト云フ但シ書ガ必要デアルガ、是ハ輕ニ利用スル意味デナイト云フヤウナコトヲ兼ネテ兩院協議會デ述べテ居ラレルノデアリマス、其速記モ此處ニアリマスガソレハ略シマス、兎ニ角サウ云フ譯デアリマスカラ五十議會ニ於テハ原則ハ宜シイ、一週間ト云フ此但シ書ハ必要ダ、斯ウ云フコトヲ主張セラレタノデアリマス、サウスルト其後院議會重ト云フコトモ例外ガアリマセウガ、大體ニ於テハ結構ナ主義ダト思フノデアリマス、其主義カラ申シマシテ、事情ガ變ツテ前ニサウ云フコトヲ言ツタ、今度ハ新タナル事情ヲ發見シタカラソレハ前通りニ行カナイ、院議ヲ翻ヘシテ斯ウ云フコトヲセナケリヤナラヌト云フコトニハ、無論相當ノ理由ガアルナラバ何人モ認メマスガ、併シ相當ノ理由ガアルカト云ヘバ、其理由ヲ明ニ討議シタト云フコト、其討議シタト云フコトヲ公ケニ天下ニ示スト云フ條件ガナケレバナラヌ、然ルニサウ云フ條件ハ昨年ハ變ヘテ、一昨年ノ但シ書ヲ除イテ仕舞ツテ、直グニ否決スルト云フコトヲ昨年ノ特別委員會デハ全會一致デサレマシテ、ソレヲ委員長ガ報告サレマシタカラ、其時ニ私ハ是ハ不思議ダト思ツテチヨット質問ヲシタト云フコトガ、私ガ此問題ニ初メテ嘴ヲ出シタ始メデアリマス、私ハ今デハソレト同ジ考ヲ有ツテ居リマシテ、何か變ツタト云フコトニ對シテ公ケニ言ヘル、又言ツタ所ノ理由ガアルナラバ宜イガ、サウデナケレバ實際ニ於テハ色々理由モアリマセウガ、唯理由ナシニサウ云フ風ニ貴族院ガサレルト云フコトハナイト思ヒマスケレドモ、其理由ハ我々ガ或ハ天下一般ガ唯察スル外ハナイ、察スレバソレデ宜イト言フ人モアリマセウシ、其理由ハ

宜クナイト云フ人モアリマセウ、形式カラ言ヘバ察スルト云フヤウナコトニ委カシテ、サウシテ前ノ院議ヲ
翻ヘシタト云フコトハ貴族院トシテイケナイト云フ、斯ウ云フ非難ガ來テモ、私ハソレニ對シテ反駁ヲ加ヘ
ルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ謂ハレ形式論デアリマスガ、更ニ一步ヲ譲リマシテ、サウ云フ形式論
ノ目ヲ以テ立ツト云フコトヲセズシテ、然ラバ實質論カラ亦見テ、此一體法案ト云フモノハ否決スベキモノナ
リヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、矢張り速記録及貴族院ノ談話室、色々ナ所ニ於テ色々ナ方カラ此問題ニ付
テ御話ヲ承リマシタガ、サウ云フヤウノコトヲ總テ綜合イタシマシテ、反對論者ニ敬意ヲ表シマシテ、反
對論者ガ強ク言ハルル是ハ幾ラカ一應尤モデアラウト思ハレルヤウナコトヲ舉ゲテ見マシテ、ソレハ一
應尤モデアルトモ見ユルガ、併シソレガ、全部ノ眞理デハナイ、見ヤウニ依ツテハ實質論カラ言ツテイケナ
イ、反對論ガ立ツト云フコトヲ項目ニ分ケテ簡單ニ述ベテ見タイト思ヒマス、其第一ノ項目トシテハ阪谷
男爵ノ仰シヤツタ點デ、是ハ否決論者ノ最モ有力ナル理由デアル、其理由ハ私自身ト雖モ尊重スルコトヲ
決シテ躊躇シナイ理由デアリマス、ソレハ即チ豫算ト豫算ニ關係アル所ノ法案ヲ調和スベキ責任ヲ貴
族院ガ有ツテ居ル、其貴族院ガ豫算ニ於テ發表シタル所ノ意思ト、法案ニ於テ發表シタル所ノ意思ガ違
ツテ來ルト云フヤウナコトハ甚ダ不道理デアル、サウ云フ不道理ナコトヲ避ケル爲ニ十分審査期限ヲユツクリ
トシテ、即チ法律ヲ以テ豫算委員會ノ審査期限ヲ制限スルト云フヤウナコトハナクシテ、是迄ノ通りニヤ
ツテ置タ方ガ宜イ、斯ウ云フ御主張デアリマシテ、ソレハ一應尤モデアルト思ヒマス、併ナガラソレニ對

シテ、ソレナラバ反駁スルコトハ出來ナイカト申シマスト云フト、ソレニ對シテモ其有力ナリト認メツ
ツ、尙ホ反對論ヲ言フ所ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトヲ言ヒ得ルカト申シマス
ト云フト、一ツハ今申シマシタ豫算ト之ニ聯關スル所ノ法案ヲ調和シテ行クト云フ責任、ソレハ貴族院ト
シテ無論持ツテ居リマス、併ナガラ衆議院トシテモ理窟上持ツテ居ルノデアアツテ、唯是マデノ慣例上衆議院ハ
豫算ノ方ハ早ク可決シ廻送スル、法律ハ割合ニ惡意デハナイノデアアリマセウケレドモ、割合ニ後廻シニシ
テ行クト云フコトガアル、斯ウ云フ譯デアリマスガ、併シ理窟カラ申シマスト云フト衆議院ト雖モ豫算ト
ソレニ聯關スル法案ニ矛盾シタ意思ヲ表示スルト云フコトハ不都合デアルカラ、出來ルコトナラバソ
レヲ纏メテ付ケテ兩方共同ニ送ル、サウデナケレバ法案ヲ先ニ送ルト云フコトヲスル責任ガアル、衆
議院ニ責任ガアルト言ヒ得ルト思ヒマス、併シ衆議院ト貴族院トヲ比ベテ見ルト云フト、ソレハ貴族院ノ
外ニ第三院ガナイノデアリマスカラシテ、尙ホ其調和ヲ盡シテ行クト云フ深切心ヲ發揮シテ行クト云
フ必要ガアルト云フコト、即チ同ジク同等ノ責任アルトシテ、貴族院ハ尙ホ責任ヲ重ンズルコトガ多イト
云フコトモ私ハ認メマスケレドモ、其點ニ付テ衆議院ヲ餘リ責メルト云フコトモドウカト思フノデアリ
マス、色々慣例ガ違ツテ居ル、又衆議院ノ方デハ豫算ト云フモノヲ早ク廻シタ方ガ貴族院ノ審査ノ上ニモ
宜カラウト云フ意味ニ於テ早ク廻シテ、法案ノ方ハ稍、悠ツクリ審査スルト云フヤウナコトデアツタカ
モ知レマセヌ、サウカシバソレハ慣例ヲ改メテ兩方キチント括リ合ウヤウニシテ、初メテ貴族院ニ廻送ス

ルト云フコトヲ要求スルナラバ、衆議院ニ於ケル豫算委員會ノ審査期限ハ決マツテ居リマスケレドモ、衆議院ガ何時貴族院ニ豫算ヲ廻送スベキカト云フ期限ハ無論決マツテ居ラヌノデアリマスカラ、其期限ガ非常ニ遅レルト云フコトヲ覺悟セナケレバナラヌト思フデアリマス、サウ云フ一ツノチヨツト「ダイレムマヒト」云フモノガ其處ニ發生スルノデアリマス、第二ノ點ハ其豫算ト關係法案ト云フモノトヲ調和スルト云フ責任ト云フモノハ絶對的デハナイ、絶對的デナイト申シマスルノハ、豫算ト法律案ト云フモノハ同一デナイ、是ハ諸君ニ對シテ私ガ講釋スルノハ甚ダ失禮デスカラ略サウ上思ヒマス、外國ノ例チドト違ヒマシテ、豫算ト法律案、法律ト豫算ハ、或ル意味ニ於テ對立スル、見様ニ依ツテ法律ノ方ガ少シ優勢デアルト云フ風ナリ、日本ノ法律制度デアリマスカラシテ、其二ツ對立シテ居ルモノヲ飽迄モ必ズ括リ合セナケレバナラヌ、合ハヌ方ガ宜イケレドモ絶對的ニ合セナケレバナラヌノダト云フコトハ言ヘナイト思フデアリマス、第二ノ點ハ先程モ申上ダクヤウニ其責任ヲ調和セシムル、責任ト云フモノハ貴族院ニアル、豫算委員ト云フモノハ成ルベク、ソレハ總テ責任ハアリマセウケレドモ、豫算委員ト云フモノガ必ズセナケレバナラヌト云フコトデナクシテ、豫算委員ハ豫算委員ノ任務ヲ盡シテ、相當ノ期間ニ本會議ニ報告スルト云フコトデ豫算委員ノ任務ヲ盡シテ居ルト思フノデアリマス、其報告ヲ受ケタ所ノ貴族院ソノモノガ成ルベク調和スルト云フ責任ヲ全ウスルモノデアルト思フノデアリマス、其責任ヲ全ウスルト云フ場合ニ於テハ、豫算委員ガ是マデノヤウニ調和シテ呉レレバ一番容易イノデアリマスガ、サウデナクシテ反對

論者ノ言ハレルヤウニ、サウ云フ期間ヲ豫算委員會ニ與ヘナイ、早ク期限ヲ切ツテ出セ斯ウ云フコトデアレバ、但シ書ヲ附ケマシタ所ガ十分ニ反對論者ノ期待サレルヤウナコトヲ豫算委員會ガ爲シ得ナイカモ知レナイ、即チ形式ニ於テハ完了シテ議了シテ出スデアリマセウガ、實質ニ於テハ幾ラカ未完了ノ報告ヲ本會議デスルト云フ斯ウ云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、ソレハ私モ認メマスケレドモ、其時ニ貴族院ガ是迄ハ活用シナイト云フ貴族院規則第二百二十七條、即チ再審査ト云フ規定ヲ活用シナカッタト云フノハ、是レマデ豫算委員會デ審査期限ガ法定サレテナカッタカラ、規定サレテナカッタカラ斯ウ云フ活用ノ必要ガナカッタノデアルガ、斯ウ云フ規則ヲ活用スル場合ガアルト致シマシテ、活用スルコトガナイト云フコトナラバ初メカラ規定ガナイ譯デアルガ、初カラ活用スルコトガアルト云フ豫想ノ下ニ規則ガ設ケテアルメデアリマスカラ、我々ノ主張ノ如クナツタ曉ニ於テ此規則ヲ活用シテ、貴族院ガ更ニ或ル部分ニ再審査ト云フコトヲ豫算委員ニ命ズルト云フコトニスレバ、貴族院ハ本會議ニ於テ此調和ト云フコトヲ取ル、此責任ヲ盡スト云フ上ニ於テ遺憾トスベキコトガ餘リナイト斯ウ思フノデアリマス、此今ノ項目ヲ分ケテト言ツタ此第一ノ點デアリマスガ、即チ阪谷男爵ノ仰ツシヤル所ノ最モ有利ナリト私認メツ、併シ斯ウ云フコトモ言ハレルト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テハ希望ヲ是非、此希望ト云フモノハトダレケ實現サレルモノカ法定ノ效力ハ誠ニナイ、ソレナ事ヲ當テニシテ居ルト云ツテ御笑ヒニナルコトデアリマセウガ、併シ希望ハ是非言ツテ置キタイト思フコトハ法案ヲ提出スルト

云フコト及ビソレヲ衆議院ガ議決スルト云フコト、豫算ニ關係スルソレヲ政府及衆議院ニ對シマシテ、是迄ヨリハモット注意シテ早クシテ貰ヒタイ、サウデナケレバ貴族院ガ折角是迄ノ慣例ヲ幾ラカ破ル危険ヲ冒シテ、サウシテ讓歩シテ此問題ヲ解決シヤウト云フノニ政府ハ豫算ニ關係スル法律案ヲ遅ク出ス、衆議院モ驚ツクリシテヤルト云フヤウナコトデハ甚ダ迷惑デアルカラシテ、是ハ今迄ヨリハモット嚴重ニ早クヤウテ貰ヒタイト云フ希望ヲ私ト雖モ附加ヘテ表示シタイト思フノデアリマス、是ガ否決論ノ論旨ノ第一ニ對シテノ批評デアリマスガ、第二ノ論旨ヲ舉ゲテ見マスルト云フト、會期ノ末頃ニナツテカラシテ貴族院ニ豫算ガ來テ居ル、ソレニ前後シテ色々ナ重要法律案、豫算ニ關係スル若クハ關係ナイ所ノ重要法案ガ貴族院ニ提出サレテ非常ニ幅渡シテ來ル、隨テ豫算委員ニ差支ガ多クテ豫算ノミ迅速ニ處理スルト云フヤウノコトハ事實上出來ナイ、斯ウ反對論者ハ仰ツシヤルノデアリマス、是モ一應ハ尤モデアル、決シテ無理ノ事ヲ仰ツシヤルトハ思ヒマセケレドモ、是ニ付テモ矢張り反對ヲシ得ル餘地ハ相當ニアルト思フノデアリマス、其點ヲ舉ゲテ見ヤウト思ヒマス、其第一ハ貴族院ニ於キマシテ豫算委員ガ豫算ハ成ルベク法律案ト見合スケレドモ、併シ或ル場合ニ於テハ法律案ガ遅レルトナレバ、ソレハ先ヅ忍ビテ願ミナイコトニシテ、豫算ヲ成ルベク速ニ議了シテ本會議ニ報告スルト云フコトニナレバ、豫算委員ト云フ方ノ手ハ先ヅ手スキニナル、更ニ再審議ニ委託サレルト云フコトハ別問題デアルガ、サウデナケレバ豫算ト云フモノハ片付ケテシマフカラ豫算委員ハ會期ノ極々終リハ手スキニナル、斯ウ云フコトニナリマス、サウ致

シマスレバ其豫算委員ガ何レモ重要ナル任務ヲ帯ビテ居ラレテ外ノ事ニモ關係シテ居ラレル方ノヤウニ承知シテ居リマスガ、其方ガ豫算ノ方ノ手ガスイタカラシテ他ノ重要ノ委員會ニ全力ヲ盡スト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ豫算ハ稍前ニ慎重審議、片付ケテ其後ノ最後ノ期間ト云フモノハ他ノ諸ノ重要法案ヲ慎重審議スルト云フコトガ出來ルノデアリマスカラ、豫算ト他ノ重要法案ト云フモノガ幾ラ期日ヲ異ニシテ、各、相當ノ注意サレタル取扱ヲ貴族院ニ受ケルト云フコトニナルト思フノデアリマス、ソレデソレト同時ニ幅渡ト云フコトヲ避ケルト云フヤウナ意味ニ於テサウ云フコトガ言ヒ得ルダラウト思フノデアリマス、又第二ニ言ヒ得ルコトハ議案幅渡、會期ノ終リニ非常ニ澤山アツテ困ル、斯ウ云フコトカラ見マスルト云フト、衆議院ノ方モ随分矢張り色々ナ點デ會期ノ終リト云フモノハ幅渡シテ居ル、議案幅渡ト云フコトガ言ヒ得ルダラウト思フノデアリマス、豫算ハアリマセケレドモ、又全議會ヲ通ジテ見マシタナラバ、衆議院ノ方ガ遙ニ色々ナ議案ガ多イト思フノデアリマス、議員提出ノ議案デアルトカ、建議案デアルトカ、質問トカ云フヤウナ色々ナコトガ御存知ノヤウニ澤山アルト思フノデアリマス、ソレデアルカラシテ議案ガ會期末ニ幅渡スルト云フコトノミヲ以テ此案ヲ否決スルト云フノニハ頗ル不十分デアラウカト思フノデアリマス、ソレカラ又第二ニハ法案ノ提出、サツキ希望トシテ述ベマシタヤウナ法案ヲ提出スルトカ云フヤウノ事デ政府ガ期日ヲ繰上ゲル、サウシテソレヲ貴族院ト衆議院ニ分配スルト云フコトヲ適當ニスル、即チ相當重要ノ法案デ豫算ニハ直接關係ナイト云フヤウノ

モノハ、或ルモノハ貴族院ニ始メカラ出スト云フヤウノコトヲヤリ、又はハ阪谷男爵ナドが大分御奔走ニ
ナツテ極ク一部分デアアルガ既ニ實現サレタト思フノデアリマスガ、所謂會期運用ト云フコト即チ休會ナン
ト云フコトヲ短カクシテ早ク正月始メヤウト云フヤウナコト、サウ云フコトヲ致シマスルト云フト、餘程
ソノ會期末ニ議案幅渡ト云フコトヲ避ケルコトガ出來ルト思フノデアリマス、モウ一ツ其點ニ付テ申上
グタイ第四ノ點ト云フモノハ貴族院ニハ相當ナ、謂ハレ有能ノ士ガ随分御アリニナルト思フノデアリマ
ス、サウ云フ有能ノ士ヲ形容シテ言ヘバ總動員モヤル、議會ノ時ニハ總動員ヲヤルト云フコトヲ致シマシ
テ、適當ナ人ヲ皆ナ其委員會ナラ委員會ニ或ハ豫算委員ニスルト云フヤウナ事ヲサレタナラバ、豫算モ
アリ又他ノ重要法案ガアツテモ、ソレニ對シテ審議スル人數ト云フモノモ殖エテ來ル、サウシテ手分ケテ
シテヤルコトガ出來ルト、是ハ空論カモ知レマセヌガ私ハサウ思フノデアリマス、所ガ實際ニ於テハ相當
ノ御方、大臣ヲヤツタトカ、又ハ大臣級ノ所謂人物、或ハ總理大臣候補者ト云フヤウノ方モ貴族院ニ居ル
サウデアリマスガ、サウ云フ方ハ議場ニ餘リ見エナイ、又見エテモ又發言ヲサレナイト云フヤウノコト
ハ、感心シタコトデハナイト思フノデアリマス、又サウ云フ風ノコトト相俟ツテ或ハ忙シイトカ、其人ノ
健康上ノ都合トカ、色々ノ事ヲ議長ガ察セラレテ相當有能ノ士ガ相當ニアルニモ拘ラズ、ソレハ豫算委員
ニモナラズ、重要法案ノ委員ニモナラズト云フ風ニアルノデアリマスガ、ソレハマア私等カラ見レバ、マ
ダ議院生活ニ馴レナイ者カラ見マスルト、甚ダ不都合ナコトデアルト思フノデアリマス、議席ヲ持ツテ居

ル以上ハ何故ニ政友會總裁ガ貴族院デ以テ堂々ト政見ヲ發表サレナイカ、色々ノ大臣級ノ人物ガ何故ニ
モツト勉強シテ色々ノ議事ニ參加サレナイカト云フヤウナ感情ヲ起スノデアリマス、ソレデアルカラシ
テ選舉スルト云フコト或ハ議長指名ト云フヤウノ時ニ、ドシノノ議席ヲ持ツテ居ル者ヲ相當其人ノ健康
上ニ差支ナイト云フヤウナ人ハ、ソレヲ總動員ニシテ色々ノ方面ニ手分ケテシテ審議ヲサスト云フコト
ヲシタナラバ、今ノ輻輳シテ豫算委員ノ方ガ逆モヤリ切レナイト云フヤウノ實狀ト云フモノヲ餘程緩和
スルコトガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、第二ノ否決論ノ根據ト云フモノハ下院デハ、衆議院デハ憲法
第六十五條ノ所謂先議權ナルモノガアル、其關係上豫算委員ノ審査期間ト云フモノモ定ツテ居ル、是相當
ノ事デアアルガ、貴族院ノ方ニハ第二院ガナイカラシテ別ニ急イデ廻スト云フ必要ハナイカラ、會期ヲ十分
利用シテ審査スルコトガ貴族院ノ職責ヲ盡ス所以デアアル、斯ウ云フ論據デアリマス、是モ一應理由ナイト
ハ言ヘマセヌケレドモ、ソレガ全部ノ眞理デアアル、ソレニ對シテハ反對スル餘地ガナイカト申シマス、ト云
フト、矢張り是ニモ批評ノ餘地ガ少クモ一點アルト思フノデアリマス、其第一ノ點ハ、衆議院ハ貴族院ガ
豫算ヲ如何ニ議了シタカト云フコトニ依ツテ、其結果ニ依リマシテハ貴族院ヨリ豫算ノ回付ヲ受ケマシ
テ、衆議院ニ於テソレヲ更ニ議スト云フ權利ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又其上ニ兩院協議會ト云フモノ
ヲ請求スル權利ヲ衆議院ハ御存知ノヤウニ持ツテ居ルノデアリマス、然ルニ會期末ニ至ルマデ慎重審議
ヲ必要ナリトシテ、貴族院ガ悠ツクリ審査シテ居ルト云フコトデアルト云フト、衆議院ノ今申シタヤウナ

權利並ニ或ル意味ニ於テハ先議權ト關係シテ先議權ノ範圍ヲ廣ク解釋スル人モアリマスガソレハマテ別問題ト致シマシテモ、先程申シマシタヤウナ衆議院ノ更ニ討議スル權、豫算ニ關スル權ト云フコトヲ減縮スルト云フ嫌ヲ貴族院ハ免レナイト思フノデアリマス、第二ノ點ハ、貴族院ニ於テ會期末ト云フコトヨリモ稍、少シ以前ニ豫算ヲ議決シテシマフト云フコトニナリマスレバ、政府ニ於テモ、國民ニ於テモ、豫算執行ト云フコトヲ……ドウ云フ豫算ガ決マツタノデアルカト云フコトヲ早ク知ツテ、政府ニ於テ準備ヲスルト云フヤウナ期間ガアルノデアリマスカラ、ソレハ成ルベク早ク貴族院ノ手ヨリ豫算ヲ放スト云フコトガ、此點カラ見テ宜イト云フコトヲ言ヒ得ルト思フノデアリマス、ソレデアルカラ、サウ云フ二ツノ點ガ幾ラカノ理由ガアルトスルナラバ、會期ヲ全部通シテ慎重審議ヲスルト云フコトハ、慎重審議ト云フ點カラ見ルト云フト宜イヤウデアリマスケレドモ、他ノ點カラ見ルト遺憾トスベキコトガナイト言ヘナイト思フノデアリマス、反對論者ノ第四ノ根據ト云フモノハ豫算ガ非常ニ膨脹シテ居ルハ、又豫算ニ付テ衆議院ガ色々討議ヲシテ居ル參考材料ト云フモノガ澤山アル、ソレヲ貴族院トシテハ皆ナ能ク研究ノ上テ豫算ノ審議ヲシ、議決ヲシナケレバナナイ、ソレデアアルカラ豫算委員會ニ於テモ、理論上ニ於テモ、實際上ニ於テモ、三週間ト云フコトニ限定スルト云フコトハ不都合デアアル、斯ウ云フ論旨ノヤウデアリマス、ソレニ付テモ矢張り一應ハ御尤モデアリマスケレドモ、反對論ヲ述ベル所ノ餘地ハアルト思フノデアリマス、其反對論ト申シマスノハ、即チ其批評ノ餘地ガアルト申シマス一ツノ點ハ、衆議院ハ言フ迄モナク

先づ豫算ヲ議スルノデアアル、サウシテ所謂國民ノ代表者デアルト云フ意味カラ先議權ヲ持ツテ居ルト云フ點カラシテ見テ、衆議院ハ殊ニ豫算ニ重キヲ置クベキモノデアリ、又置イテ居ルト思フノデアリマス、其衆議院ガ回付ヲ受ケテカラ三週間ノ後ニ於テハ衆議院ノ豫算委員會ハ報告ヲセニヤナラヌト云フコトニナウテ居リ、其期間ニ於テ報告ヲシテ居ルノデアリマス、即チ豫算ノ審議ヲ決了シテ居ルノデアリマス、其期間ト云フモノハ事實ニ於テハ豫算ガ帝國議會ニ提出サレル時ニ先づ衆議院ハ議ス、貴族院ニモ材料ハ廻ツテ來テ居ルノデアリマス、又速記録モドンノ廻ツテ居ルノデアリマスカラシテ、表向キ貴族院ガ衆議院カラ豫算ノ送付ヲ受ケテ審議ニ着手スルト云フ其期日ノ以前ニ於テ、既ニ貴族院ニ於テハ實際上審査ニ着手スベキ材料ハ貴族院ノ各議員ノ手許ニアルノデアリマス、從テ豫算委員ノ手ニハ固ヨリアルノデアリマス、ソレデアアルカラ豫算委員會ナルモノハ開クコトハ出來マセヌケレドモ、豫算委員ガ豫算ニ付テ研究スルト云フコトニ付テハ、衆議院ガ豫算ヲ持ツテ居ル間ト云フダケガ貴族院ノ方ハ餘計持ツテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、其後ニ來マシテ更ニ三週間ト云フモノヲ豫算委員會ガ貴族院ニ於テ費スト云フコトデアハソレドウシテモイケンナイノデアアル、不十分デアルト云フ根據ハ薄弱デアアル、全然ナイトハ申シマセズガ、頗ル薄弱デアルト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、又第二ノ點ハ實際上云々ト云フコトヲ言ハレマスガ、實際上ハ成程ソノ通りデ、是マデ三週間デ……三週間ト申シマスノハ、貴族院ニ於テ衆議院ヨリ豫算ガ送付サレタ其期日ヨリ三週間ノ間ニ、貴族院ノ豫算委員長ガ本會議ニ報告ヲシタイト云フコトハナイ

ノデアリマシテ、所謂審査期限ヲ定ムル件ト云フノガ豫算ノ送付ヲ貴族院ガ衆議院ヨリ受ケマシテカ、幾
ラカ一日トカ、二日トカ、或ハ事ニ依ツタラ三日後ニ審査期限ヲ定ムルノ件ト云フ議題ニ付テ、貴族院ニ
於テ三週間ト云フコトヲ定メテ豫算委員ニ付託スルヤウデアリマス、其三週間ト云フノガ又相當ノ理由
アリトシテ延長サレルト云フコトガ、此頃多イヤウデアリマスカラ、即チ實際ニ於テハ四週間以上ニナツ
テ居ルト云フコトガ實際ノ實例デアリマス、併ナガラソレハ實際サウデアアルガ、實際サウデアアルト云フコ
トハ、ソレヲ短縮スルコトガ出来ナイト云フ理由ニハナラナイト思フノデアリマシテ、今迄ノ通りニヤツ
テ居レバ短縮ハ出来ナイト云フコトニハナリマスケレドモ、今迄ノ通りニヤラズニ貴族院トシテ、貴族院
ノ豫算委員トシテ其職責ヲ盡ス方法ハナイデアラウカト云フコトヲ考ヘル餘地ハアルト思フノデアリ
マス、其餘地ガアルト云フコトニ付キマシテハ必シモ餘地アリト明言サレタノデアリマセスガ、大正十
四年三月二十八日ノ此法案ニ關スル兩院協議會ノ席上ニ於キマシテ前田子爵ガ、自分ハ貴族院ノ豫算委
員長トシテ、貴族院ノ豫算ノ取扱振リハ相當ニ知ツテ居ルガ、或ル場合ニハ一人ノ議員ガ半日モ費シテ質
問ヲサレルコトモアルト、又或ル場合ニハ本會議ニ質問サレタル議員ガ同ジコトヲ豫算委員會デ質問サレル
ト云フヤウナコトモアル、サウシテ貴族院ノ豫算委員會ニ於テハ各人ノ發言ノ自由ヲ十分ニ認メテ、豫算
關係以外ノコトデモ質疑スルコトヲ許シテ居ル、又相當質疑ガ長クナツテモ發言ヲ止メルト云フヤウナ
コトハシナイ慣例ニナツテ居ルト云フヤウナ意味ノコトヲ言ツテ居ラレマス、前田子爵ハソレガイケナ

イトモ、宜イトモ言ツテ居ラレマセス、ガ私モ豫算委員會ノ時ニ傍聴シ、又豫算委員會ノ速記録モ時々拜見
イタシマシタガ、各議員ガ熱心ニ質疑シ、或ハ意見ヲ言ハレルト云フコトハ結構ノコトデアリマスガ、議院
生活ニ慣レナイ私トシテ考ヘマスト云フト、モウ少シ簡單ニ質疑ハ質疑、要點ヲ言フト云フコトデ、又一應
應答ガアツタナラバ何カ言質ヲ政府カラ取ラウト云フ風ニシテ類リニ執拗ク質問サレルト云フヤウナコ
トモアリマスガ、サウ云フコトヲシナイデモ宜イノヂヤナイカ、豫算審議ト云フコトソレノミヲ眞面目ニ
考ヘテヤルナラバ、モット時間ヲ縮小スル餘地ハ私ハアルト思フノデアリマス、又アリト云フコトヲ私ニ
言ハレタ相當ノ貴族院議員ガアルノデアリマス、サウ致シマスト云フト、之ヲソノ今マデ四週間以上ダカ
ラ必ズ四週間以上掛カラナケレバナラナイト云フコトハ、今迄ノ通りニスルト云フコトガ動カスベカラザ
ル原則ナリトスレバサウデスガ、ソレヲ多少改良スル餘地アリトスルナレバ、改良スベキ義務ガアルト思
フノデアリマス、今ハ丁度サウ云フ：：此法案ニ打ツ突カツテ改良スル好イ機會ダト思フノデアリマス、
又其改良ト云フコトニ關シマシテハ貴族院ノ發言權ト云フコトハ重ンジ、又豫算會議ノ時ニ豫算ニ關聯シ
ナイ質疑ヲ許スト云フコトモ宜イ慣例カモ知レマセス、ケレドモ豫算委員：：豫算ニ關スル會議デナイ時
ニ於テ、或ル日ヲ設ケテ豫算ニ直接シナイコトノ質疑應答ト云フコトヲ本會議ニ於テ貴族院デ許ス、サウ
云フ慣例ヲ開カルナラバ、態、豫算會議ト云フ時ニ豫算ニ關係シナイコトヲ色々質問應答、或ハ自分ノ意
見ヲ長ク述べルト、ソノ爲ニ豫算ノ審査期限ト云フモノガ縮小サルト、サウ云フ遺憾ト云フモノハ：：別

ニサウ云フ日ヲ設ケテヤルト云フコトヲスルナラバ其遺憾ヲ除クコトガ出來ル、又ソレガ宜イデアラウト
斯ウ思フノデアリマシテ、色々ノ施設ノ方針ナドニ付テ疑ヲ質ストカ、又大臣ノ施政方針ノ時バカリデナ
ク、他ノ機會ニ於テ色々ノ問題ニ付テ議員ガ意見ヲ述ベル機會ヲ與ヘルト云フコトハ非常ニ必要ト思ヒマ
スガ、ソレヲ今迄ノ通りニ豫算會議デヤルト云フコトニシナクテモ宜イシ、又シナイ方ガ宜イト斯ウ思フノデ
アリマス、反對論ノ第五ノ點ハ、貴族院ニ於テ從來政略的ニ不當ニ審査期限ト云フモノヲ延長シタト云フ
事實ハナイ、從テソレヲ彼レ是レ言ハレテ法律ニ決メルト云フ風ナ必要ハナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレルノ
デアリマス、是ニ付テモ私ハ實際ノ事ハ能ク存ジマセヌガ、矢張り多分サウデアリマセウガ、其通りデ一言
モ反對ハ出來ナイト云フコトデハナク、矢張り之ニ付テノ批評ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、ソレハ
二ツ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレハ貴族院ニ於テハ、自ラ認メテ政略的ニ無理ニ審査期限ヲ延
バシテ政府ニ對スル手加減ヲシタト云フヤウナコトハナイノデアリマセウガ、衆議院ニ於テハサウデアアル
ト云フコトヲ公ケニ言ツテ居ル、速記録ナドニモ載ツテ居ル、最モ茲ニ書イテアリマスガ、兎ニ角サウ云フ
コトヲ言ツテ居ルノデアリマス、又新聞紙上ナドニモドレダケ事實ガアルカナイカ知リマセヌ、往々ニシ
テ無根ノコトモ新聞ニ出マスカラ、新聞ヲ證據トシテ我々ガ安心ヲシテ居ル譯ニハ行キマセヌガ、兎ニ角
世間ニハ貴族院ハ不都合ダ横暴ダ、豫算ヲ握ツテ居ツテ色々懸引ヲスルト云フヤウニ攻撃ヲシテ居ルコトハ
御存ジノ通りデアリマス、私ハ其事實ガ全クアルカナイカト云フヤウナコトヲ今言フダケノ自分ハ材料ハナイノ

デアリマスカラ、事實ガ全クナイニ致シマシテモ、サウ云フ攻撃ガ、非難ガ、衆議院及世間ニ於テアルト云フ
ナラバ、ソレニ對シテ出來得ルコトナレバソレヲ避ケル、其攻撃ガ不都合デアルト云フコトデアレバ、敢
テ避ケル必要モナイノデアラウト言ハレルノデアリマセウガ、其攻撃ヲ避ケル方法ハナイカト云フコト
ヲ一應考ヘテ見ルト云フコトハ、貴族院トシテ至當ナルコトデアラウト思フノデアリマス、又第二ニハ其
事實ガ果シテアルデアラウカ、ナイノデアラウカ、私ハ其事實ガアルト云フコトヲ言フノデアリマセヌ
ガ、貴族院議員モ矢張り人間デアリマスカラシテ、色々ナ長所ヲ持ツト同時ニ弱點モ持ツテ居ルダラウト
思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ或ル場合ニ於テハ、ソレハ今ノ政府ヲ苦メル爲ニ、反對ノ御方ガ假
リニ幾ラカ長引カサウト云フヤウナコトガアリトスレバ、ソレト同ジコト矢張り今ノ政府ニアル人モ、會
テ在野黨タリシ時ニハヤウタコトガアルカモ知レナイ、兎ニ色々政治上ノ重要問題ニ付テ意見ヲ異ニシ
テ、サウシテ極ク眞面目ナ意味ニ於テ色々折衝シテ居ルト云フ時ニハ、脇カラ見テモ、又不都合デアルト見
ラレ、又豫算其モノト云フモノヲ迅速ニ議了セラレルト云フ、是ダケノ立場カラ見レバ、幾ラカ不當ニ延
長シタノデハナイカト思ハレルヤウナ事實ガ、曾テ貴族院ニ於テハ毛頭ナイト云フコトヲ信ジロト仰ツシ
ヤツテモ、私ハ直チニ反證ヲ舉ゲルコトハ出來ナイケレドモ、ソレハ直チニ信ズルト云フ譯ニモ行カナイ
ト斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、終リニ反對論者ノ第六ノ點トシテ舉ゲテ見タイト思ヒマスル點
ハ、此審査期限ヲ極メロト云フコトハ間違ツタ感情ニ基キ、又機械的ノ兩院權衡論ニ基イテ居ル、ソレデア

ルカラ甚ダ不當デアルト斯ウ云フ御議論デアリマス、是モ速記録ナドノ所々ニ載ツテ居ル説デアリマス、是ニ付テモ反駁ヲ加ヘル餘地ガアルト思フノデアリマス、ソレハ三ツノ點デアリマスガ、第一ノ點ハ間違ツタ感情、斯ウ云フコトヲ仰シヤルガ、ソレハ間違ツテ居ルト云フコトガ必シモ言ヘルカドウカ、或ル場合ニ於テハ貴族院カラ見レバ間違ツタト言ヒ得ルコトモ、衆議院ト云フ立場ニ我々ヲ假リニ置イテ見テ考ヘルト、間違ツテハ居ラス、此問題ト云フモノハ所謂特權内閣トカ護憲運動トカ云フコトカラ出タ貴族院改革ト云フヤウナコトカラ來テ居ルノダト、衆議院ノ方カラ言ハセレバサウ云フ方カラ見ラレ、貴族院ガ何時マデ頑トシテ自分ダケノ要求ヲ至當ノ要求ト改革ノ... 徹底的ノ改革デアルニモ拘ラズ、若シソレヲ容レナイゾ感情デナイト云ヒ得テモ、ソレハ正當ナル感情ト衆議院ハ少クトモ言ヒ得ルダラウト思ヒマス、貴族院ノ方カラ見テソレハ誤レル感情ナリトスレバ、衆議院ノ方カラ見テ其感情ガ尤モナリ眞面目ナリト云フ識者モアルコトハ私ハ知ツテ居リマス、新聞ニモサウ云フノガ御存ジノ通りデアリマス、サウ云フ感情ガ既ニアルナラバ、ソレガ間違ツテ居ルトシテモ矢張り貴族院トシテハ、其存在... 其間違ツタ感情ガ存在シテ居ルト云フコトハドウシタラ宜カラウ、ドウシタラ其誤解ヲ避ケ感情ヲナクスルコトガ出來ヤウカト云フコトニ付テハ、考慮スベキ義務ガアルト思フノデアリマス、第二ノ點ハ衆議院ハ間違ツタ感情ニ基イテ居ル、サウシテ斯ウ云フ法案ヲ出シタモノト言ハル、ケレドモ、貴族院ハ果シテ間違ツタ感情ナシニ此問題ニ對シテ冷靜ニ取扱ツテ居ルカト云ヒマス、必シモサウハ云ヘナイノデアリマシテ、一

昨年ノコトハ存ジマセヌガ、昨年此問題ガ本議場ニ出マシタ時ニ、一條委員長ガ登壇サレ、其時ニ餘リ見ナイ所ノ拍手ガアツタノデアリマス、私ハチヨツト妙ニ思フタノデアリマスガ、一條委員長ガ詳細ニ委員會ノ願末ヲ報告サレマシテ、此議案ガ滿場一致デ否決サレタト云フコトヲ報告サレタ時ニ、又拍手ヲサレタノデアリマス、ソレハ私ハ矢張り衆議院ガソナコトヲ言ツテモ、ソナナ不都合ナコトガ行ケルモノカト云フ、一種ノ感情ハ貴族院諸君ニモ矢張り人間ダカラサウ云フ感情ガ多少ハアリマセウ、起ツタモノト斯ウ思フノデアリマシテ、ソレハ貴族院トシテハ成ルベク抑ユベキモノデアルト思フノデアリマス、其後ニ速記録ナドヲ見マス、ト云フト、或ル委員、一委員ノ昨年ノ此法案ノ特別委員會ニ於テ述ベラレタル言葉ノ如キハ、確カニ感情ニ走ツテ居ル、サウシテ他ノ感情ヲ刺激スル、私カラ言ハセタラ不穩ト言ハレテモ仕方ガナイヤウナ言葉ヲ或ル、一委員言ツテ居ラレル、其委員ノ言葉ヲ一條委員長ハ議場ニ紹介サレタノデアリマス、其言葉モ兩方トモ速記録ニアリマスガ、ソレハ略シマス、兎ニ角サウ云フ點カラ見テモ、私ハ貴族院議員ト雖モ人間デアリマスカラ、時ニハ感情ニ走ルコトガアツテモ恕シ得ルト思ヒマスガ、成ルベクソレハ控ヘタイ、サウシテ此問題ニ付テハ歴史ハ感情ヲ刺激スルヤウナ理由ガアルカモ知レマセヌガ、私ノヤウナ新入生ニ對シテハ、貴族院モ矢張り感情ニ走ツテ居ルト言得ル餘地ガアルカト思フノデアリマス、第三ノ點ニ付テハ單ナル權衡論ダカラソナコトハドウデモ宜イデヤナイカト云ハレマスガ、兩院ガ既ニ存在シテ居ル、サウシテ豫算ト云フコトニ付テハ先議權ガ向フニアル、サウ云フ問題ニ付テハ權衡論デヤツテ

來ルト云フナラバ、其權衡論ナルモノハ實質上ハ大シク値打ガナイモノデアル、チヨツト機械的ニ割合ニ小サイ問題デアルトシタ所ガ、其權衡論ニハ一應貴族院議員トシテハ重キヲ置イテ、其權衡論ニ從フコトガ實質上不都合ナコトガアレバ、其權衡論ヲ破ツテモ宜イノデアリマスガ、左程ノコトデナイナラバ、機械的ノ權衡論ト云フソレニ謂ハシテ、讓歩スルト云フコトハ決シテ貴族院ノ小ナル所以デナク、雅量ヲ示シ貴族院ノ威信ヲ高ムル所以デアルト私ハ信ズルノデアリマス、ソレデ私ガ速記録及諸先輩ノ談話ニ付テ、貴族院ノ此問題ニ付テノ否決論旨ト云フモノヲ正直ニ御紹介イタシマシテ、ソレニ付テ私ノ感想ヲ述ベマシタノデアリマシテ、私ノ感想ト云ヒマシテモ非常ニ研究シテ居ル譯デモナシ、豫算ト云フヤウナコトニモ私ハ暗イノデアリマスカラ、私ノ今申シタコトニ付テ諸先輩カラ、ア、云フコトヲ云フガ理窟上非常ニ實際ト違フトカ、實際上空論デアルトカ教ヘテ下サレバ、サウデアリマスカト言ツテ私ノコトヲ訂正シテ、今申シタコトハ取消スト云フコトハ虚心坦懐ニ致ス積リデアリマス、今迄私ノ申シタコト以外、私ノ氣ガ付カナイ否決論者反對論者ノ有力ナル理由ガアリマスレバ、ソレハアルカモ知レマセヌ、サウ云フモノヲ更ニ舉ゲテ斯ウ云フコトガアルト仰ツシヤツテ下サレバ、ソレニ對シテハ敬意ヲ表シマシテソレヲ聽キ、サウシテソレニ對シテ私ノ考ヲ決メタイト思フノデアリマス、ソレハ否決論ハ相當最モ論據ガアル、ケレドモ併シ反對論モ相當理由ガアル、誠ニ反對論ヲ述ベルト斯ウ云フデアルト申シタノデアリマスカラ、詰リ否決論ニ輕々ニ私ハ贊成スルコトガ出來ナイト云フコトヲ述ベタノデアリマス、次ニハ此

修正、此前ノ懇談會ニ於テ修正ヲ附ケテ、但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ各議院ノ議決ヲ以テ審査期限ヲ延長スルコトヲ得、其期間ニ付テハ五日ヲ超ユルコトヲ得ズト云フヤウナ所謂但シ書ヲ附ケテ此問題ヲ解決スル方ガ宜クハナイカト云フ、此前ノ懇談會ノ多クノ諸君ガサウ云フ御意當デアツタヤウデアリ、私モソレニ贊成スルノデアリマスガ、サウ云フ但シ書ヲ附ケ且ツ五日トスルト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカト云フコトニ付テ、是ハ簡單デアリマスガ、チヨツト申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、其第一ハ貴族院ニ此但シ書ガ必要ナリト云フ點デス、ソレハ此但シ書ガソレ自身必要デアル、即チ是マデノ貴族院ガ慎重審議ヲ豫算ニ對シテ與ヘタト云フコトカラ見テ、ソレハ多少短縮スルト云フコトハ精々シヤウカ、併シ極端ニ二十一日ニシテシマウト云フトコハ、私カラ見テモソレハ餘リニ急激ノ改革ダト思フノデアリマス、ソレデアルカラシテ但シ書ヲ附ケテ、幾ラカノ餘裕ヲ付ケテ置クト云フコトガ適當ナリト私ハ思フノデアリマス、且ツ又先程モ申シマシタヤウナ、御存ジノ通り第五十議會ニ於テハ但シ書ヲ附ケテ七日ト云フコトニシタノデアリマスカラシテ、其院議ヲ尊重スル、前ニハ七日ノ但シ書ヲ附ケ、其次ニハ否決ラシ、今度ハ又編吞ミニシテ可決ラシテシマウト云フコトデハ、餘リ貴族院ノ此法案ニ對スル態度ガ僅ノ年、期間ニ於テ相當ノ理由ナクシテ變リ過ギルヤウニ思フノデアリマス、ソレデアルカラシテ大體ニ於テ七日ト五日ト云フ違ハアリマスガ、院議尊重ト云フ意味ニ於テモ、但シ書ヲ附ケテ相當ノ期間ヲ與ヘルト云フコトガ宜イト思フノデアリマス、第二ニハ衆議院ニマデ、向フガ要求シナイモノ

ヲ、同じ但シ書ヲ附ケルト云フノハドウ云フ譯カト云フコトヲ簡單ニ矢張り二ツノ點カラ申上ダテ見ダ
 イト思フノデアリマス、第一ノ點ハ矢張り衆議院ニ於テモ、是マデ二週間デヤツタト申シマスカ、ソレハ
 衆議院トシテ遺憾ナイデアリマセウ、又貴族院カラシテ慎重審議ヲシナイト云フヤウナコトヲ申ス譯ニ
 ハ行カヌト思ヒマス、ケレドモ、貴族院ト云フ方ノ立場カラ見ルト云フト、衆議院ノ方デハ豫算ト、ソレニ
 關係アル法案トノ調節ト云フコトガ大切デアル、其大切ナルコトヲ貴族院ハ職責ヲ重シテ是マデ調和
 ヲ保タセシムルヤウニナツテ來タノデアルガ、其點ハ衆議院ハ割合ニ輕ク視テ、豫算ノ方ハ公定期間ニ豫
 算委員會ノ報告ヲ本會議ニ致シ、本會議ニ於テモ迅速ニ可決ヲシテ貴族院ニ廻スト云フコトヲヤツタガ、法
 案ノ方ハ案外遅レテ來ルト云フ、今年ハ特別デアリマセウガ、從來ト雖モ幾ラカ遅レテ來タサウデアリマ
 ス、サウ云フコトソレ自身豫算ト法案トノ關係上宜イコトデアルト云フコトハ衆議院ト雖モ言ヘナイダラ
 ウト思フノデアリマス、ソレデアルカラシテ私ハ貴族院ノ方ノ希望トシテハ、必ず絶對的ニサウシヨト云
 フコトヲ無論要求スル譯デハナイケレドモ、成ルベクハ豫算トソレニ關スル法案ト云フモノハ時期ヲ餘
 ヲ異ニセズシテ、法案ノ方モ成ルベク早く始末シテ貴族院ノ方ヘ送ツテ貰ヒタイ、サウ云フコトヲシテ貰
 ヒタイト云フ爲ニハ今迄ノ期間ダケデハ御迷惑デアラウ、法案マデノ審査ト云フコトヲ纏メル譯ニハ行
 クマイカラシテ、五日ト云フ期間ヲ豫算委員會ノ方ニモ但シ書ヲ附ケテ御直シニナツテハ如何デアルカ、
 ソレガ適當デハアリマセスカト、斯ウ云フ意味ニ於テ言フコトガ出來ルト思フノデアリマス、第二ノ點

ハ所謂權衡論、權衡論ト云フモノヲ私ハ同じコトナラ權衡論ガ一應尊重スベキ理由アリト思フノデアリ
 マス、ソレデアルカラシテ權衡ガ宜クナイト、今ノ有様デハ權衡ガ宜クナイカラ云々ト云フヤウナユ
 トヲ政府ガ言ハレルヤウデアリマス、衆議院ノ方デモ言ハレルヤウデアリマスガ、其權衡論カラ申シマシ
 テ、我々ノ方ハ必要ガアルカラ、但シ書ヲ附ケル、併シ其方ハ別ニ請求シナイカラ但シ書ナシデ宜カラウ
 ト云フコトヨリハ、此方デモ必要ト思ツテ但シ書ヲ附ケルガ、貴方ノ方デモ矢張り同じヤウニ但シ書ヲ附
 ケテハ如何デスカト、斯ウ云フコトヲ權衡上カラシテ言フ、又自分ノミデハナクテ貴方ノ方モ十分審議ヲ
 シテ下サイト云フコトヲ言フコトハ、衆議院ニ對シテ一應敬意ヲ表スルコトニナリマスカラシテ、貴族院
 ニ但シ書ヲ附ケルト云フ第五十議會ノヤリ方ヨリハ、衆議院ノ感情ヲ満足セシムルト云フ上ニ於テモ適
 當デハナイカト思フノデアリマス、ソレナラ但シ書ヲ五日ト制限スルノガドウデアルカ、衆議院尊重ト云フ
 コトナラバ七日デアル、又七日ト衆議院ノ方モ但シ書ヲ附ケルナラバ、尙更ラ法案トノ調和ト云フヤウナ
 コトノ請求ヲ容レルト云フコトガ正シイ譯デアルト云フ譯デアリマスガ、併シ七日ト云フ但シ書ヲ兩院
 ニ附ケマスルト云フト、其但シ書ハ矢張り慎重審議、豫算ニ關スル法案トノ調和ヲ保ツト云フコトノ義務
 ヲ盡スト云フ上ニ於テ、七日ノ日ヲ利用サレルト云フコトハ生ズルト見ナケレバナラナイノデアリマス、
 衆議院ニ於テモ生ズルト見ナケレバナラナイノデアリマス、サウ致シマスと云フト、衆議院カラノ豫算ノ廻
 付ト云フモノガ遅ルル、而シテ又此方デモ七日ト云フコトニナリマスと云フト、結局私ハ幾ラカ豫算審議、

委員長(公爵近衛文麿君)

ソレデヤ討論ハ是デ終リマシタ、採決ヲ致シマス、先ズ此衆議院提出ノ案ニ對シテ、大體ニ於テ此案ヲ可トスルヤ否ヤヲ採決イタシマス、大體ニ於テ此案ヲ可トスル諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

委員長(公爵近衛文麿君)

多數デアリマス、次ニ修正案ニ付テ採決ヲ致シマス、修正案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

委員長(公爵近衛文麿君)

多數デアリマス、修正案通り決定イタシマシタ、是デ散會イタシマス

委員會ハ三月二十二日左ノ報告書ヲ提出ス

議院法中左ノ通告正ス

第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

(小字及——ハ特別委員修正)

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

同日議事日程ヲ變更シテ右議案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長近衛文麿君ハ左ノ報告ヲ爲ス
委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報告イタシマス、委員會ニ於キマシテハ先ヅ總理大臣ノ出席ヲ特ニ求メマシテ、此案ニ對スル政府當局ノ意圖ヲ重ネテ御尋ネ致シタノデアリマス、其際、總理大臣ヨリ述ベラレマシタル所ハ、大體、過日本會議ニ於テ述ベラレタル所ト同様デアリマシタ、即チ此案ノ通過ト否トハ必シモ、政府ノ便宜ノ上カラ申セバ問題デハナイケレドモ、併ナガラ同ジ豫算ヲ審査スルニ當ツテ、衆議院ニ於テハ制限ヲ附シ、貴族院ニハ其制限ガナイト云フコトハ、兩院ニ對シテ差別ヲ設クルガ如キ誤解ヲ起ス虞レガアルカラシテ、政府ト致シテハ成ルベク兩院ノ取扱ヲ平等ニ致シタイト云フ一種ノ權衡論ヲ述ベラレタノデアリマス、之ニ對シテ一委員ヨリ可ナリ熱心ナ反對ガゴザイマシタ、其反對ハ豫算先議權ヲ有スル所ノ衆議院ハ、其豫算ヲ審議シテ更ニ之ヲ貴族院ニ廻付シナケレバナラヌガ故ニ、衆議院ノ豫算審議ニ對シテ期限ヲ設ケルト云フコトハ已ムヲ得ナイケレドモ、貴族院ニ於テハ其豫算ヲ議決シテシマヘバ之ヲ他ニ廻